世論調査結果

調査概要

＜2018年10月　全国個別訪問留置調査＞

■調査地域　：　全国

■調査対象者　：　15～79歳男女個人

■サンプリング　：　住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当

■標本数の配分　：　200地点（1地点6サンプル）を地域・市郡規模別の各層に比例配分

■調査方法　：　個別訪問留置調査

■サンプル数　：　1,200人

■実査期間　：　2018年10月4日（木）～10月16日（火）

Ⅰ章　回答者の属性

１．性別

(%)

	男性	女性
全体(N=1200)	49.3	50.7

２．年代

(%)

	10代（15～19歳）	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体(N=1200)	6.2	12.3	15.6	18.4	15.5	18.5	13.5

３．居住地（原子力発電所隣接（30km圏内）・原子力発電所非隣接）

(%)

	30km圏内*	30km圏外
全体(N=1200)	4.5	95.5

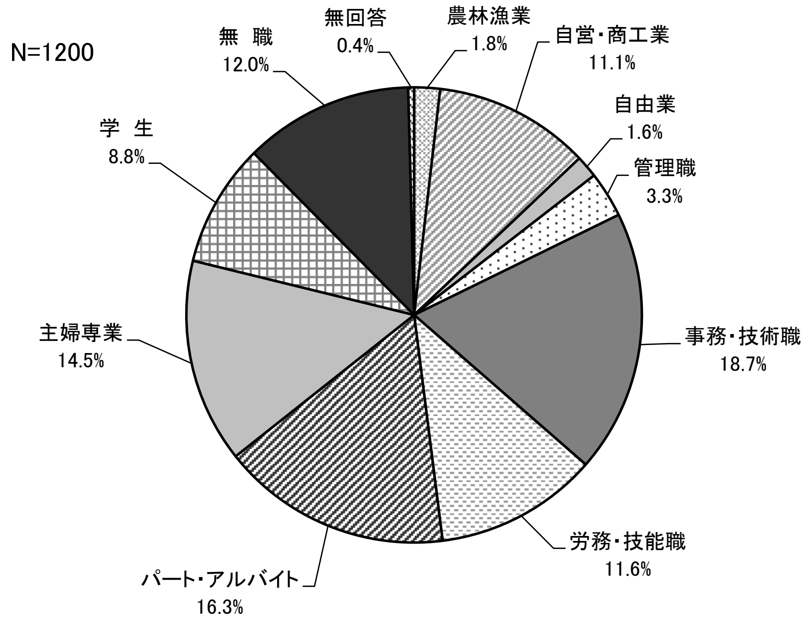
*次頁参照

●原子力発電所の緊急時防護措置準備区域（UPZ・30km圏内）に含まれる市町村

北海道	泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
青森県	東通村、むつ市、野辺地町、横浜町、六ケ所村
宮城県	女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町
福島県	いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村
新潟県	柏崎市、刈羽村、長岡市、上越市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、出雲崎町
茨城県	東海村、日立市、那珂市、ひたちなか市、常陸太田市、常陸大宮市、城里町、水戸市、茨城町、大洗町、高萩市、大子町、笠間市、鉾田市
静岡県	御前崎市、牧之原市、菊川市、掛川市、吉田町、袋井市、焼津市、藤枝市、島田市、森町、磐田市
富山県	氷見市
石川県	志賀町、七尾市、輪島市、羽咋市、かほく市、宝達志水町、中能登町、穴水町
岐阜県	揖斐川町
福井県	敦賀市、美浜町、小浜市、おおい町、高浜町、福井市、鯖江市、越前市、越前町、池田町、南越前町、若狭町
滋賀県	長浜市、高島市
京都府	舞鶴市、京都市、福知山市、綾部市、宮津市、南丹市、京丹波町、伊根町
鳥取県	米子市、境港市
島根県	松江市、出雲市、安来市、雲南市
山口県	上関町
愛媛県	伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市、伊予市、内子町
福岡県	糸島市
佐賀県	玄海町、唐津市、伊万里市
長崎市	松浦市、佐世保市、平戸市、壱岐市
鹿児島県	薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、姶良市、さつま町、長島町

出典：原子力規制委員会「原子力災害対策について」

４. 職業



５. 未既婚

(%)

	既婚	別居	離婚	死別	未婚	無回答
全体(N=1200)	68.0	0.3	4.5	4.8	22.0	0.4

６. 学歴

(%)

	短大卒以下	大学卒以上	無回答
全体(N=1200)	70.3	29.0	0.7

７. 子どもの有無

(%)

	子どもあり	小さい子どもあり*	子どもなし	無回答
全体(N=1200)	30.8	25.4	67.3	1.8

*0～14歳の子ども

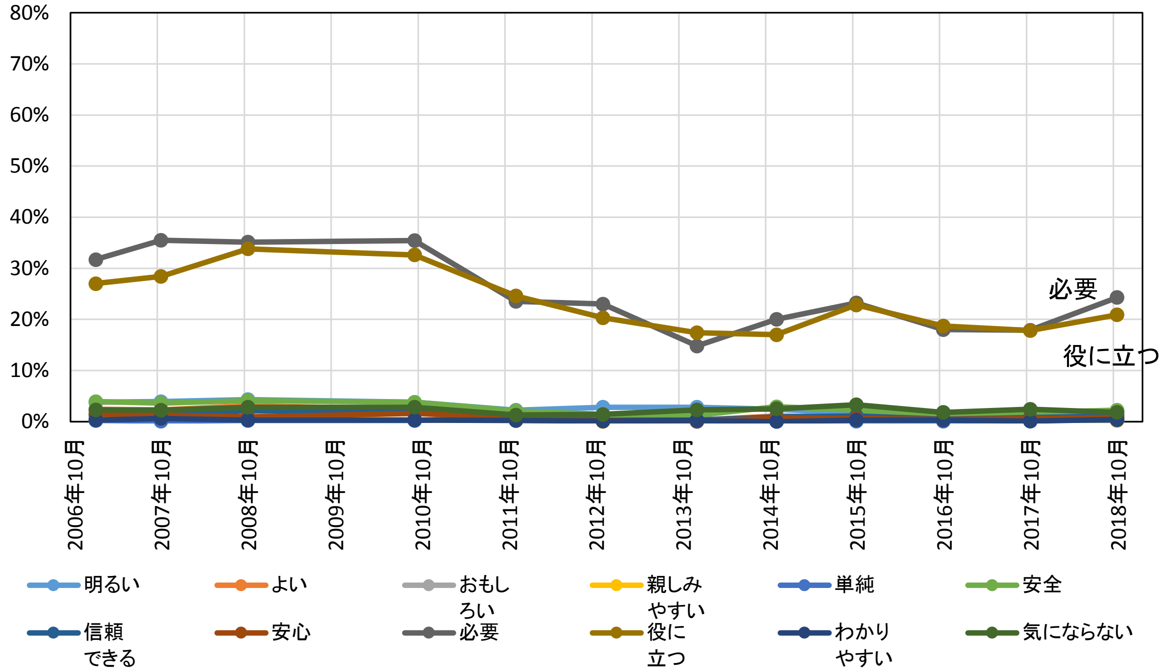
Ⅱ章　原子力・放射線に対する イメージ

●原子力に対するイメージ

「原子力」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージより否定的なイメージの反応が高く、「危険」(69.0%)、「不安」(56.0%)が特に高い。続いて、「複雑」(33.3%)、「信頼できない」(21.8%)。
一方、肯定的なイメージは、「必要」(24.3%)、「役に立つ」(20.9%)という回答が多く、他の項目はきわめて低い反応水準にある。
前回と比較すると、「必要」という回答が増加した点(17.9%→24.3%)と、「信頼できない」という回答が減少した点(30.2%→21.8%)が目立った。

問1. あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)
N=1200

肯定的なイメージ

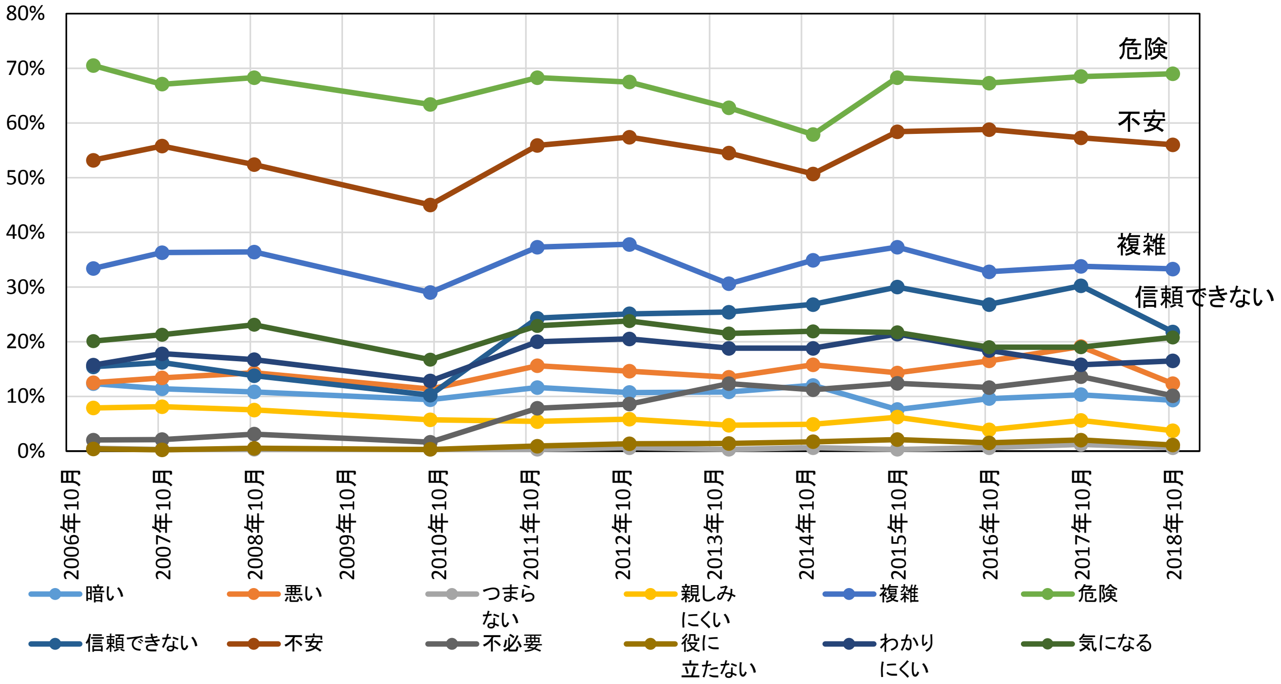


	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月	18年10月
明るい	3.8	3.9	4.3	3.8	2.2	2.8	2.8	2.4	1.6	1.3	0.8	1.4
よい	2.4	2.3	3.1	2.4	1.3	0.9	0.3	1.1	0.9	1.5	0.9	1.8
おもしろい	0.6	0.6	0.8	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.6	0.4	0.2	0.3
親しみやすい	0.3	0.6	0.7	0.3	0.2	−	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
単純	0.2	0.1	0.2	0.2	0.7	0.2	−	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3
安全	3.9	3.6	4.1	3.8	2.1	1.4	1.2	2.9	2.2	1.5	1.8	2.2
信頼できる	1.4	1.4	2.1	1.8	0.8	0.3	0.3	0.9	1.1	0.5	0.8	1.1
安心	1.4	1.3	0.9	1.6	0.8	0.2	0.1	0.7	0.6	0.4	0.6	0.8
必要	31.7	35.5	35.1	35.4	23.5	23.0	14.8	20.0	23.2	18.0	17.9	24.3
役に立つ	27.0	28.4	33.8	32.6	24.6	20.3	17.4	17.0	22.8	18.7	17.8	20.9
わかりやすい	0.3	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	−	0.3	0.3	0.1	0.4
気にならない	2.3	2.2	2.8	2.8	1.3	1.4	2.3	2.5	3.3	1.8	2.4	1.8

(%)

N=1200

否定的なイメージ



	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月	18年10月
暗い	12.3	11.4	10.8	9.4	11.6	10.7	10.8	12.0	7.6	9.6	10.3	9.3
悪い	12.5	13.4	14.3	11.3	15.6	14.6	13.5	15.8	14.3	16.5	19.1	12.3
つまらない	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	0.6	0.3	0.6	1.2	0.6
親しみにくい	7.9	8.1	7.5	5.7	5.4	5.8	4.7	4.9	6.2	3.9	5.6	3.7
複雑	33.4	36.3	36.4	29.0	37.3	37.8	30.6	34.9	37.3	32.8	33.8	33.3
危険	70.5	67.1	68.3	63.4	68.3	67.5	62.8	57.9	68.3	67.3	68.5	69.0
信頼できない	15.4	16.2	13.8	10.2	24.3	25.1	25.4	26.8	30.0	26.8	30.2	21.8
不安	53.2	55.8	52.4	45.0	55.9	57.4	54.5	50.7	58.4	58.8	57.3	56.0
不必要	2.0	2.1	3.1	1.6	7.8	8.6	12.3	11.2	12.4	11.6	13.6	10.1
役に立たない	0.4	0.2	0.5	0.3	0.9	1.3	1.4	1.7	2.1	1.5	2.0	1.1
わかりにくい	15.7	17.8	16.7	12.8	20.0	20.5	18.8	18.8	21.4	18.4	15.8	16.5
気になる	20.1	21.3	23.1	16.7	22.9	23.8	21.5	21.9	21.7	19.0	19.0	20.8
その他	1.3	1.8	1.5	0.8	2.8	1.9	1.1	2.1	1.2	1.8	1.1	1.2
あてはまるものはない	2.5	2.8	2.5	2.8	2.5	1.6	4.0	3.8	2.4	4.3	3.8	3.8

(%)

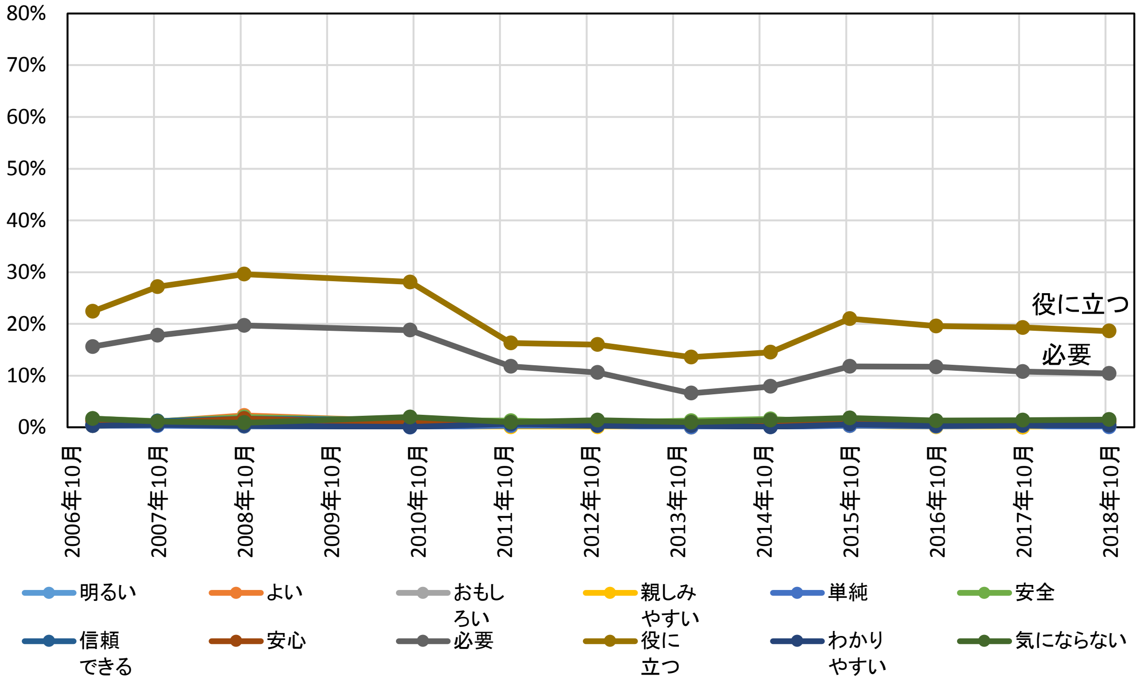
●放射線に対するイメージ

「放射線」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が圧倒的に高く、「危険」(72.3%)、「不安」(51.1%)という回答が突出している。
一方、肯定的なイメージでは「役に立つ」(18.6%)、「必要」(10.4%)という回答が高いが、否定的イメージと比べるとポイント数が圧倒的に低い。
前回と大きな変化はない。

問2. あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

N=1200

肯定的なイメージ

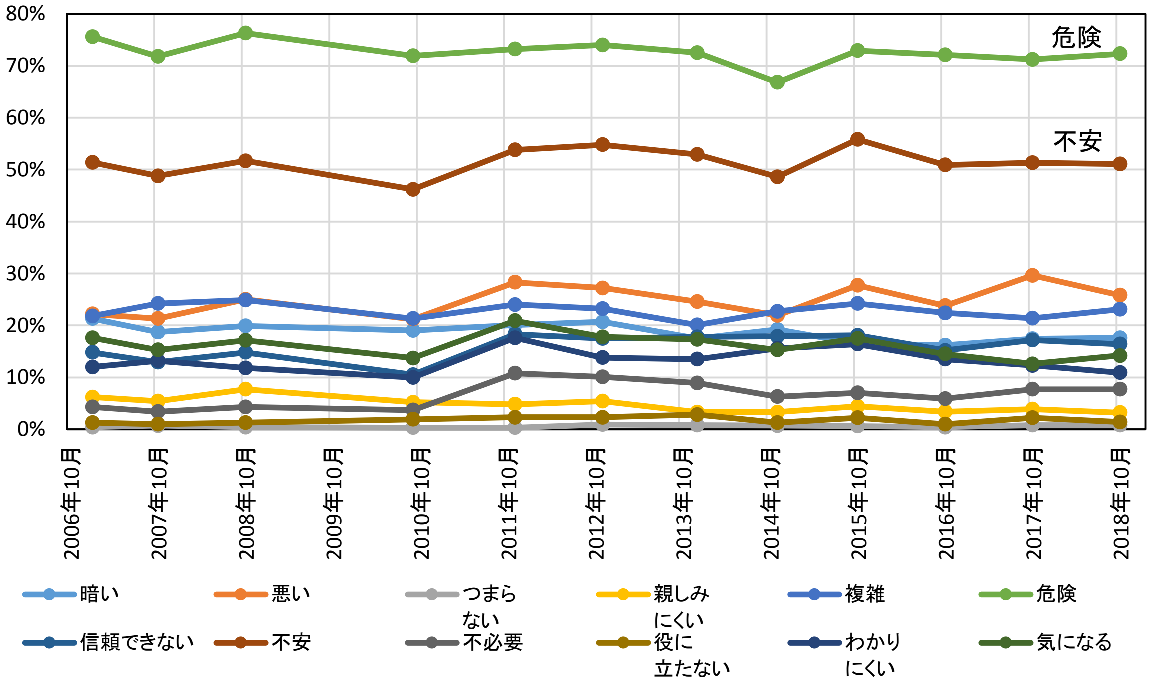


	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月	18年10月
明るい	0.3	1.0	1.1	0.5	0.5	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	–	0.3
よい	1.4	1.1	2.3	1.2	0.6	0.8	0.2	0.7	0.9	0.8	0.6	1.1
おもしろい	0.3	0.8	0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2
親しみやすい	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	–	0.2	0.3	0.1	–	0.9
単純	0.3	0.3	0.2	–	0.3	0.3	–	0.1	0.3	0.2	0.3	0.1
安全	1.7	1.2	2.0	1.3	1.3	0.9	1.3	1.6	0.9	1.1	0.8	1.3
信頼できる	0.6	1.2	1.7	1.4	0.6	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.5	1.3
安心	1.2	0.9	1.7	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	1.0	1.3
必要	15.6	17.8	19.7	18.8	11.8	10.6	6.6	7.9	11.8	11.7	10.8	10.4
役に立つ	22.4	27.2	29.6	28.1	16.3	16.0	13.6	14.5	21.0	19.6	19.3	18.6
わかりやすい	0.3	0.5	0.3	0.1	0.7	0.3	0.3	0.1	0.6	0.3	0.4	0.4
気にならない	1.7	1.1	0.9	2.0	1.0	1.4	1.0	1.4	1.8	1.3	1.4	1.5

(%)

N=1200

否定的なイメージ



	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月	18年10月
暗い	21.3	18.7	19.9	19.0	20.1	20.7	17.5	19.2	16.5	16.2	17.4	17.6
悪い	22.2	21.3	25.0	21.2	28.3	27.2	24.6	21.9	27.7	23.8	29.6	25.8
つまらない	0.4	0.7	0.4	0.3	0.3	0.9	0.8	0.7	0.6	0.4	0.8	0.8
親しみにくい	6.2	5.4	7.7	5.2	4.8	5.4	3.3	3.3	4.4	3.4	3.9	3.2
複雑	21.8	24.2	24.9	21.3	24.0	23.2	20.1	22.7	24.2	22.4	21.4	23.1
危険	75.6	71.8	76.3	71.9	73.2	74.0	72.5	66.8	72.9	72.1	71.2	72.3
信頼できない	14.8	12.9	14.8	10.5	18.3	17.5	17.8	17.9	18.1	15.2	17.2	16.4
不安	51.4	48.8	51.7	46.2	53.8	54.8	52.9	48.6	55.8	50.9	51.3	51.1
不必要	4.3	3.4	4.3	3.7	10.8	10.1	8.9	6.3	7.0	5.9	7.7	7.7
役に立たない	1.3	1.0	1.3	1.9	2.3	2.3	2.8	1.3	2.2	1.0	2.2	1.4
わかりにくい	12.0	13.2	11.8	10.0	17.6	13.8	13.5	15.6	16.4	13.5	12.3	10.9
気になる	17.6	15.3	17.1	13.7	20.9	17.8	17.3	15.3	17.5	14.5	12.6	14.2
その他	2.0	2.1	2.0	1.1	3.8	2.8	2.3	1.6	2.3	1.9	1.8	1.8
あてはまるものはない	2.8	2.9	1.8	1.9	2.0	1.4	4.4	5.1	2.7	3.0	4.8	3.6

(%)

Ⅲ章　原子力・放射線・エネルギーについての関心・情報保有量（知識）

●エネルギー･環境分野への関心

昨年度までの調査項目を分野により2つに分類した。
関心が高い項目は「地球温暖化」（71.7%）が最も高く、「電気料金」（45.1%）、「日本のエネルギー事情」（33.6%）、「電気自動車」（32.9%）、「省エネルギー」（29.8%）、「太陽光発電の開発状況」（29.1%）と続く。
一方、関心が低い項目は「各発電方法の二酸化炭素排出量の比較」（5.5%）、「各発電方法の発電電力量の割合」（5.7%）、「各発電方法の発電コスト比較」（7.3%）と続く。

問3-1.「エネルギー･環境」の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

18年10月全体 N=1200

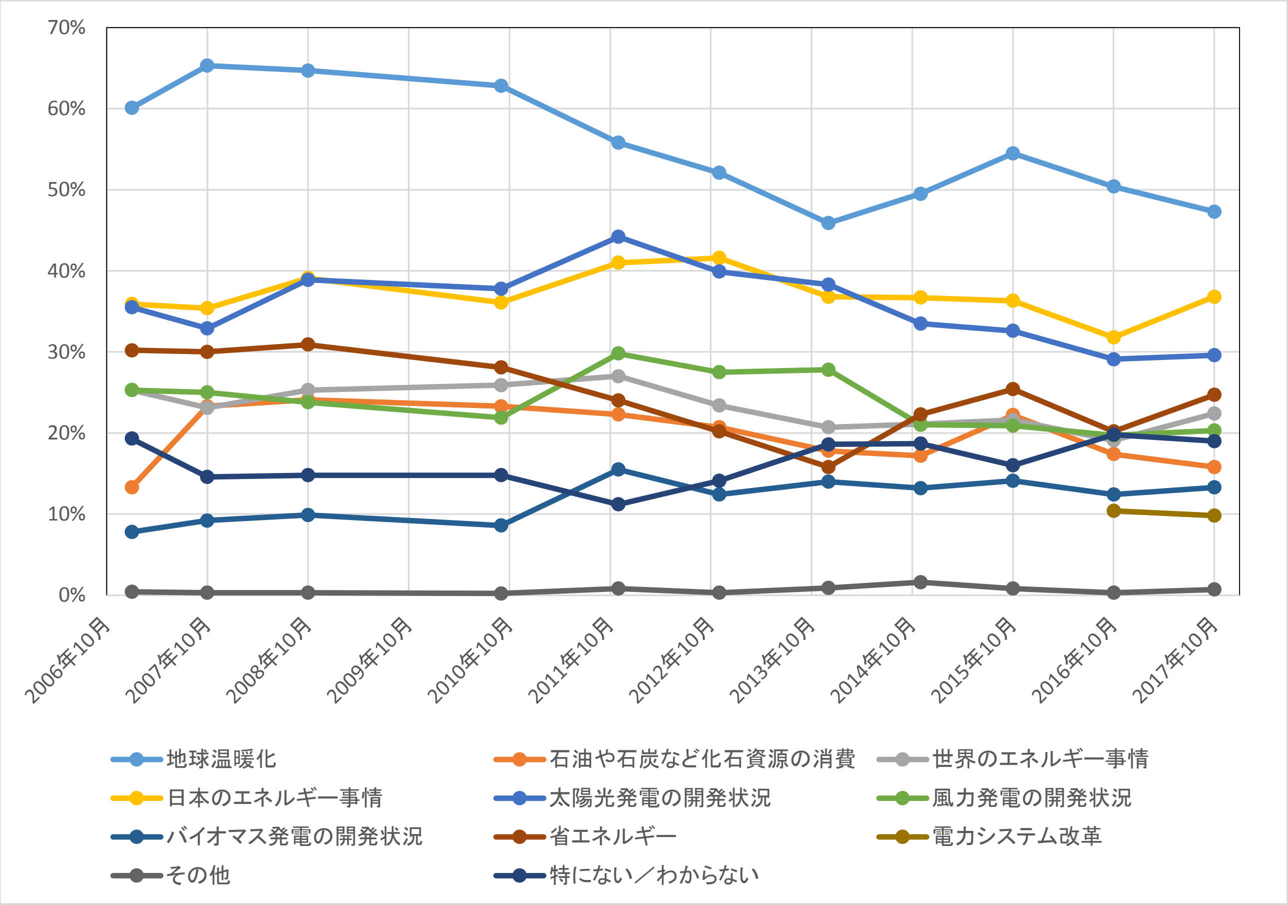
＜参考　2006～2017年度結果＞
問3. 原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月
地球温暖化	60.1	65.3	64.7	62.8	55.8	52.1	45.9	49.5	54.5	50.4	47.3
石油や石炭など化石資源の消費	13.3	23.3	24.1	23.3	22.3	20.7	17.8	17.2	22.2	17.4	15.8
世界のエネルギー事情	25.3	23.1	25.3	25.9	27.0	23.4	20.7	21.1	21.6	19.1	22.4
日本のエネルギー事情	35.9	35.4	39.1	36.1	41.0	41.6	36.8	36.7	36.3	31.8	36.8
太陽光発電の開発状況	35.5	32.9	38.9	37.8	44.2	39.9	38.3	33.5	32.6	29.1	29.6
風力発電の開発状況	25.3	25.0	23.8	21.9	29.8	27.5	27.8	21.0	20.9	19.7	20.3
バイオマス発電の開発状況	7.8	9.2	9.9	8.6	15.5	12.4	14.0	13.2	14.1	12.4	13.3
省エネルギー	30.2	30.0	30.9	28.1	24.0	20.2	15.8	22.3	25.4	20.2	24.7
電力システム改革										10.4	9.8
その他	0.4	0.3	0.3	0.2	0.8	0.3	0.9	1.6	0.8	0.3	0.7
特にない／わからない	19.3	14.6	14.8	14.8	11.2	14.1	18.6	18.7	16.0	19.8	19.0

(%)

＊07年1月の選択肢は「化石資源の消費」、07年10月からは「石油や石炭など化石資源の消費」に変更
＊過去データがない項目は、それぞれ各年に追加された項目

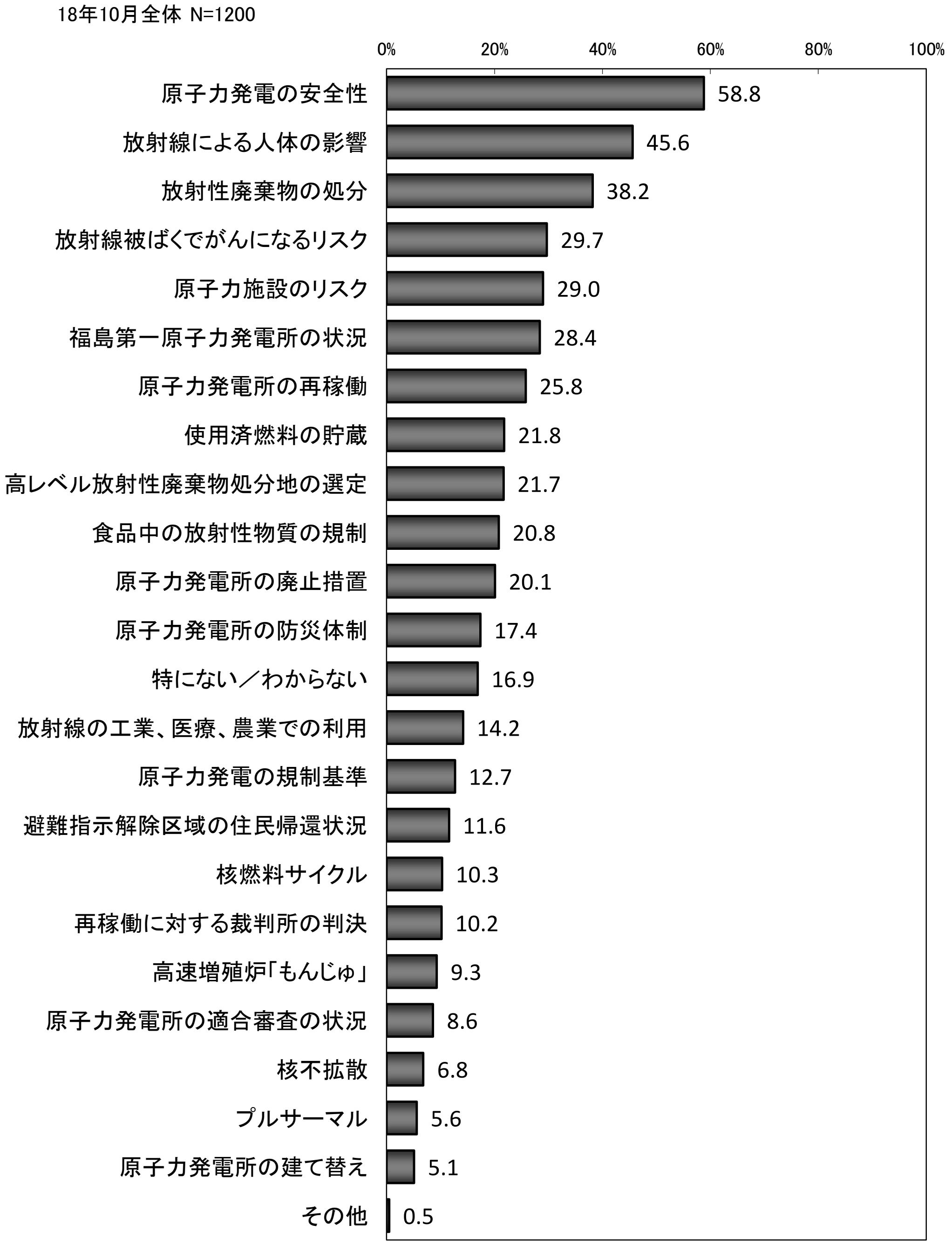
＜参考　2006～2017年度経年変化＞
問3. 原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）



●原子力・放射線への関心

昨年度までの調査項目を分野により2つに分類した。
関心が高い項目は「原子力発電の安全性」（58.8%）が最も高く、「放射線による人体の影響」（45.6%）、「放射性廃棄物の処分」（38.2%）、「放射線被ばくでがんになるリスク」（29.7%）、「原子力施設のリスク」（29.0%）、「福島第一原子力発電所の状況」（28.4%）と続く。
一方、関心が低い項目は「原子力発電所の建て替え」（5.1%）、「プルサーマル」（5.6%）、「核不拡散」（6.8%）、「原子力発電所の適合審査の状況」（8.6%）、「高速増殖炉「もんじゅ」」（9.3%）と続く。

問3-2.「原子力・放射線」の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



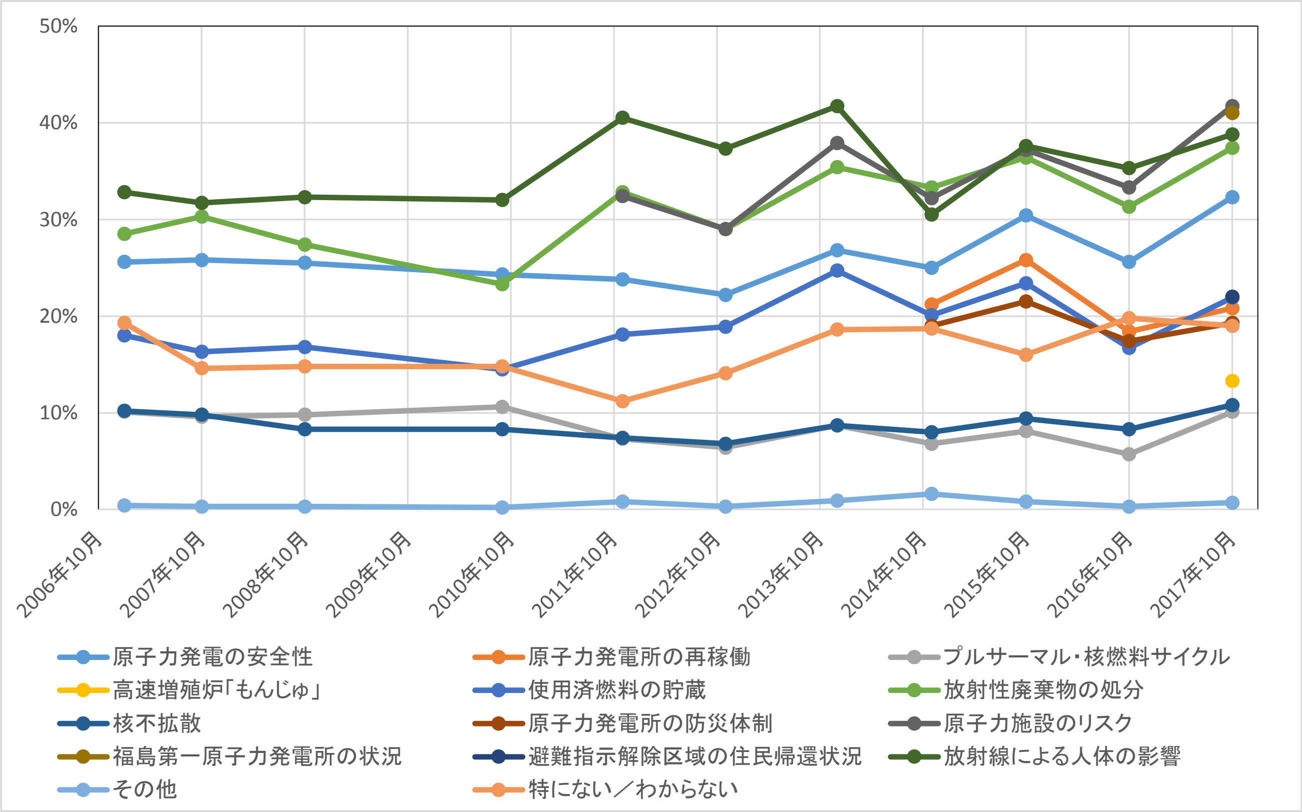
＜参考　2016～2017年度結果＞
問3. 原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

	07年1月	07年10月	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月
原子力発電の安全性	25.6	25.8	25.5	24.3	23.8	22.2	26.8	25.0	30.4	25.6	32.3
原子力発電所の再稼働								21.2	25.8	18.4	20.8
プルサーマル・核燃料サイクル	10.1	9.6	9.8	10.6	7.3	6.4	8.7	6.8	8.1	5.7	10.1
高速増殖炉「もんじゅ」											13.3
使用済燃料の貯蔵	18.0	16.3	16.8	14.5	18.1	18.9	24.7	20.1	23.4	16.7	21.9
放射性廃棄物の処分	28.5	30.3	27.4	23.3	32.8	29.0	35.4	33.3	36.4	31.3	37.4
核不拡散	10.2	9.8	8.3	8.3	7.4	6.8	8.7	8.0	9.4	8.3	10.8
原子力発電所の防災体制								19.0	21.5	17.4	19.3
原子力施設のリスク					32.4	29.0	37.9	32.2	37.2	33.3	41.7
福島第一原子力発電所の状況											41.0
避難指示解除区域の住民帰還状況											22.0
放射線による人体の影響	32.8	31.7	32.3	32.0	40.5	37.3	41.7	30.5	37.6	35.3	38.8
その他	0.4	0.3	0.3	0.2	0.8	0.3	0.9	1.6	0.8	0.3	0.7
特にない／わからない	19.3	14.6	14.8	14.8	11.2	14.1	18.6	18.7	16.0	19.8	19.0

(%)

＊17年10月より、「高速増殖炉「もんじゅ」のしくみ」と「高速増殖炉「もんじゅ」の安全性」を統合
＊過去データがない項目は、それぞれ各年に追加された項目

＜参考　2016～2017年度経年変化＞
問3. 原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

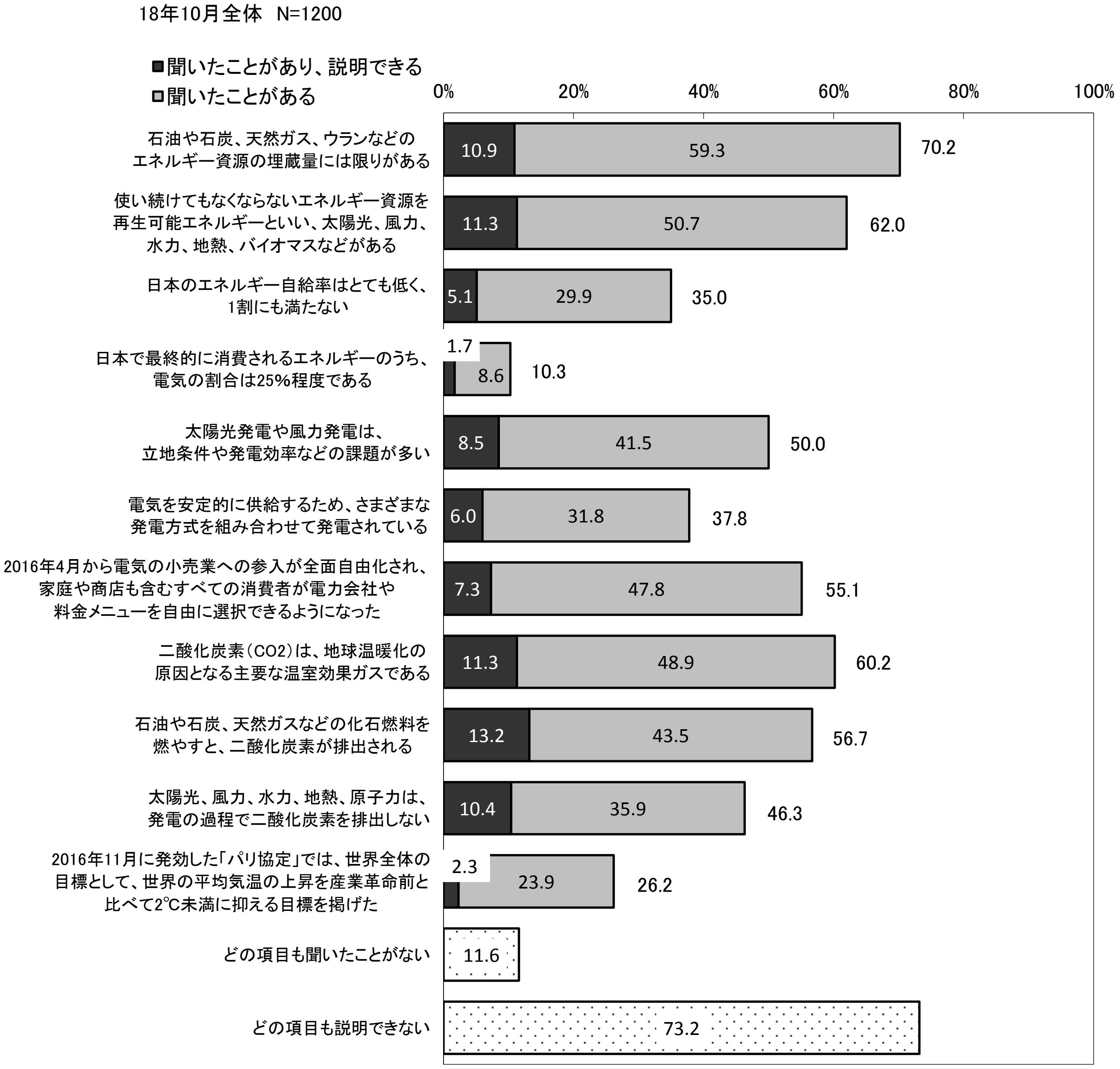


●エネルギー・環境分野に関する情報保有量（知識）

エネルギー・環境分野で認知度が高い項目は、「エネルギー資源の埋蔵量には限り」（聞いたことがある70.2%（以下同様））、「再生可能エネルギーについて」（62.0%）、「CO2は温室効果ガスの1つ」（60.2%）、「化石燃料を燃やすとCO2発生」（56.7%）、「電気の全面自由化」（55.1%）。ただし、説明できるかどうかを聞くと、高くても13%程度の回答率となる。
一方で、認知度の低い項目として、「消費エネルギーの中の電気の割合は25%程度」（10.3%）が突出している。「パリ協定の内容」（26.2%）も比較的認知度が低い。

問4-1.「エネルギー・環境」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

問4-2.「問4-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

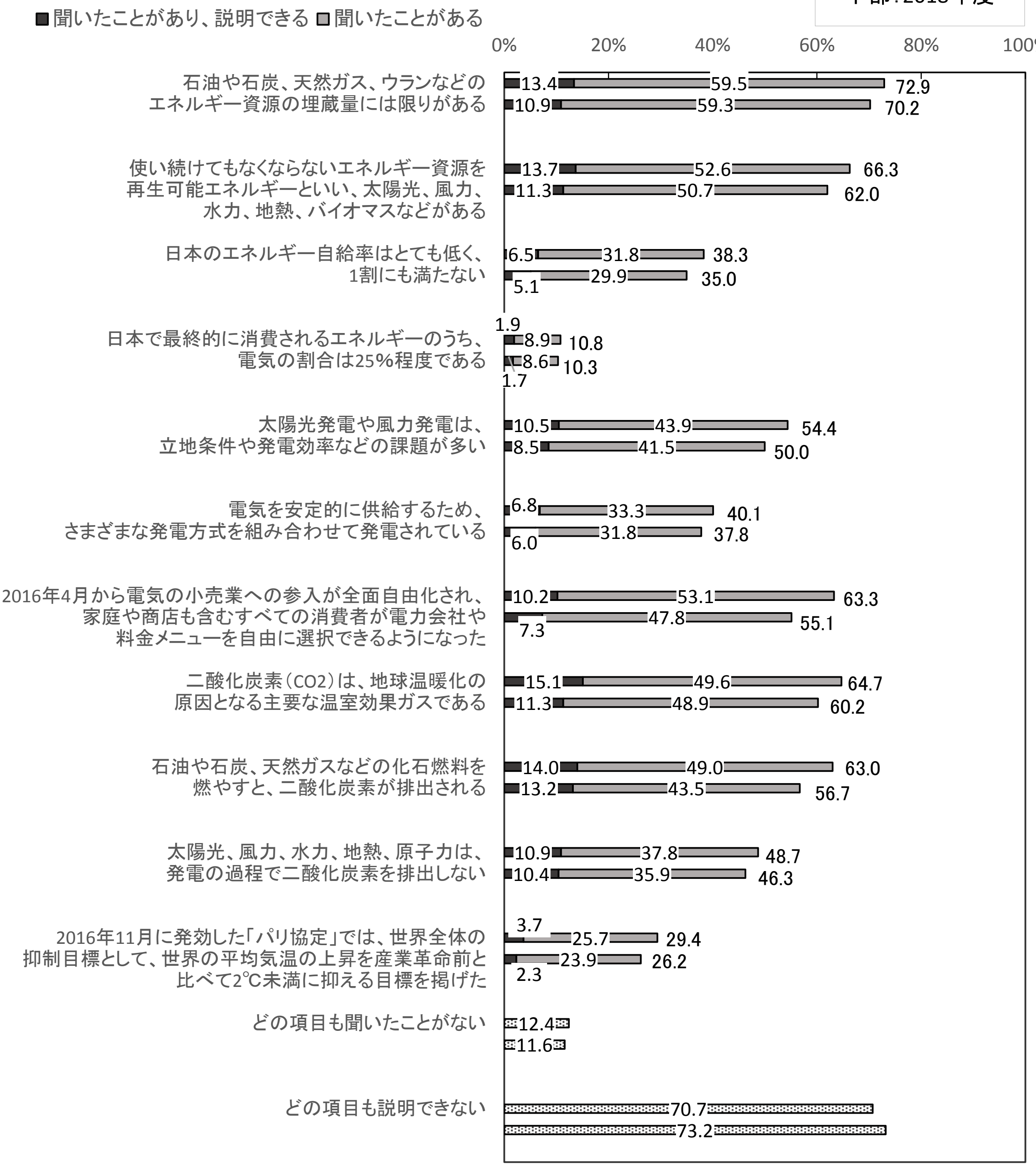


＜経年変化＞

問4-1. 「エネルギー・環境」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

問4-2. 「問4-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

上部：2017年度
下部：2018年度

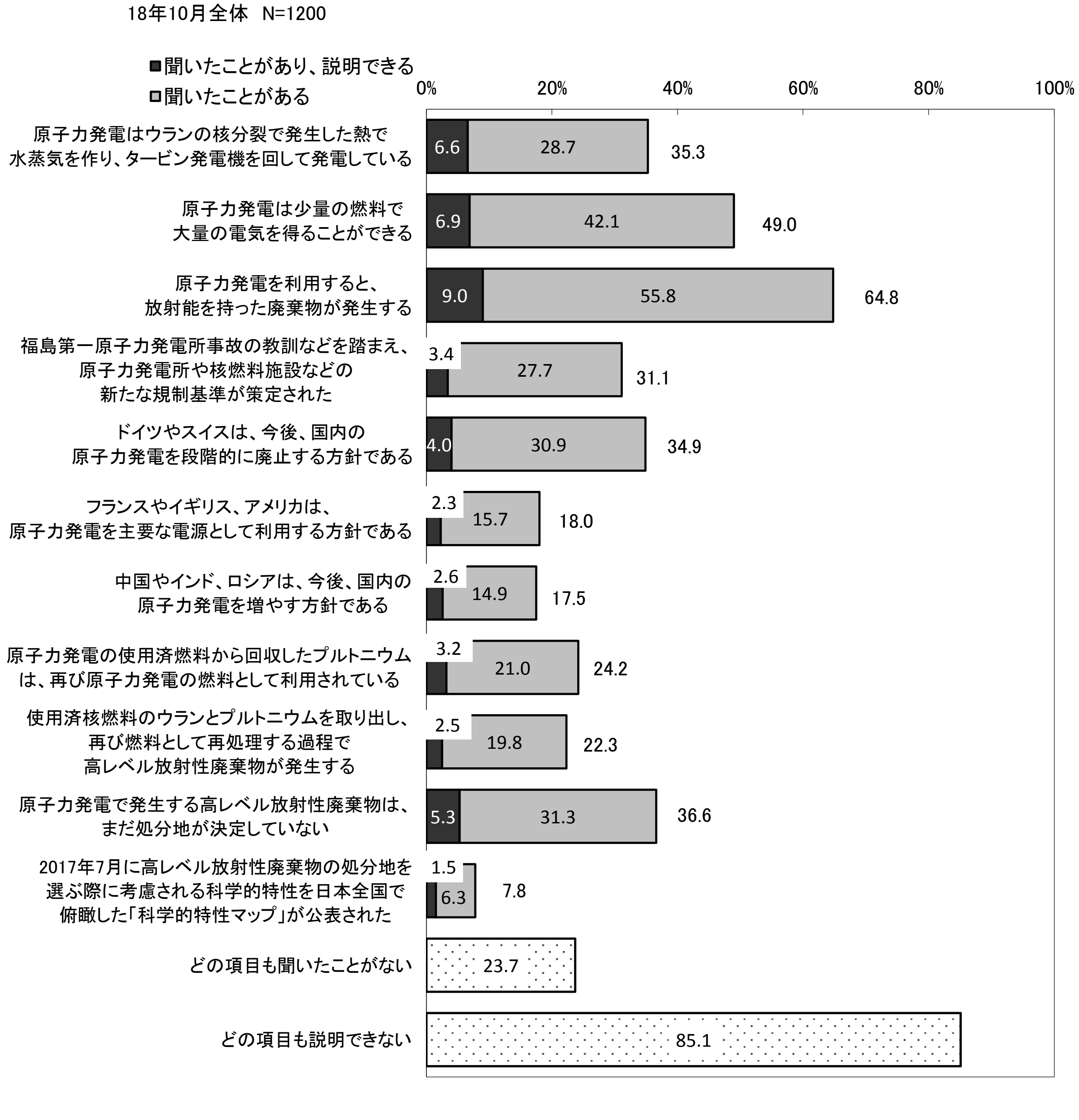


●原子力分野に関する情報保有量（知識）

原子力分野で認知度が高い項目は、「原子力発電で放射性廃棄物発生」（聞いたことがある64.8%（以下同様））が突出している。エネルギー・環境全般の話題と比較すると、全体として認知度が低い。
一方で、認知度の低い項目として、「科学的特性マップの公表」（7.8%）が最も低い。そして、「中国、インド、ロシアの原子力利用（増加）」（17.5%）、「フランス、イギリス、アメリカの原子力利用（維持）」（18.0%）と続く。なお、この原子力を増加・維持する国に関する2項目については、類似項目「ドイツ、スイスの原子力利用（段階的廃止）」（34.9%）と比較すると低いことがわかる。

問5-1.「原子力」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

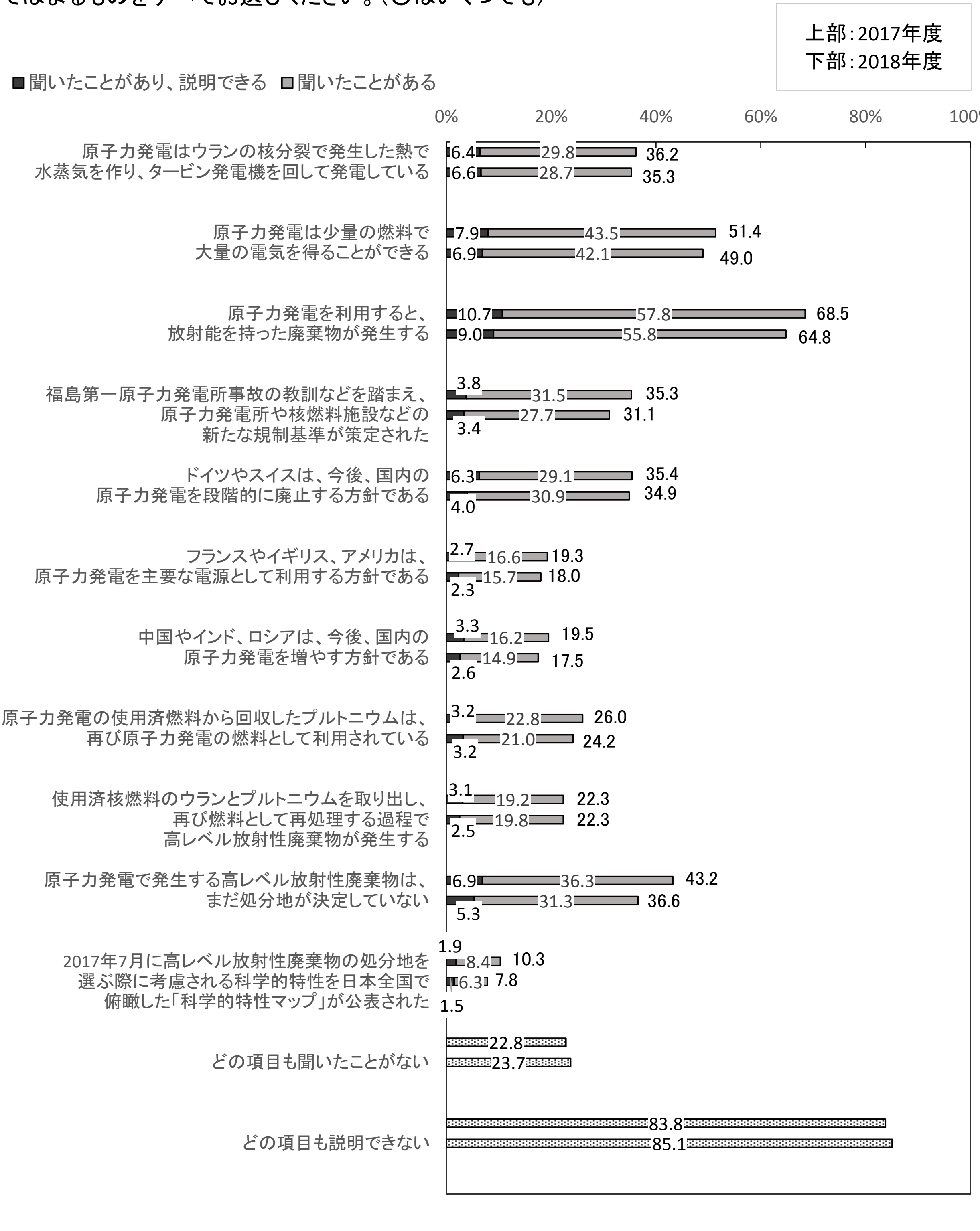
問5-2.「問5-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）



＜経年変化＞

問5-1.「原子力」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

問5-2.「問5-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

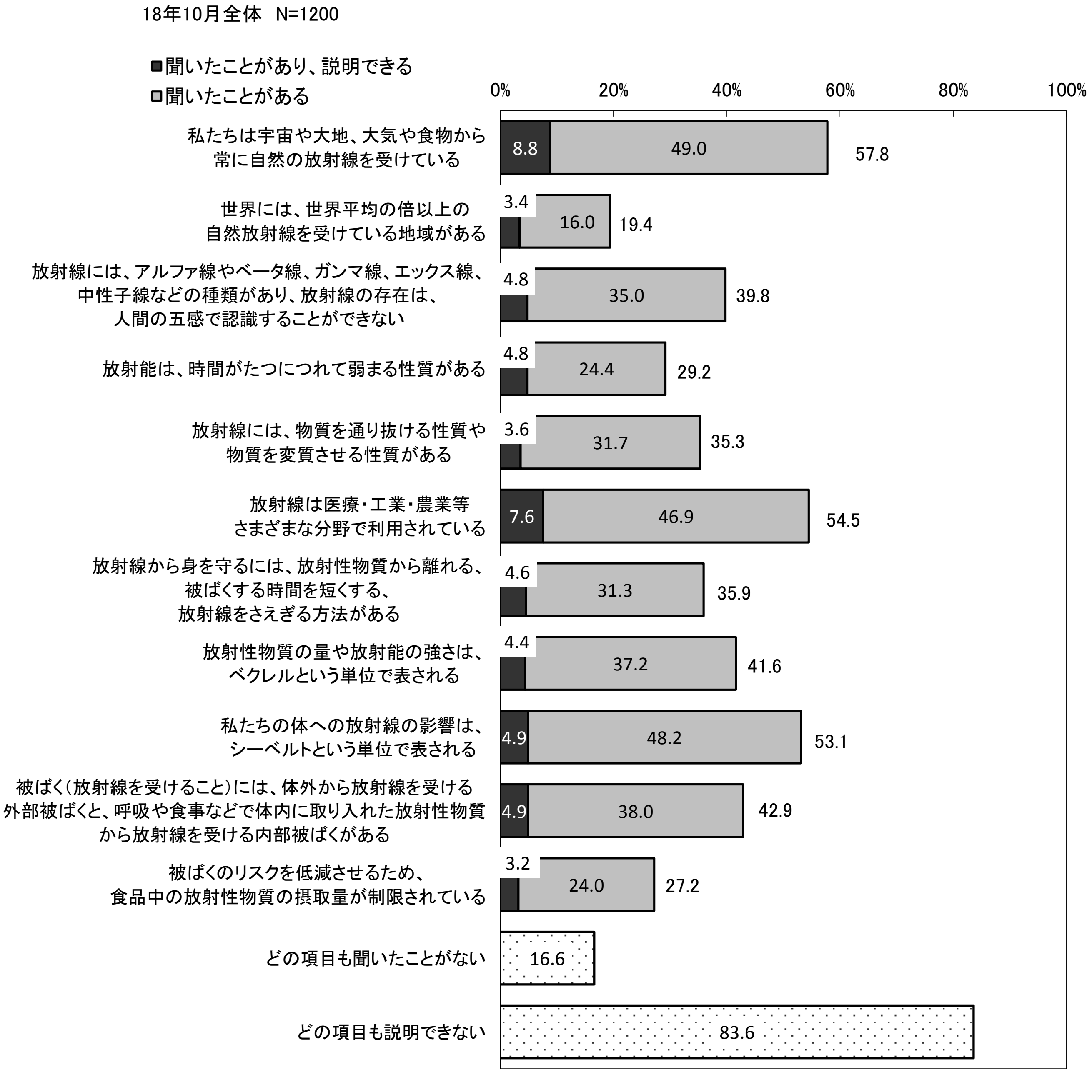


●放射線分野に関する情報保有量（知識）

放射線分野で認知度が高い項目は、「自然放射線を受けている」（聞いたことがある57.8%（以下同様））、「放射線は様々な分野で利用」（54.5%）、「シーベルトという単位」（53.1%）が挙げられる。全体としてエネルギー・環境分野より、やや認知度が低い。
一方、認知度の低い項目として、「世界平均の倍以上の自然放射線を受ける地域の存在」（19.4%）が挙げられ、次いで、「食品中の放射性物質の摂取量制限」（27.2%）、「放射能の時間減衰」（29.2%）と続く。

問6-1.「放射線」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

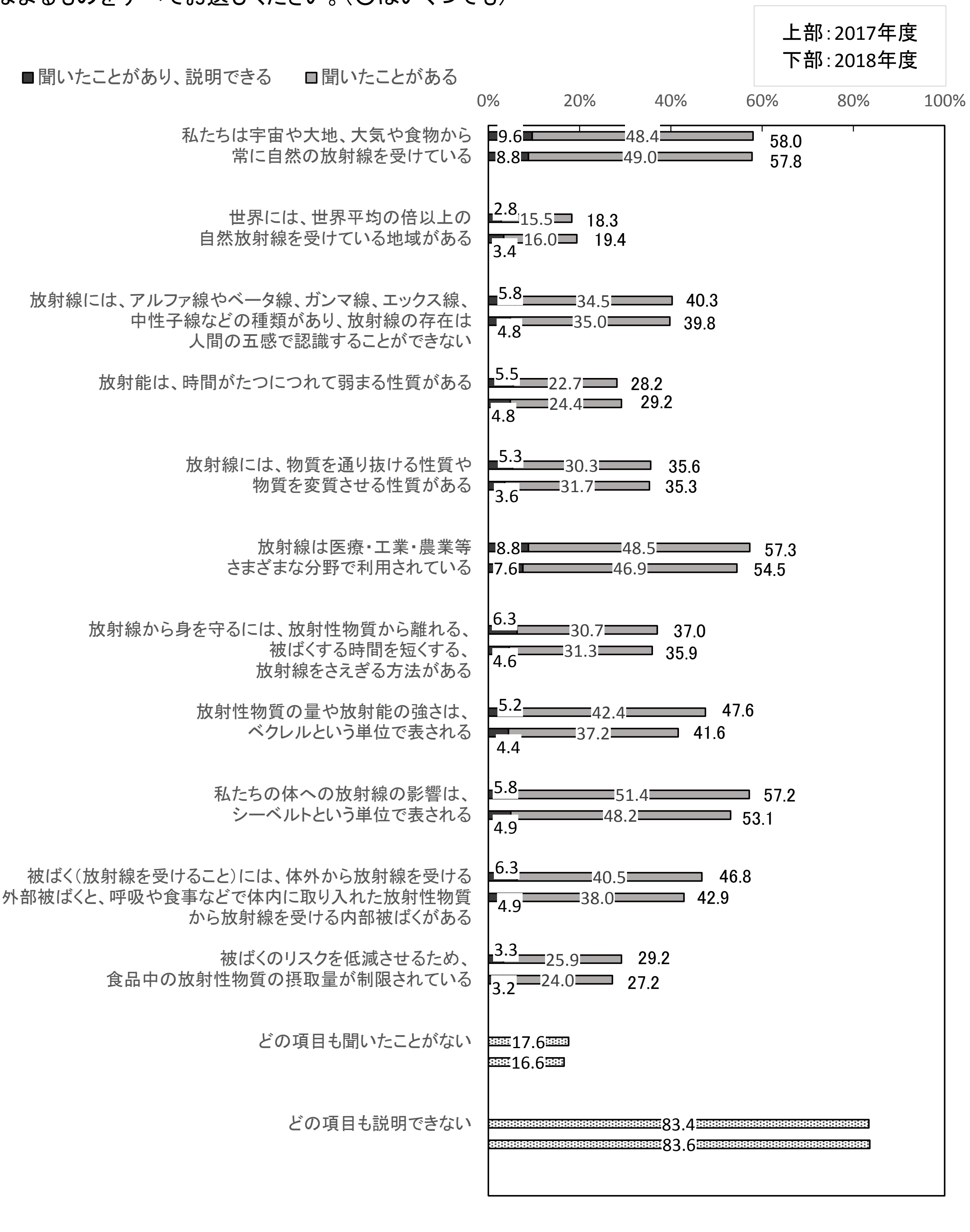
問6-2.「問6-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）



<経年変化>

問6-1.「放射線」の分野において、あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

問6-2.「問6-1で選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

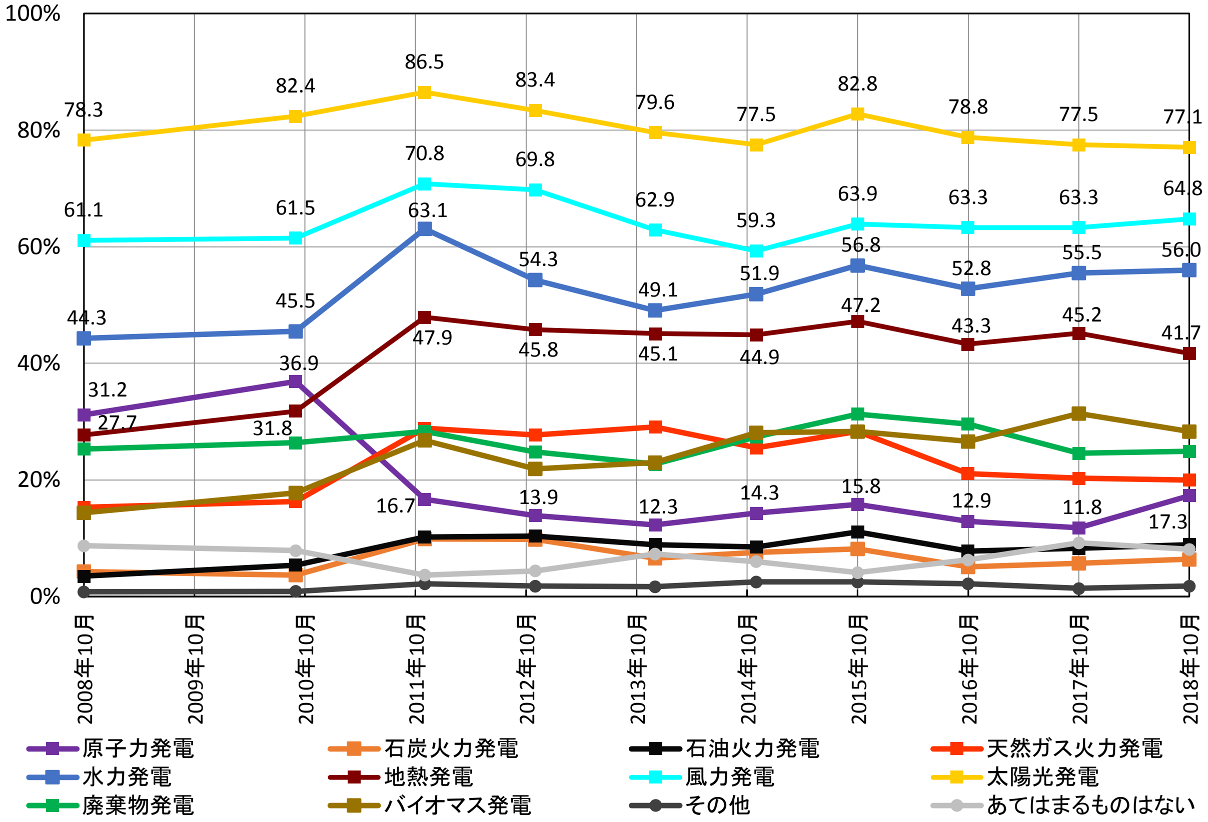


Ⅳ章　原子力・エネルギーに対する態度

●エネルギーに対する態度

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーとしては、「太陽光発電」(77.1%)、「風力発電」(64.8%)、「水力発電」(56.0%)、「地熱発電」(41.7%)と続く。前回と大きな変化はない。
一方、石炭火力、石油火力は経年的にも低いポイントである。天然ガス火力は、東日本大震災後に増加したが、2016年度から低くなっているように見える。また、原子力発電は福島事故後から低いポイントであったが、2018年度調査ではポイントが増加した。

問7. 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。
以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(〇はいくつでも)



	08年10月	10年9月	11年11月	12年11月	13年12月	14年11月	15年10月	16年10月	17年10月	18年10月
原子力発電	31.2	36.9	16.7	13.9	12.3	14.3	15.8	12.9	11.8	17.3
石炭火力発電	4.3	3.7	9.9	9.8	6.6	7.6	8.2	5.1	5.7	6.4
石油火力発電	3.5	5.4	10.2	10.4	8.9	8.5	11.1	7.8	8.3	8.9
天然ガス火力発電	15.3	16.3	28.9	27.7	29.1	25.5	28.3	21.1	20.3	20.0
水力発電	44.3	45.5	63.1	54.3	49.1	51.9	56.8	52.8	55.5	56.0
地熱発電	27.7	31.8	47.9	45.8	45.1	44.9	47.2	43.3	45.2	41.7
風力発電	61.1	61.5	70.8	69.8	62.9	59.3	63.9	63.3	63.3	64.8
太陽光発電	78.3	82.4	86.5	83.4	79.6	77.5	82.8	78.8	77.5	77.1
廃棄物発電	25.3	26.4	28.3	24.8	22.7	27.4	31.3	29.6	24.6	24.9
バイオマス発電	14.4	17.8	26.8	21.9	23.0	28.1	28.3	26.6	31.4	28.3
その他	0.8	0.9	2.2	1.8	1.7	2.5	2.5	2.2	1.4	1.8
あてはまるものはない	8.7	7.9	3.7	4.4	7.3	6.0	4.1	6.3	9.2	8.1

＊08年10月までの質問文は「今後わが国は～」、10年9月から「今後日本は～」に変更 (%)

＜2018年10月のクロス集計結果＞

	全体	性別		年代別							エネルギー環境の情報保有量別			
		男 性	女 性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	保有量多	保有量中	保有量少	保有量無
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162	226	552	283	139
原子力発電	17.3	24.0	10.7	24.3	16.2	15.5	18.1	17.2	18.5	14.2	11.1	8.0	2.1	1.4
石炭火力発電	6.4	9.6	3.3	10.8	8.8	3.2	7.7	4.3	7.7	4.9	14.6	10.7	3.2	4.3
石油火力発電	8.9	12.8	5.1	12.2	10.8	5.3	12.2	5.9	9.0	8.6	32.7	23.9	8.8	6.5
天然ガス火力発電	20.0	25.3	14.8	13.5	12.2	8.6	23.1	21.5	28.8	25.3	25.7	19.9	11.3	5.0
水力発電	56.0	59.8	52.3	58.1	46.6	54.0	56.6	64.0	55.4	56.8	68.1	63.8	45.2	27.3
地熱発電	41.7	48.5	35.0	40.5	38.5	35.8	45.2	44.1	43.7	41.4	65.5	47.5	26.5	10.8
風力発電	64.8	65.4	64.1	56.8	58.8	61.5	71.0	68.3	65.8	63.6	72.1	72.5	58.7	34.5
太陽光発電	77.1	75.7	78.5	63.5	74.3	78.1	75.6	86.6	78.4	74.1	80.1	83.7	72.8	54.7
廃棄物発電	24.9	25.0	24.8	21.6	27.0	18.2	27.1	29.6	23.9	25.3	33.6	28.8	16.6	12.2
バイオマス発電	28.3	34.0	22.7	27.0	26.4	21.4	29.4	30.1	31.1	30.9	52.2	33.2	9.9	7.2
その他	1.8	2.2	1.3	−	3.4	1.1	3.2	1.1	0.9	1.9	3.1	2.0	0.7	0.7
あてはまるものはない	8.1	6.8	9.4	23.0	8.1	8.6	8.6	5.4	6.3	5.6	2.7	4.3	9.5	28.8

(%)

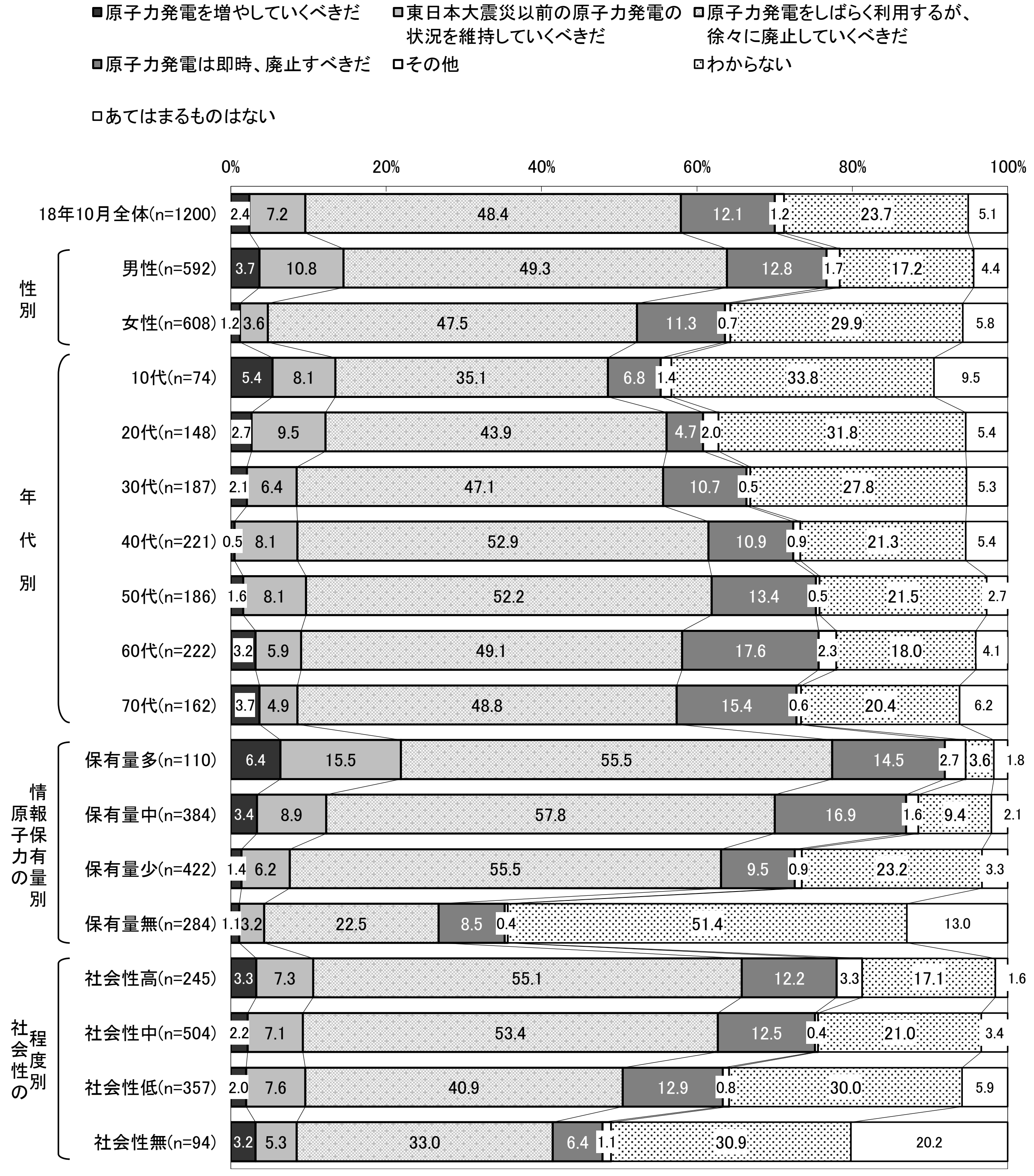
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
原子力発電	17.3	35.5	22.9	14.0	7.4	22.0	15.5	16.5	17.0	74.8	13.9	1.4	10.2
石炭火力発電	6.4	15.5	9.6	4.3	1.8	9.0	6.2	5.6	4.3	13.9	7.1	6.2	2.5
石油火力発電	8.9	20.0	11.7	6.2	4.9	9.4	9.5	8.1	7.4	13.9	10.2	9.0	4.6
天然ガス火力発電	20.0	38.2	30.5	15.2	6.0	26.9	21.2	14.6	16.0	29.6	23.4	24.8	9.2
水力発電	56.0	72.7	65.9	59.7	30.6	64.9	61.5	47.6	35.1	59.1	66.1	73.1	34.2
地熱発電	41.7	64.5	59.6	36.7	15.8	54.7	43.7	34.2	25.5	40.9	52.0	53.8	20.4
風力発電	64.8	65.5	74.2	70.9	42.6	72.2	70.2	59.4	36.2	56.5	74.9	79.3	52.8
太陽光発電	77.1	71.8	84.9	82.5	60.6	78.8	81.7	74.5	57.4	63.5	86.6	83.4	71.5
廃棄物発電	24.9	34.5	33.1	23.2	12.7	35.5	26.8	16.2	20.2	25.2	31.2	27.6	14.4
バイオマス発電	28.3	51.8	45.1	20.6	7.7	39.2	29.2	24.4	9.6	29.6	34.3	40.0	13.7
その他	1.8	6.4	2.1	0.5	1.4	3.3	0.6	2.5	1.1	1.7	1.4	4.8	1.1
あてはまるものはない	8.1	2.7	1.8	5.2	22.9	5.7	4.6	9.8	26.6	0.9	0.9	0.7	16.2

(%)

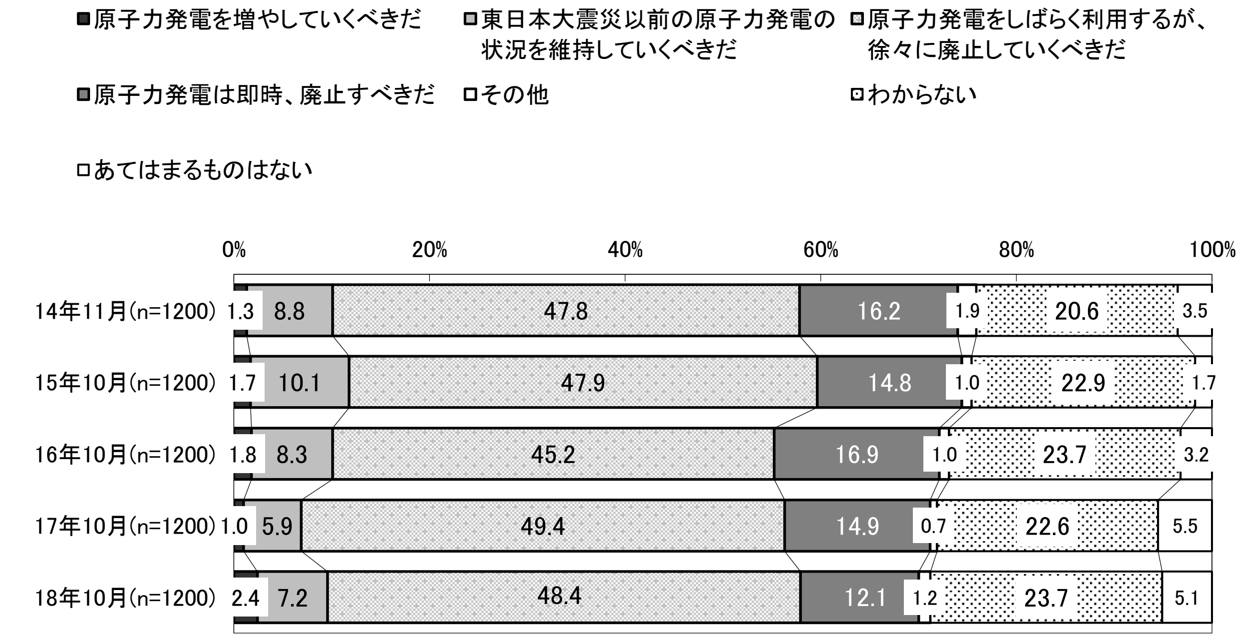
●エネルギーに対する態度

今後の原子力発電の利用に関して、もっとも大きい意見は「原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ（徐々に廃止）」（48.4%）。次いで、「原子力発電は即時、廃止すべきだ（即時廃止）」（12.1%）。原子力発電維持・増加の意見は1割を下回る。また、「わからない」の回答が23.7%。
経年変化を見ると、15年度調査から17年度調査まで、原子力発電維持・増加の意見は減少傾向にあったが、18年度調査においてはわずかに増加した。年齢別を見ても大きな傾向は変わらないが、30代以下では「わからない」の回答が多い。また、60代以上では「即時廃止」の回答がやや多い。

問8-1. 今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○は1つだけ）

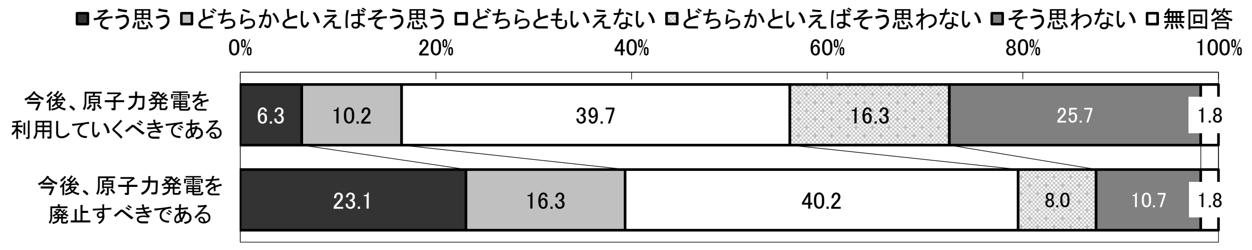


＜経年変化＞
問8-1. 今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇は1つだけ）



＜参考＞ 2013年12月 全体 N=1200
問. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。

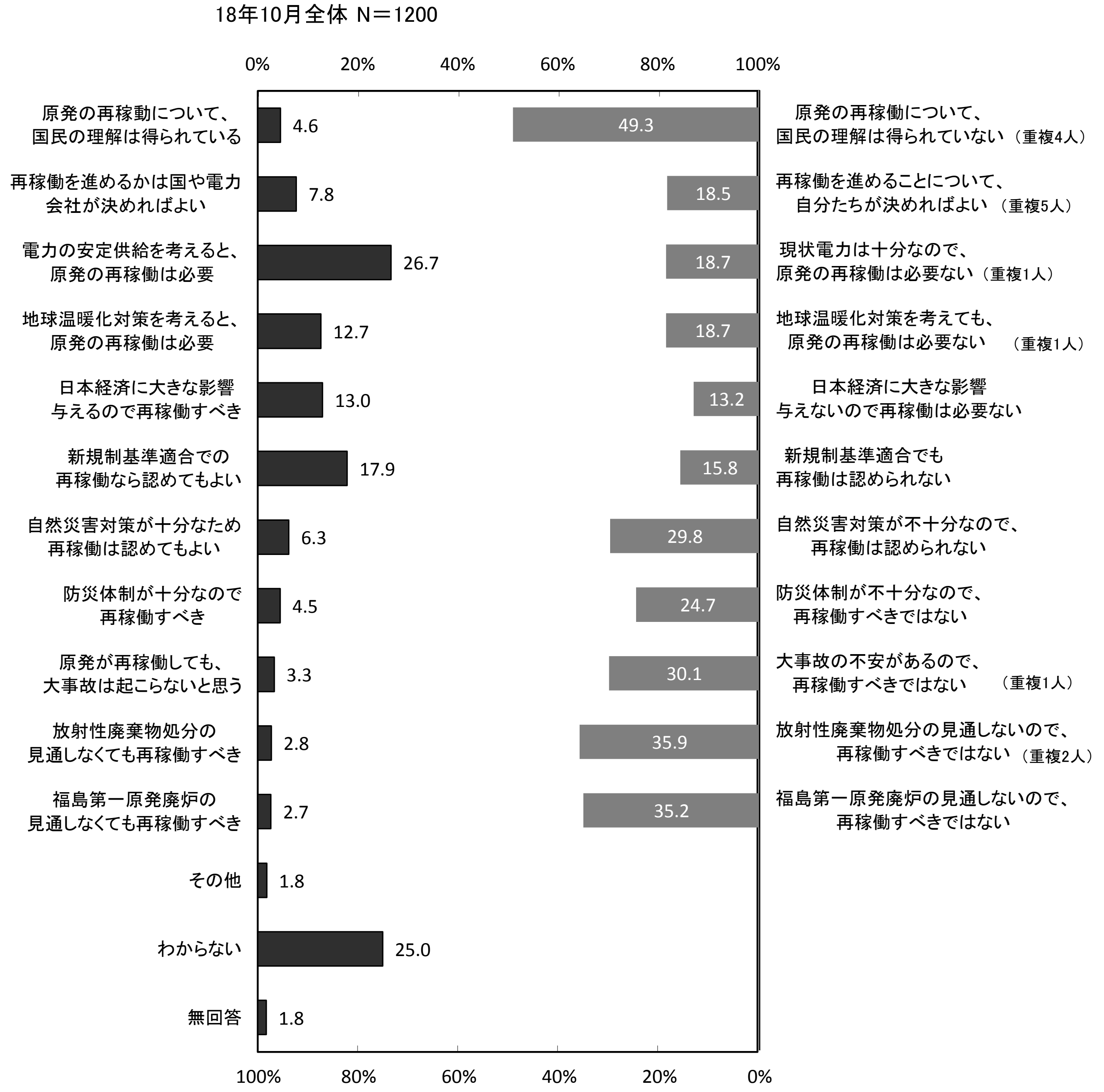
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ1つずつ）



●エネルギーに対する態度

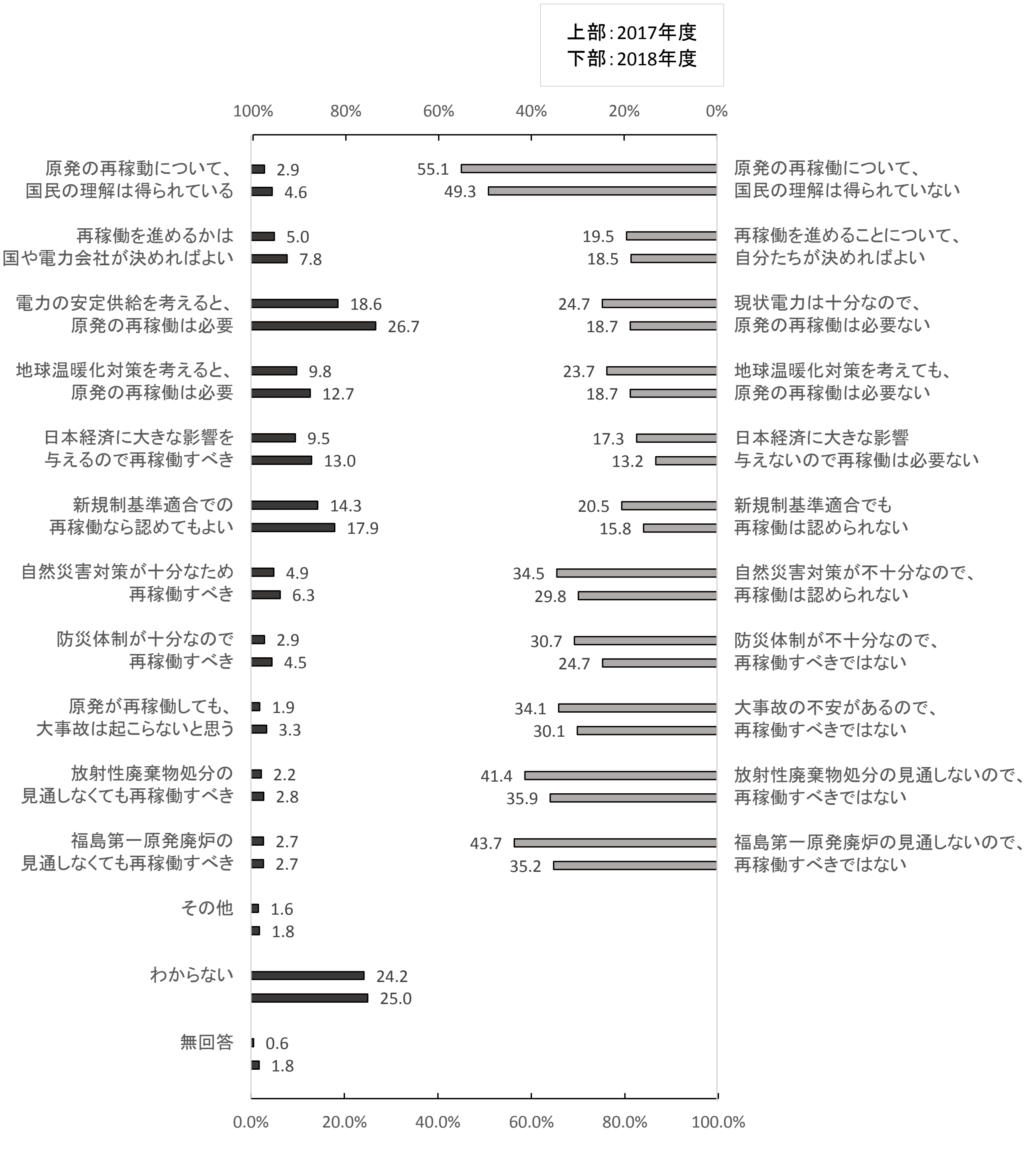
再稼動に関する意見として多く見られるのは、「再稼働について国民の理解は得られていない」(49.3%)、「放射性廃棄物処分の見通しないので再稼動すべきではない」(35.9%)、「福島原発廃炉の見通しないので再稼働すべきでない」(35.2%)。次いで、「大事故の不安」(30.1%)、「自然災害対策不十分」(29.8%)、「防災体制不十分」(24.7%)と続く。これらの項目は再稼働について否定的な意見である。
一方、再稼働について肯定的な意見の中で比較的多く見られる意見は、「電力安定供給のために再稼働必要」(26.7%)、「新規制基準適合での再稼働ならよい」(17.9%)であるが、どちらも対となる否定的な意見の回答割合よりは高い。

問8-2. 原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。以下のような再稼働に関するご意見について、あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。(〇はいくつでも)



＜経年変化＞

問8-2. 原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、
地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。以下のような再稼働に関するご意見について、
あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。（〇はいくつでも）



＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問8-2. 原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、
地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。以下のような再稼働に関するご意見について、
あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。（○はいくつでも）

	全体	性別		年代別							エネルギー環境の情報保有量別			
		男 性	女 性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	保有量多	保有量中	保有量少	保有量無
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162	226	552	283	139
原子力発電所の再稼動を進めることについて、国民の理解は得られている	4.6	7.3	2.0	2.7	4.7	2.7	5.0	4.8	6.8	3.7	11.5	4.5	1.4	−
原子力発電所の再稼働を進めることについて、国民の理解は得られていない	49.3	51.4	47.2	36.5	39.9	43.3	48.4	62.4	54.1	50.0	65.0	61.1	33.9	7.9
再稼働を進めるかどうかは、政策を実施してきた国や電力会社が決めればよい	7.8	10.3	5.3	13.5	8.8	7.5	7.7	5.4	6.8	8.6	11.5	8.9	5.3	2.2
再稼働を進めることについては、電気を使用してきた自分たちが決めればよい	18.5	19.9	17.1	9.5	12.8	21.4	19.5	22.6	20.3	16.0	30.5	20.7	11.7	4.3
電力の安定供給を考えると、原子力発電の再稼働は必要	26.7	33.4	20.1	24.3	27.7	28.9	25.8	30.6	24.8	23.5	41.6	31.3	17.3	2.9
現状では電力は十分まかなえているので、原子力発電の再稼働は必要ない	18.7	19.6	17.8	9.5	5.4	13.9	19.5	20.4	29.3	22.8	25.7	23.4	10.6	5.0
地球温暖化対策を考えると、原子力発電の再稼働は必要	12.7	17.6	7.9	10.8	12.2	8.0	11.3	14.5	15.3	15.4	24.3	14.5	5.7	0.7
地球温暖化対策を考えても、原子力発電の再稼働は必要ない	18.7	20.4	16.9	9.5	10.1	16.6	18.1	17.7	26.1	24.7	29.2	21.0	12.0	5.8
原子力発電を止めると、日本経済に大きな影響を与えるので、再稼働すべき	13.0	18.1	8.1	9.5	14.2	10.7	13.1	14.5	14.9	11.7	21.2	15.6	7.1	1.4
原子力発電を止めても、日本経済に大きな影響を与えないので、再稼働する必要はない	13.2	15.5	10.9	1.4	4.1	11.8	14.0	14.5	19.4	17.3	21.7	16.1	5.7	2.9
新規制基準への適合確認を経て再稼働したのであれば、認めてもよい	17.9	22.5	13.5	12.2	12.8	16.6	19.0	20.4	19.8	19.8	30.5	21.0	9.9	1.4
新規制基準への適合確認を経たとしても、再稼働は認められない	15.8	16.7	15.0	6.8	7.4	10.7	14.9	20.4	21.2	22.2	28.8	18.5	6.7	2.9
地震や津波などの自然災害への対策が十分に講じられているため、再稼働は認めてもよい	6.3	9.0	3.6	6.8	4.1	5.3	6.8	7.5	6.3	6.8	10.6	7.2	3.2	1.4
地震や津波などの自然災害への対策が不十分なので、再稼働は認められない	29.8	28.9	30.8	20.3	22.3	24.6	29.9	32.3	38.3	32.7	43.8	34.1	22.3	5.8
防災体制が十分に整備されているため、再稼働するべき	4.5	6.6	2.5	5.4	4.7	3.2	4.1	5.9	4.5	4.3	8.0	5.3	2.1	0.7
防災体制が不十分なので、再稼働するべきでない	24.7	25.7	23.7	16.2	20.3	20.3	24.4	26.3	27.9	31.5	36.7	29.2	15.9	5.0
原子力発電が再稼働しても、大事故は起こらないと思う	3.3	5.2	1.5	2.7	2.7	2.1	2.7	3.2	5.0	4.3	7.1	3.4	1.4	0.7
大事故の不安があるので、原子力発電は再稼働するべきではない	30.1	29.9	30.3	23.0	23.0	26.2	27.6	32.8	39.6	31.5	42.5	36.1	19.4	7.9
放射性廃棄物の処分の見通しが立っていない状況でも、再稼働するべき	2.8	4.2	1.3	2.7	1.4	3.7	1.8	3.2	3.2	3.1	4.4	3.6	1.1	−
放射性廃棄物の処分の見通しが立っていない状況では、再稼働するべきではない	35.9	34.5	37.3	27.0	25.7	31.0	36.7	40.3	41.0	42.0	52.7	44.0	21.2	6.5
福島第一原子力発電所の廃炉の見通しが立っていない状況でも、再稼働するべき	2.7	4.2	1.2	1.4	1.4	2.7	3.2	3.2	3.2	2.5	6.2	2.5	1.4	−
福島第一原子力発電所の廃炉の見通しが立っていない状況では、再稼働するべきではない	35.2	34.5	35.9	18.9	23.0	31.0	34.4	41.4	45.0	38.9	44.7	42.8	25.8	8.6
その他	1.8	1.5	2.1	1.4	2.7	1.6	0.9	2.7	1.8	1.9	2.7	2.7	0.4	−
わからない	25.0	20.6	29.3	43.2	37.8	28.3	24.4	15.1	16.7	24.7	6.6	12.5	40.6	72.7
無回答	1.8	1.9	1.6	2.7	1.4	3.2	2.7	−	1.8	0.6	0.9	1.4	1.1	5.8

（%）

＜2018年10月のクロス集計結果（2/2）＞

問8-2. 原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。以下のような再稼働に関するご意見について、あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。（○はいくつでも）

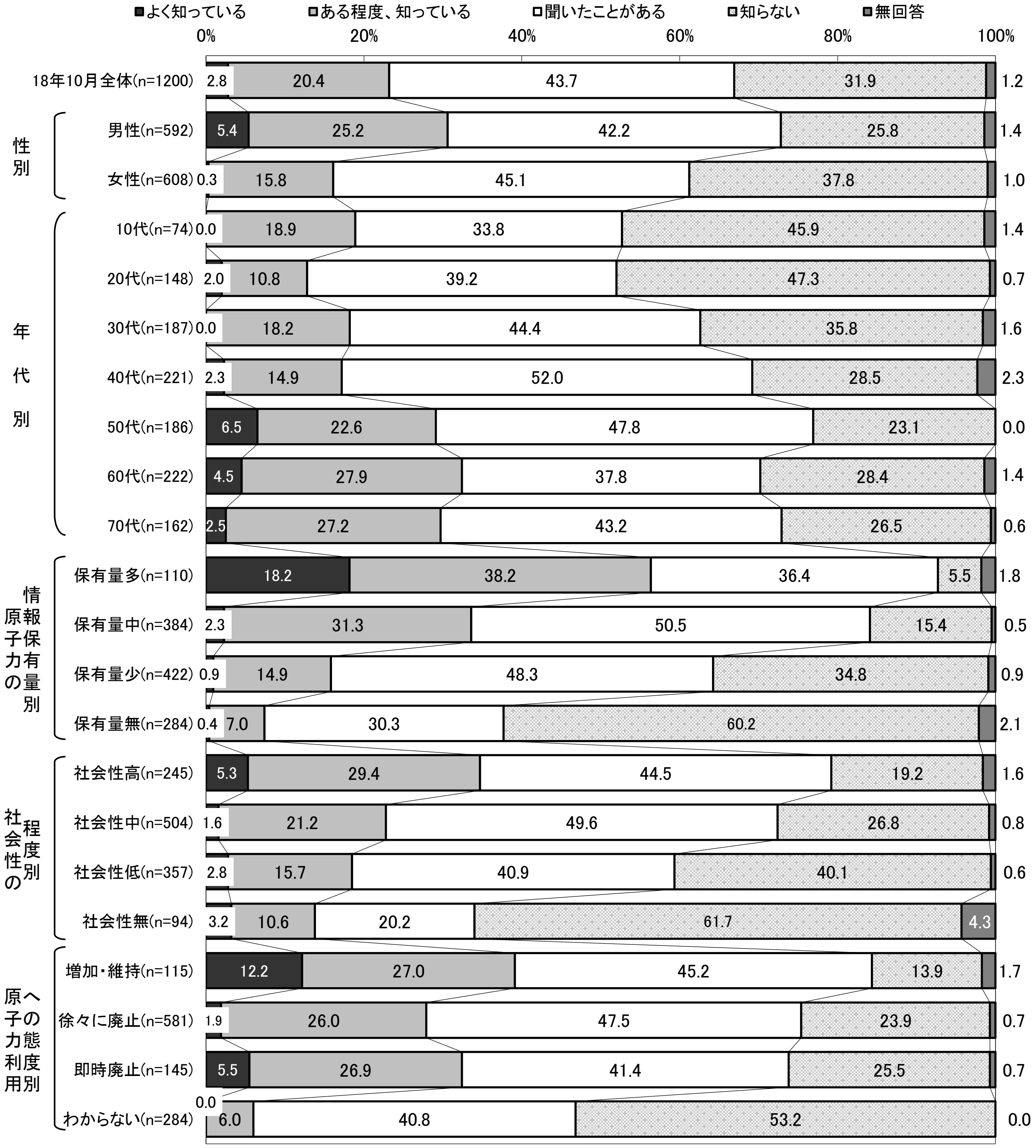
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
原子力発電所の再稼動を進めることについて、国民の理解は得られている	4.6	19.1	4.2	3.3	1.4	8.6	3.4	3.9	3.2	14.8	5.0	0.7	1.8
原子力発電所の再稼働を進めることについて、国民の理解は得られていない	49.3	52.7	69.0	51.9	17.3	62.9	56.2	38.4	18.1	43.5	63.9	73.1	19.4
再稼働を進めるかどうかは、政策を実施してきた国や電力会社が決めればよい	7.8	15.5	10.7	5.7	3.9	12.2	7.1	6.7	3.2	26.1	8.3	0.7	3.9
再稼働を進めることについては、電気を使用してきた自分たちが決めればよい	18.5	26.4	26.6	17.1	6.7	26.5	19.2	14.3	9.6	20.0	22.9	29.0	4.9
電力の安定供給を考えると、原子力発電の再稼働は必要	26.7	41.8	38.3	25.1	7.4	35.5	29.6	20.7	10.6	80.0	30.5	2.1	12.3
現状では電力は十分まかなえているので、原子力発電の再稼働は必要ない	18.7	27.3	28.6	16.1	5.6	24.9	21.0	13.7	8.5	−	22.0	56.6	3.9
地球温暖化対策を考えると、原子力発電の再稼働は必要	12.7	32.7	17.2	10.2	2.5	22.0	11.7	8.4	9.6	47.8	12.2	−	6.7
地球温暖化対策を考えても、原子力発電の再稼働は必要ない	18.7	26.4	27.1	16.4	7.7	24.5	22.8	12.6	4.3	1.7	23.8	49.0	2.8
原子力発電を止めると、日本経済に大きな影響を与えるので、再稼働すべき	13.0	24.5	21.6	9.0	2.8	21.6	13.1	9.0	5.3	46.1	13.6	−	5.6
原子力発電を止めても、日本経済に大きな影響を与えないので、再稼働する必要はない	13.2	21.8	20.3	10.9	3.5	22.0	13.5	9.0	4.3	0.9	14.8	45.5	1.1
新規制基準への適合確認を経て再稼働したのであれば、認めてもよい	17.9	34.5	26.6	14.9	4.2	31.0	18.5	10.9	7.4	53.9	20.5	1.4	7.7
新規制基準への適合確認を経たとしても、再稼働は認められない	15.8	29.1	25.0	11.8	4.2	22.4	18.3	10.9	4.3	−	16.9	57.2	1.8
地震や津波などの自然災害への対策が十分に講じられているため、再稼働は認めてもよい	6.3	15.5	9.4	4.5	1.1	15.5	4.2	3.9	2.1	24.3	5.7	0.7	3.5
地震や津波などの自然災害への対策が不十分なので、再稼働は認められない	29.8	32.7	44.8	27.5	12.0	37.6	34.9	22.1	11.7	7.0	38.9	65.5	8.8
防災体制が十分に整備されているため、再稼働するべき	4.5	12.7	6.8	3.1	0.4	10.2	3.0	3.4	2.1	21.7	3.4	0.7	1.8
防災体制が不十分なので、再稼働するべきでない	24.7	31.8	37.5	21.3	9.5	33.1	29.6	16.0	9.6	5.2	30.6	63.4	6.0
原子力発電が再稼働しても、大事故は起こらないと思う	3.3	12.7	3.9	2.1	0.7	6.5	2.4	2.2	4.3	19.1	2.8	−	0.7
大事故の不安があるので、原子力発電は再稼働するべきではない	30.1	36.4	44.8	28.0	10.9	38.8	35.3	21.6	11.7	3.5	38.0	70.3	9.9
放射性廃棄物の処分の見通しが立っていない状況でも、再稼働するべき	2.8	8.2	4.2	1.9	−	5.3	2.4	1.7	2.1	8.7	2.9	0.7	1.1
放射性廃棄物の処分の見通しが立っていない状況では、再稼働するべきではない	35.9	47.3	51.6	34.4	12.7	49.4	42.1	23.8	13.8	17.4	46.5	67.6	12.0
福島第一原子力発電所の廃炉の見通しが立っていない状況でも、再稼働するべき	2.7	9.1	3.9	1.2	0.7	5.3	2.2	1.4	3.2	15.7	1.4	0.7	0.7
福島第一原子力発電所の廃炉の見通しが立っていない状況では、再稼働するべきではない	35.2	40.9	49.5	34.8	14.1	45.7	42.1	23.5	14.9	15.7	44.6	70.3	12.3
その他	1.8	1.8	3.6	1.2	0.4	3.7	2.0	0.8	−	1.7	1.7	4.8	0.4
わからない	25.0	6.4	6.3	21.3	63.0	13.1	17.9	33.6	61.7	6.1	10.0	10.3	61.3
無回答	1.8	1.8	1.0	1.2	3.5	1.6	1.0	2.0	5.3	2.6	1.2	0.7	0.7

（%）

●エネルギーに対する態度（再稼働）

問いに対して、「聞いたことがある」まで含めて7割弱が回答。
年齢が高いほど、情報保有量が多いほど、また、社会性が高いほど、知っている割合が高い。

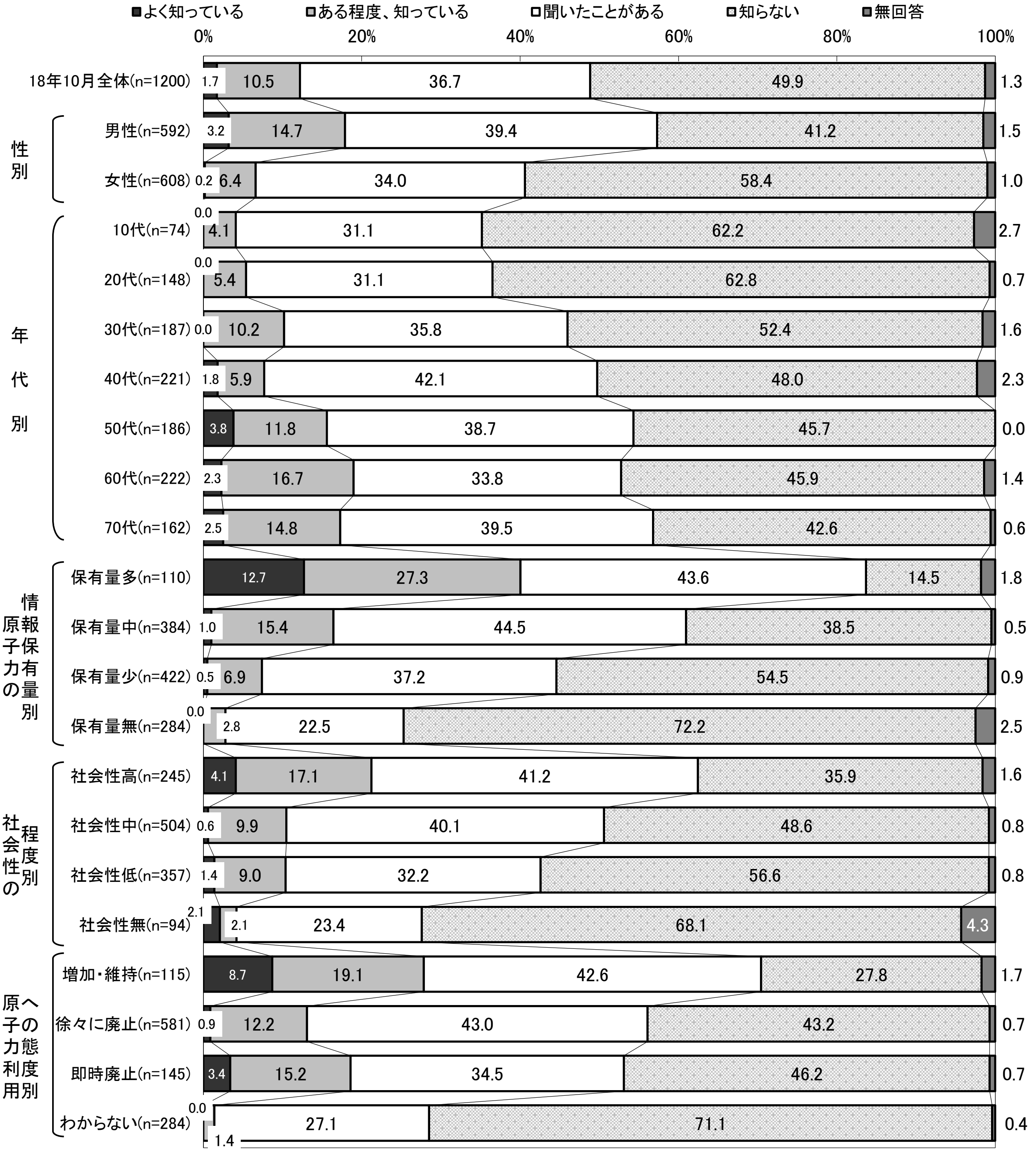
問9-1. 福島第一原子力発電所での事故の教訓などを踏まえ、原子力発電所の規制基準は、安全性の面が見直されています。原子力発電所が再稼働するためには、その規制基準に適合する必要があり、電力会社は、各原子力発電所で安全対策工事を行っています。
あなたは、そのことをどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）



●エネルギーに対する態度（再稼働）

問9-1に比べると、「知らない」という回答者が多く、5割弱に達する。
年齢や情報保有量、社会性での傾向は9-1と同様。

問9-2. 電力会社は、原子力発電所の安全性を向上させるため、規制基準への適合性にとらわれない自主的・継続的な安全対策を行っています。
あなたは、そのことをどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）



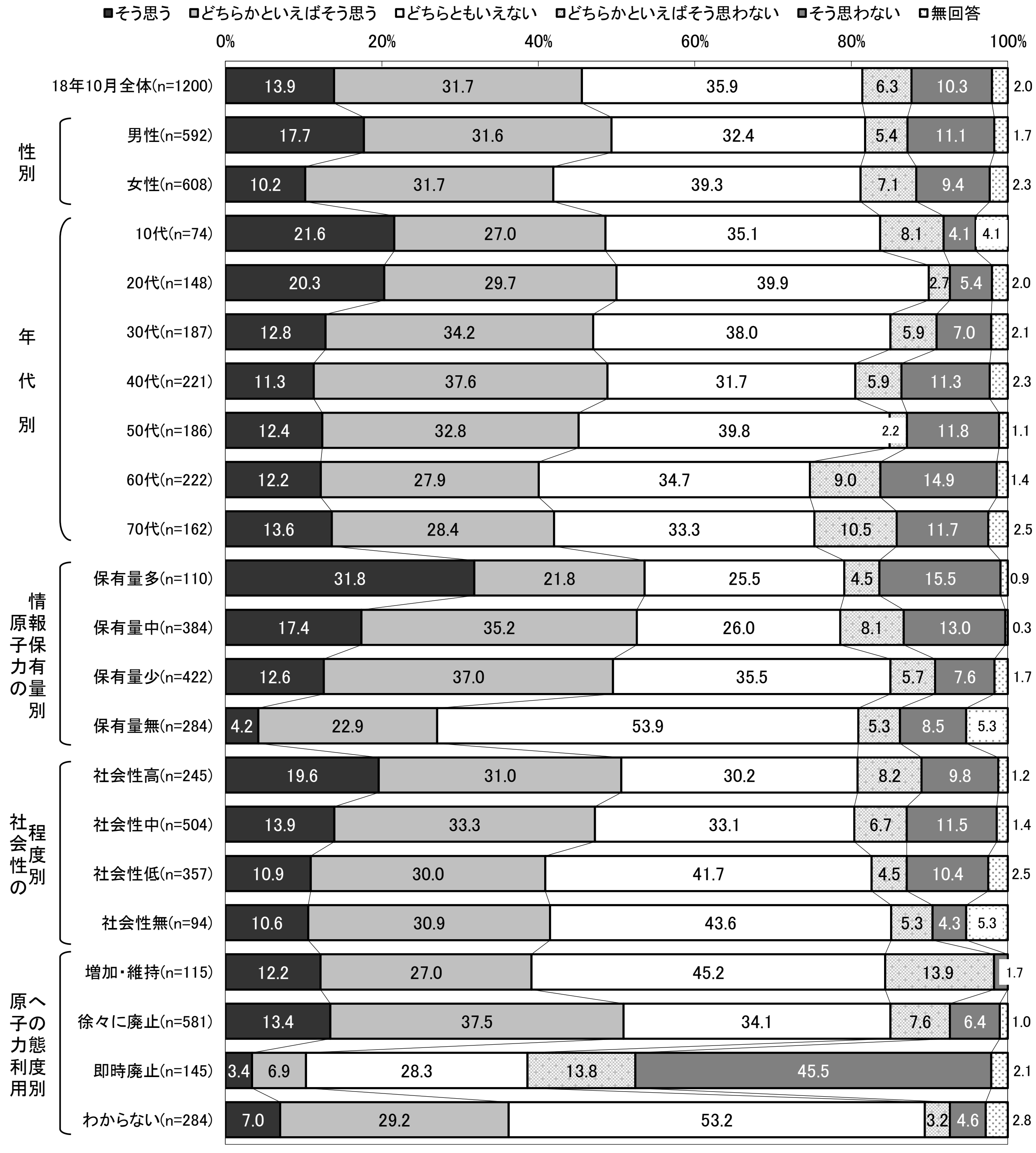
Ⅴ章　原子力・放射線・エネルギーについての
ベネフィット認知

●原子力発電のベネフィット認知

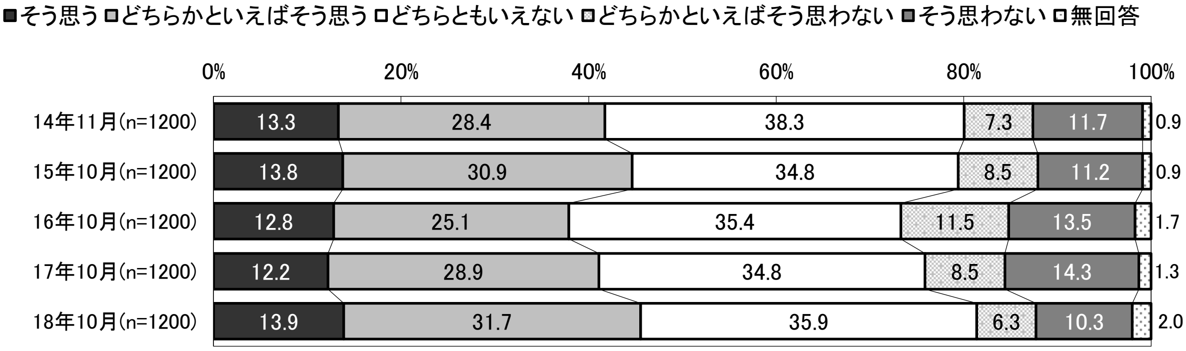
「原子力発電は役に立つ」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は45.6%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は16.6%。多少の変動はあるものの、大きな傾向の変化はないと思われる。
年代別にみると、若年層で肯定的意見がやや多く、高齢層では、若年層に比べて否定的意見がやや多くなる。また、情報保有量が多くなるにつれ、「どちらともいえない」という回答が少なくなる。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

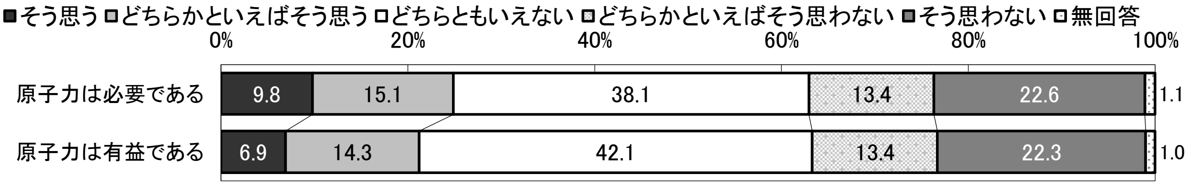
【a) 原子力発電は役に立つ】



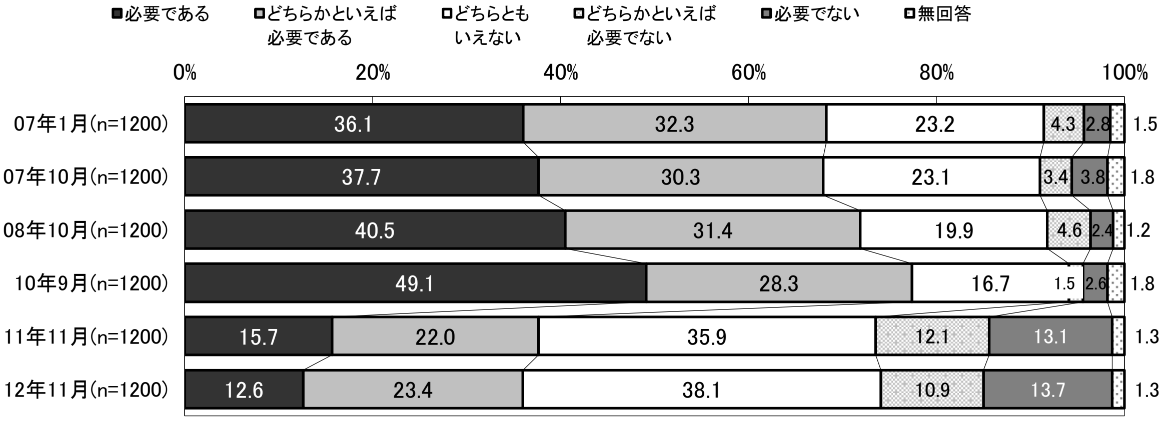
＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
【原子力発電は役に立つ】



＜参考＞
問. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
2013年12月　全体N=1200



＜参考＞
問. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
【原子力発電】



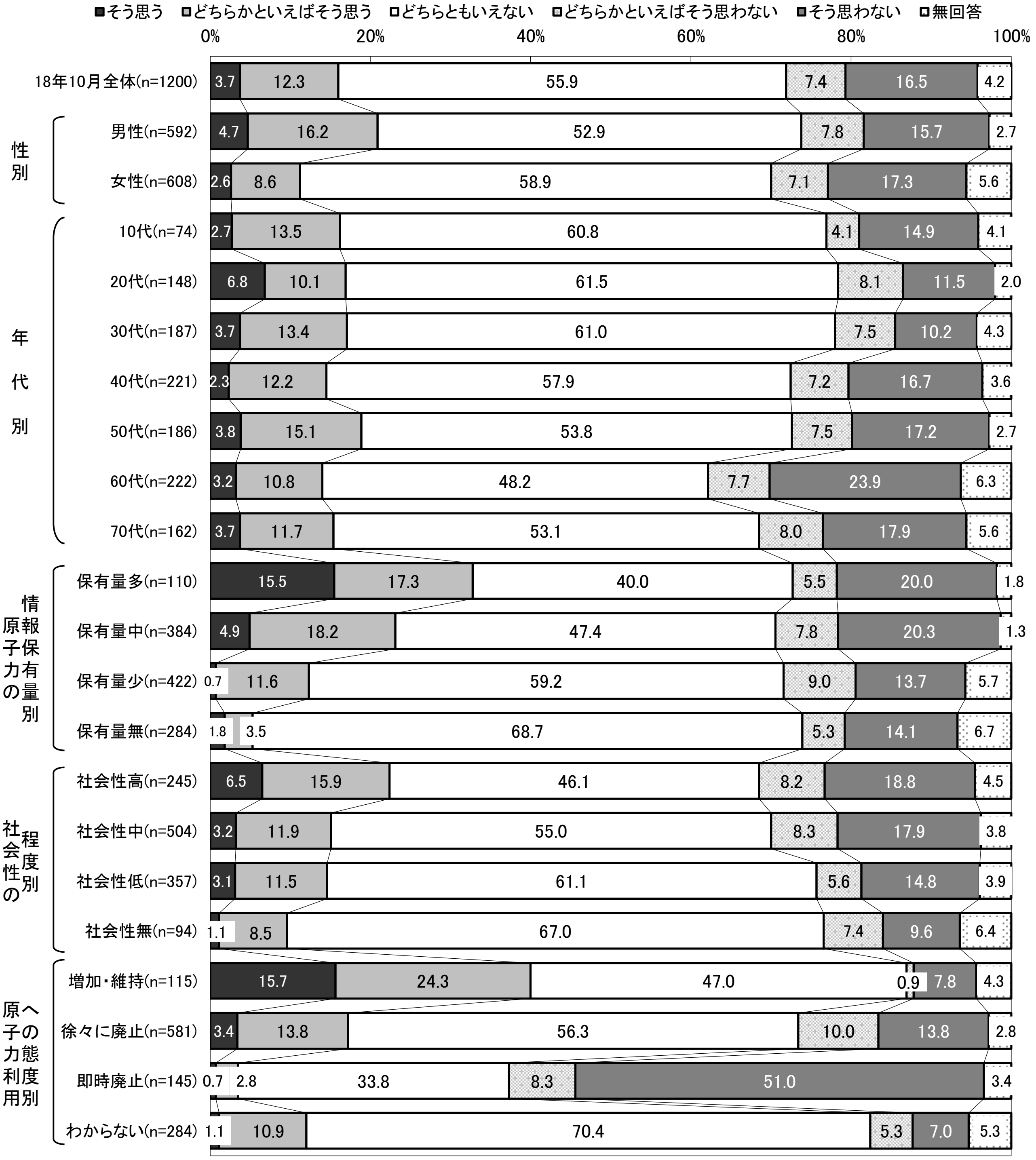
＊07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月からは「必要である／どちらかといえば必要である」

●核燃料サイクル・プルサーマルのベネフィット認知

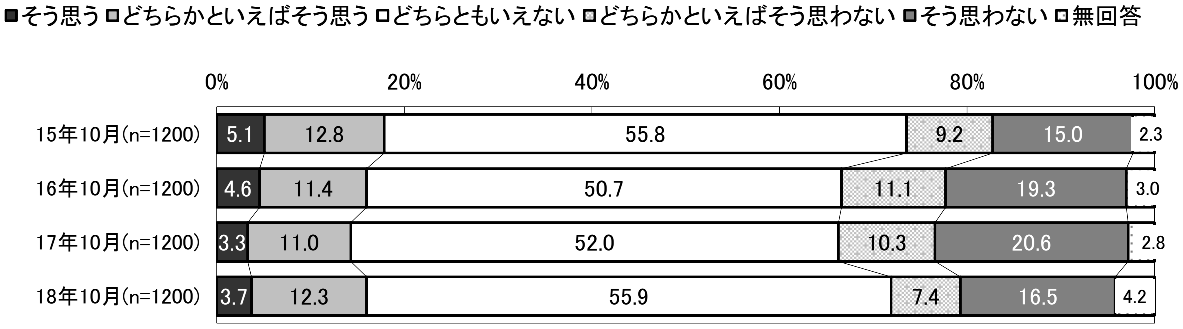
「核燃料サイクル、プルサーマルは役に立つ」に肯定的な回答（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は16.0%。
一方、否定的な回答（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は23.9%。「どちらともいえない」との回答が5割以上。
年代で見ると、60代をピークに高年齢層で否定的意見が高い。情報保有量多で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）

【b) 核燃料サイクル、プルサーマルは役に立つ】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ１つずつ）
【核燃料サイクル、プルサーマルは役に立つ】

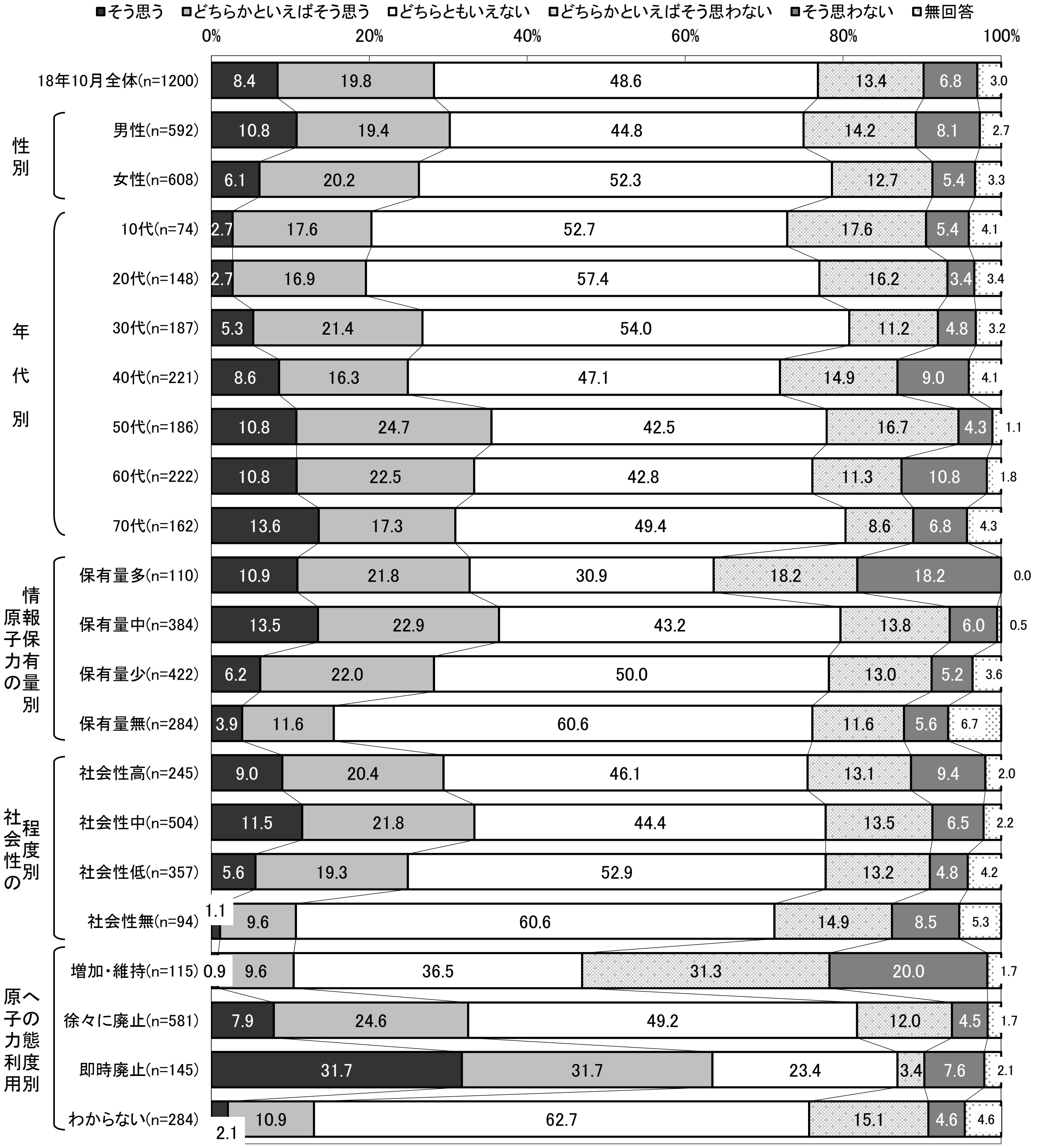


●原子力発電のベネフィット認知（経済性）

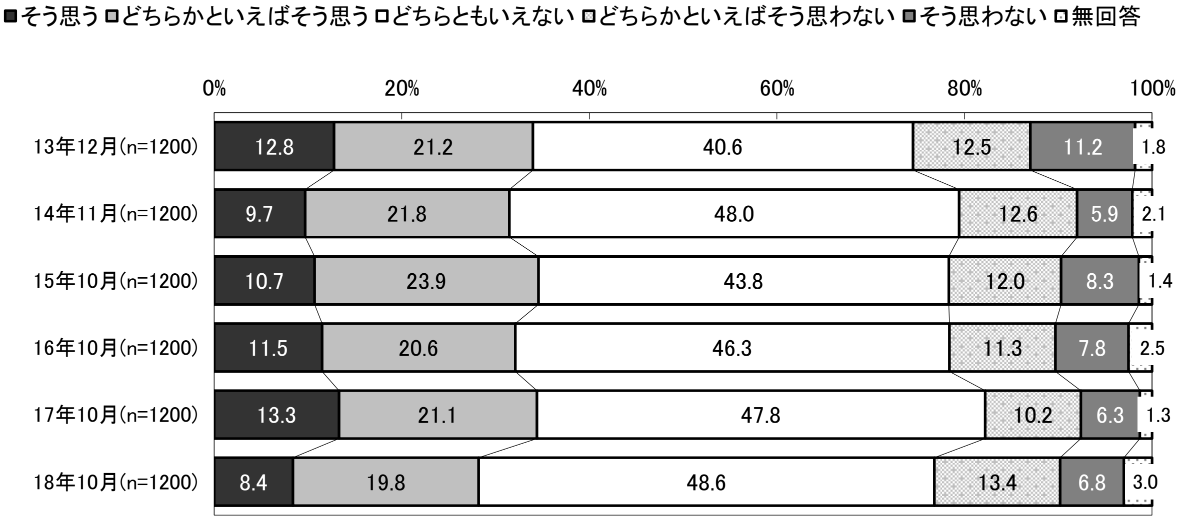
「原子力発電がなくても、日本は経済的に発展できる」に肯定的な回答（原子力に否定的な意見）（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は28.2%。一方、否定的な回答（原子力に肯定的な意見）（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は20.2%。（※原子力の必要性に関しては、逆転項目であることに注意する。）「どちらともいえない」という回答が4割を大きく超える。前回と比較すると、肯定的な回答は減少し、否定的な回答は増加した。
高齢層になるにつれて肯定的意見が多くなる。また情報保有量中・社会性中で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【c) 原子力発電がなくても、日本は経済的に発展できる】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）
【原子力発電がなくても、日本は経済的に発展できる】
＊13年12月は、「あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。」と聴取。

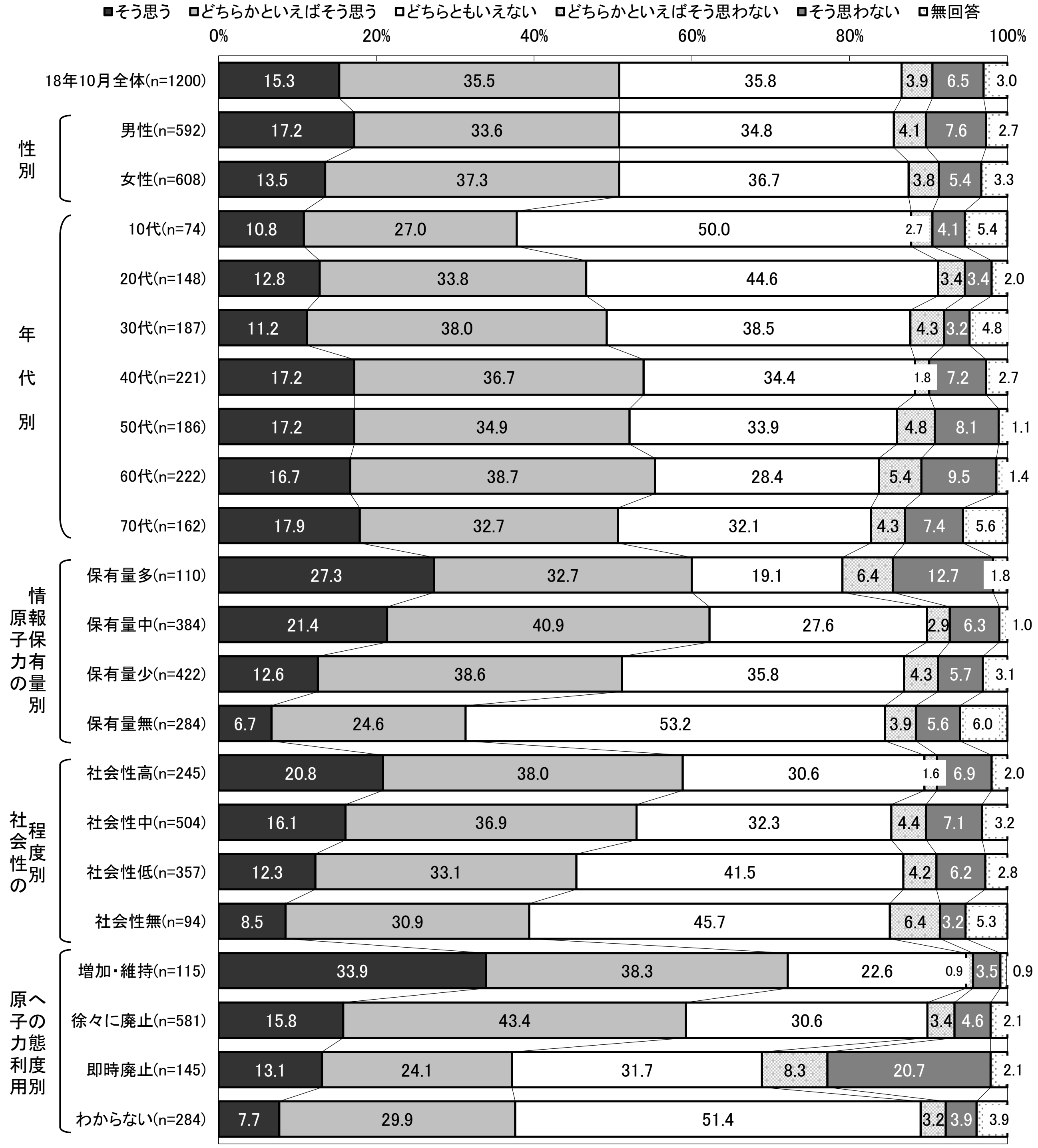


●原子力発電のベネフィット認知（経済性）

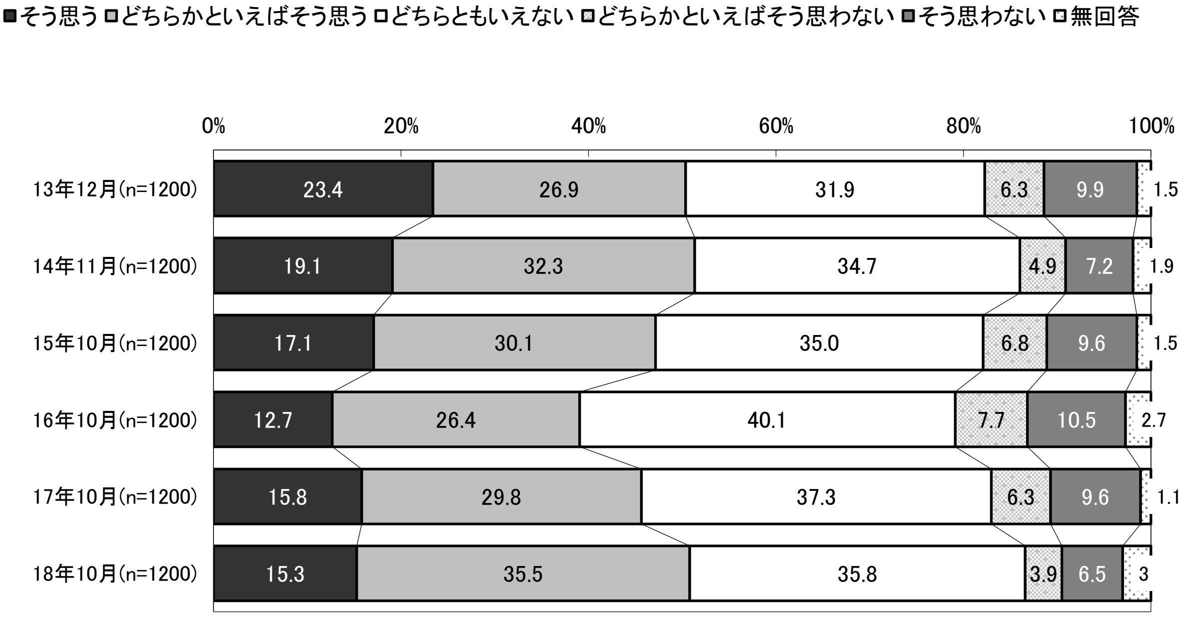
「原子力発電がないと、電気料金があがる」に肯定的な回答（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は50.8%。
一方、否定的な回答（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は10.4%。前年度調査と同様に、肯定的意見が増加（否定的意見は減少）した。
情報保有量多・社会性高で強い肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、強い肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）

【d) 原子力発電がないと、電気料金があがる】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ１つずつ）
【原子力発電がないと、電気料金があがる】
＊13年12月は、「あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。」と聴取。

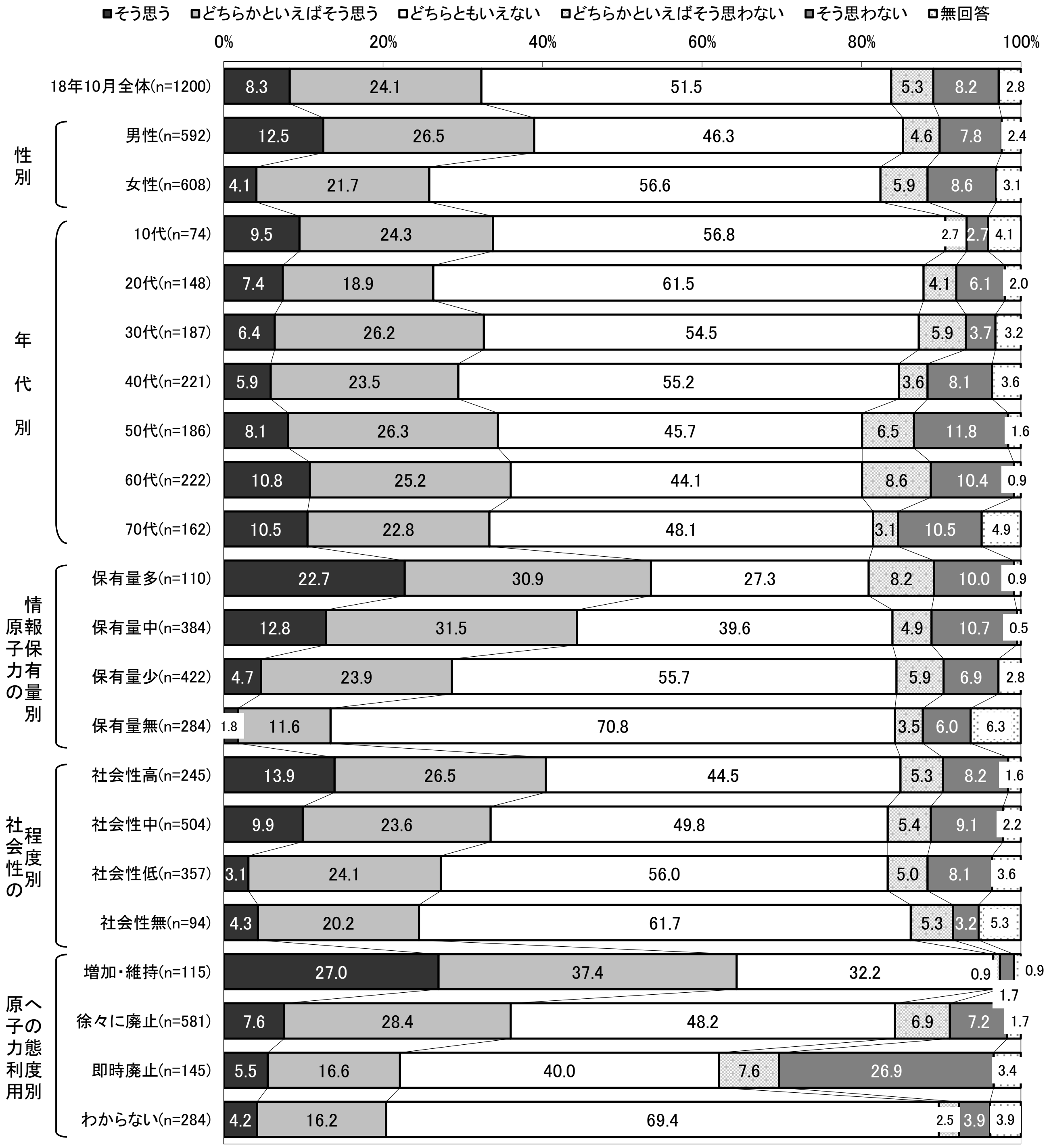


●原子力発電のベネフィット認知（地球温暖化）

「原子力発電は発電の際に二酸化炭素を出さないので、地球温暖化防止に有効である」に肯定的な回答（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は32.4%。一方、否定的な回答（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は13.5%。「どちらともいえない」という回答が約5割となり、前回と比べて増加した。
年代別にみると、若年層の方が「どちらともいえない」という回答の割合が大きくなる。また、否定的意見が比較的高いのは50代～60代。
情報保有量多・社会性高で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ1つずつ）

【e) 原子力発電は発電の際に二酸化炭素を出さないので、地球温暖化防止に有効である】

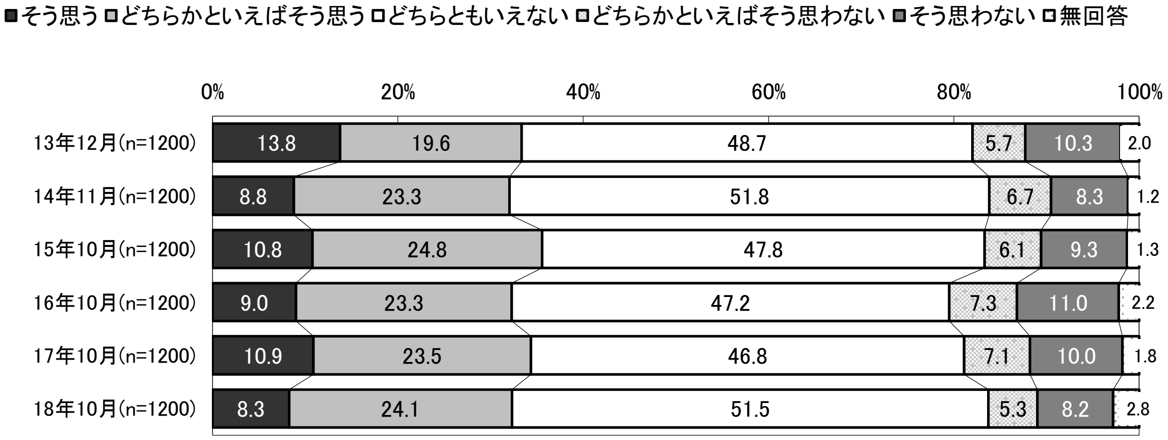


＜経年変化＞

問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【原子力発電は発電の際に二酸化炭素を出さないので、地球温暖化防止に有効である】

＊13年12月は、「あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。」と聴取。

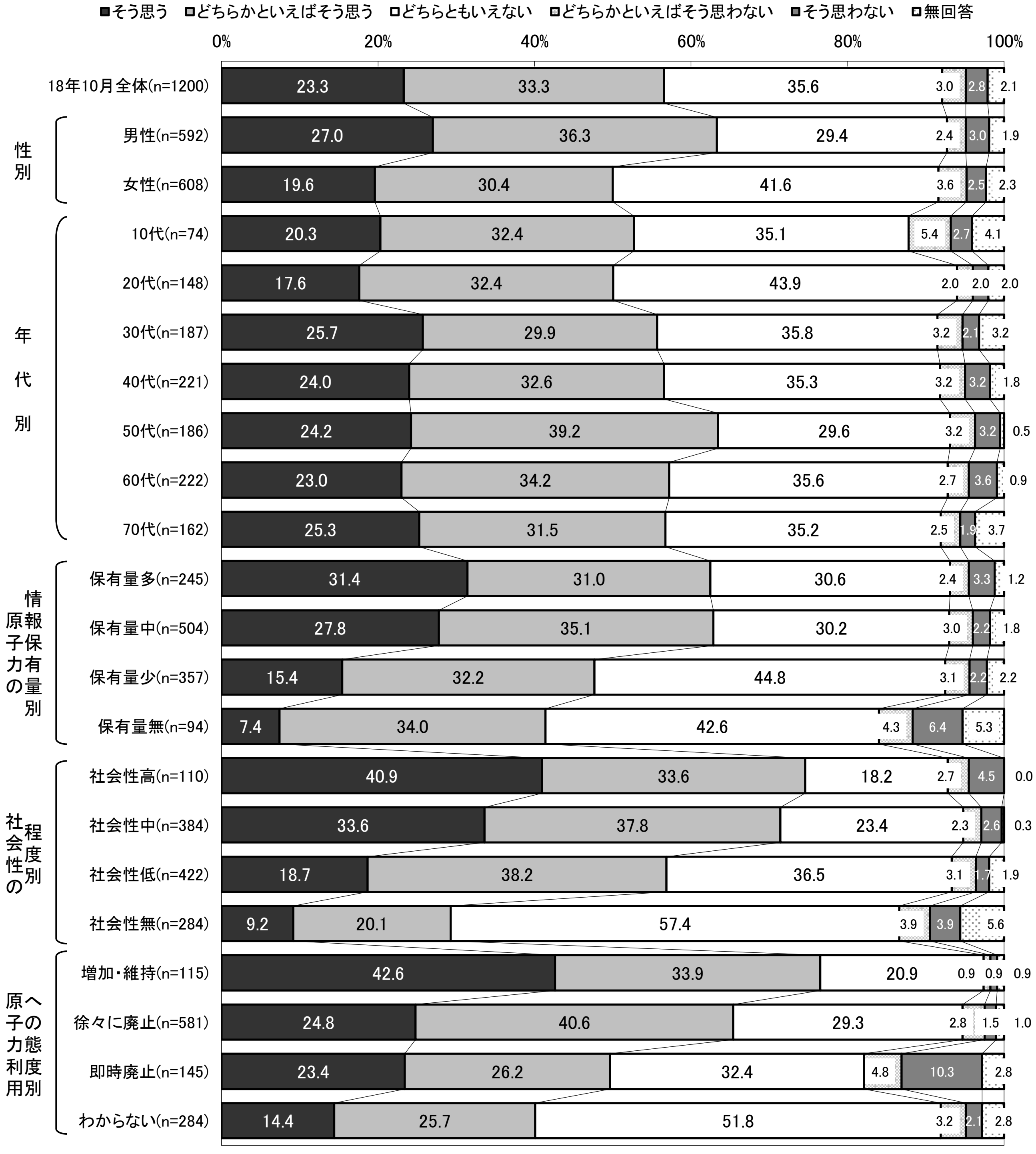


●放射線利用のベネフィット認知

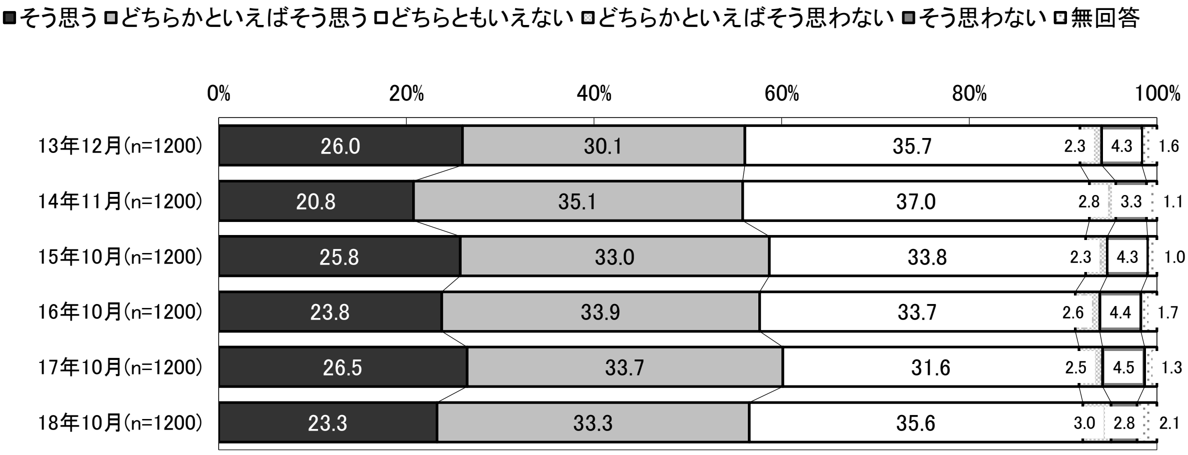
「医療、工業、農業等における放射線利用は必要である」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は56.6%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は5.8%。前回と大きな変化はない。
年代では、どの年代も比較的肯定的意見が高い。情報保有量多・社会性高で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【I) 医療、工業、農業等における放射線利用は必要である】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ１つずつ）
【医療、工業、農業等における放射線利用は必要である】
＊13年12月は、「あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。」と聴取。



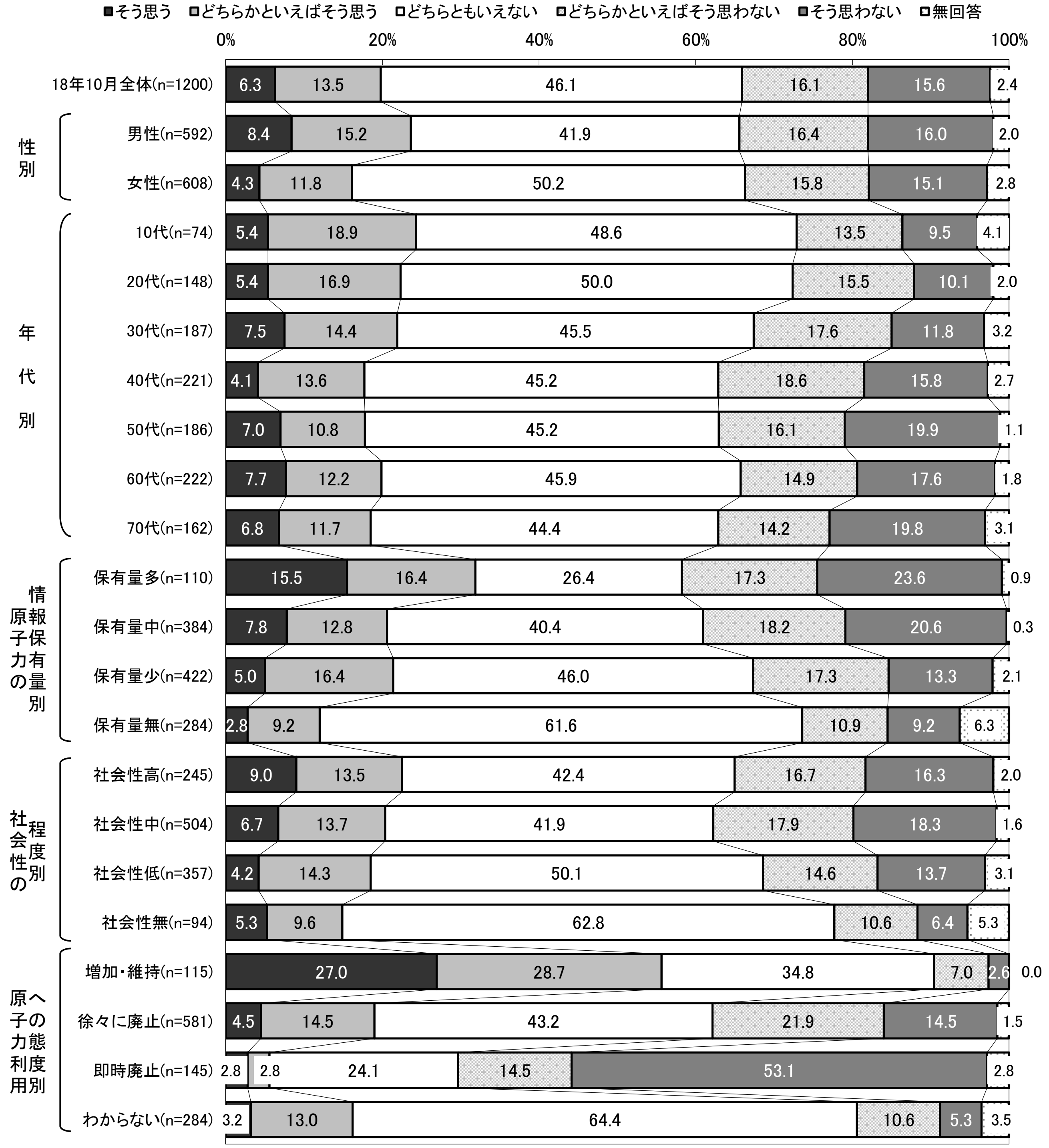
Ⅵ章　原子力・放射線・エネルギーについての リスク認知

●原子力発電のリスク認知

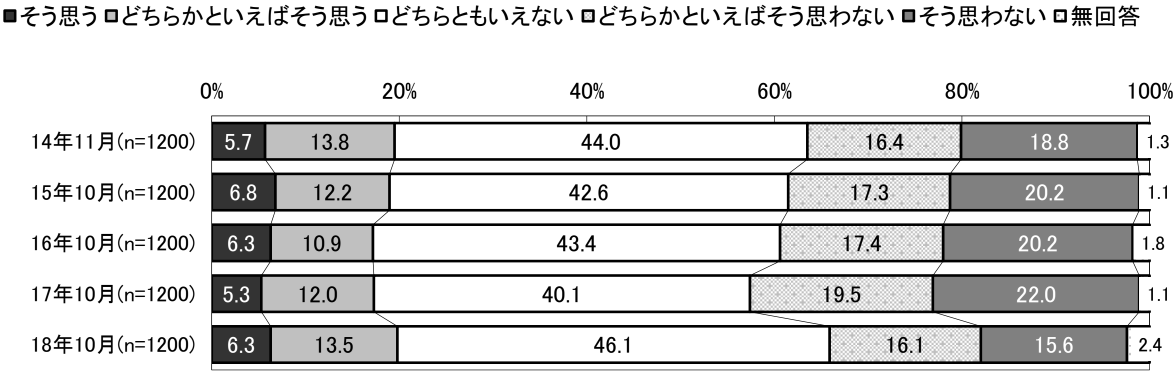
「今後、原子力発電の安全を確保することは可能であると思う」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は19.8%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は31.7%。2014年調査から継続して否定的意見が徐々に増加していたが2018年度調査では減少した。
若年層に肯定的意見が比較的多く見受けられ、否定的意見が比較的低い。情報保有量多・社会性高では、肯定的意見・否定的意見がともに多く見られ、保有量・社会性が減少するとともに「どちらともいえない」という回答が増加する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【f) 今後、原子力発電の安全を確保することは可能であると思う】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ１つずつ）
【今後、原子力発電の安全を確保することは可能であると思う】

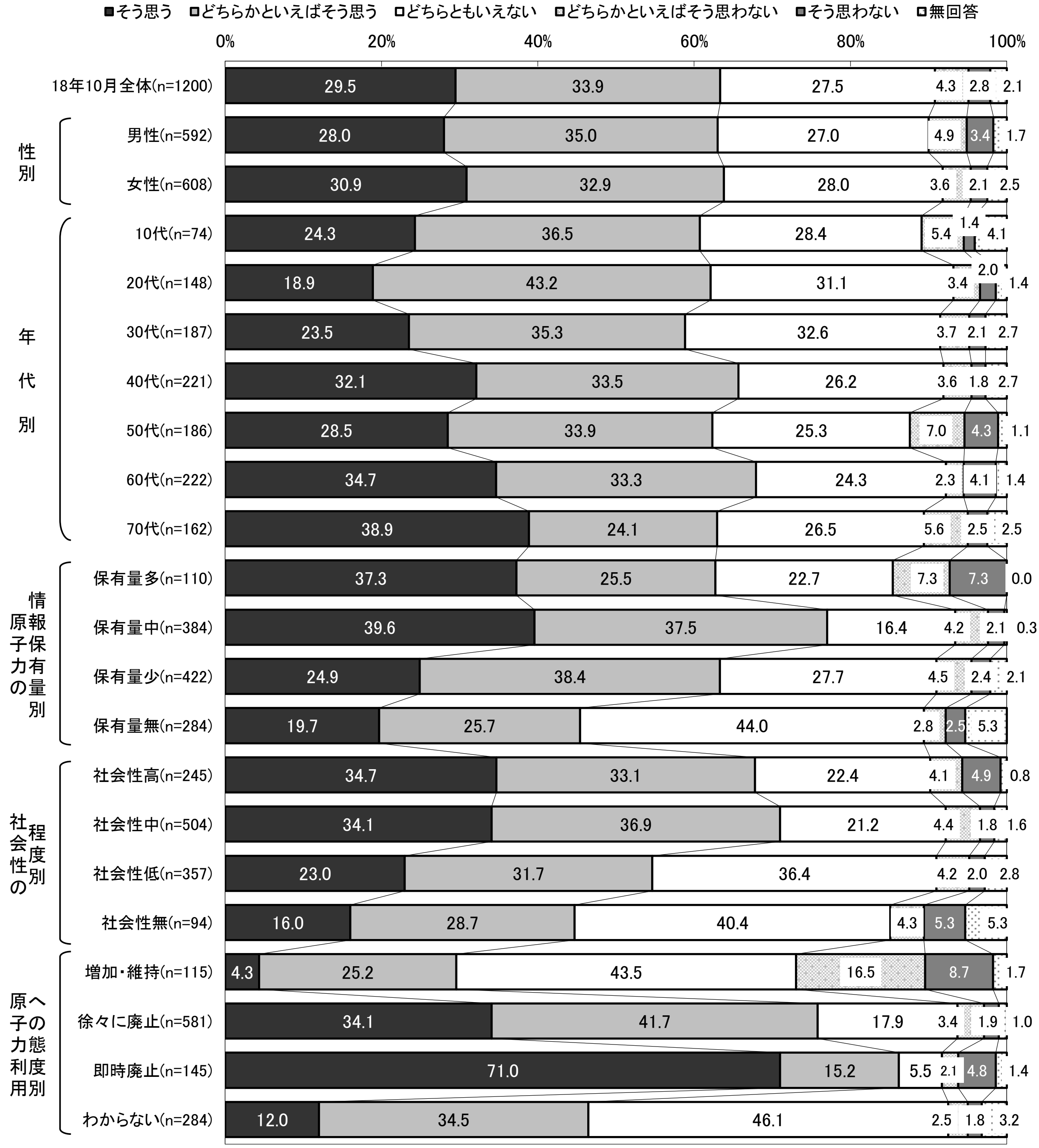


●原子力発電のリスク認知

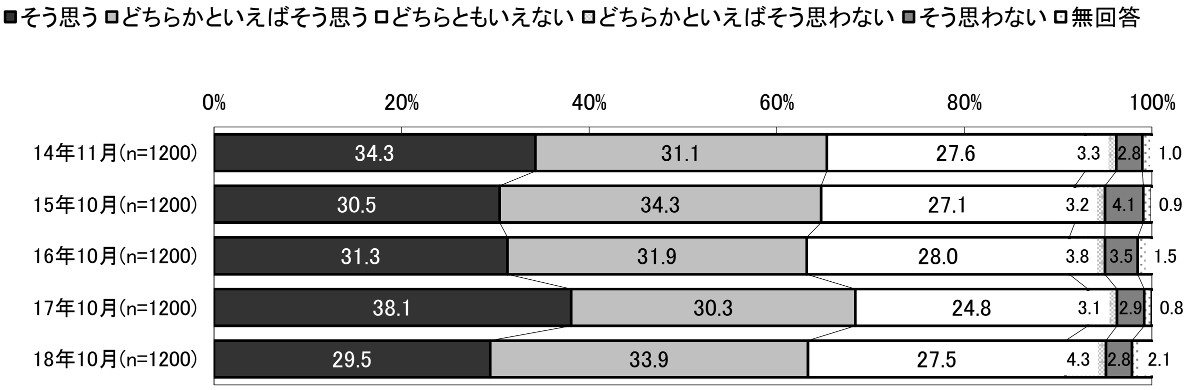
「わが国のような地震国に原子力発電所は危険である」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は63.4%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は7.1%。前回と比べて、肯定的意見が減少した(地震国では危険だという認識が減少した)。
年代別に見ると、70代で特に強い肯定的意見が見られる。情報保有量別にみると、保有量中で肯定的意見が最大となっている。また、社会性高・中で強い肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【g) わが国のような地震国に原子力発電所は危険である】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
【わが国のような地震国に原子力発電所は危険である】

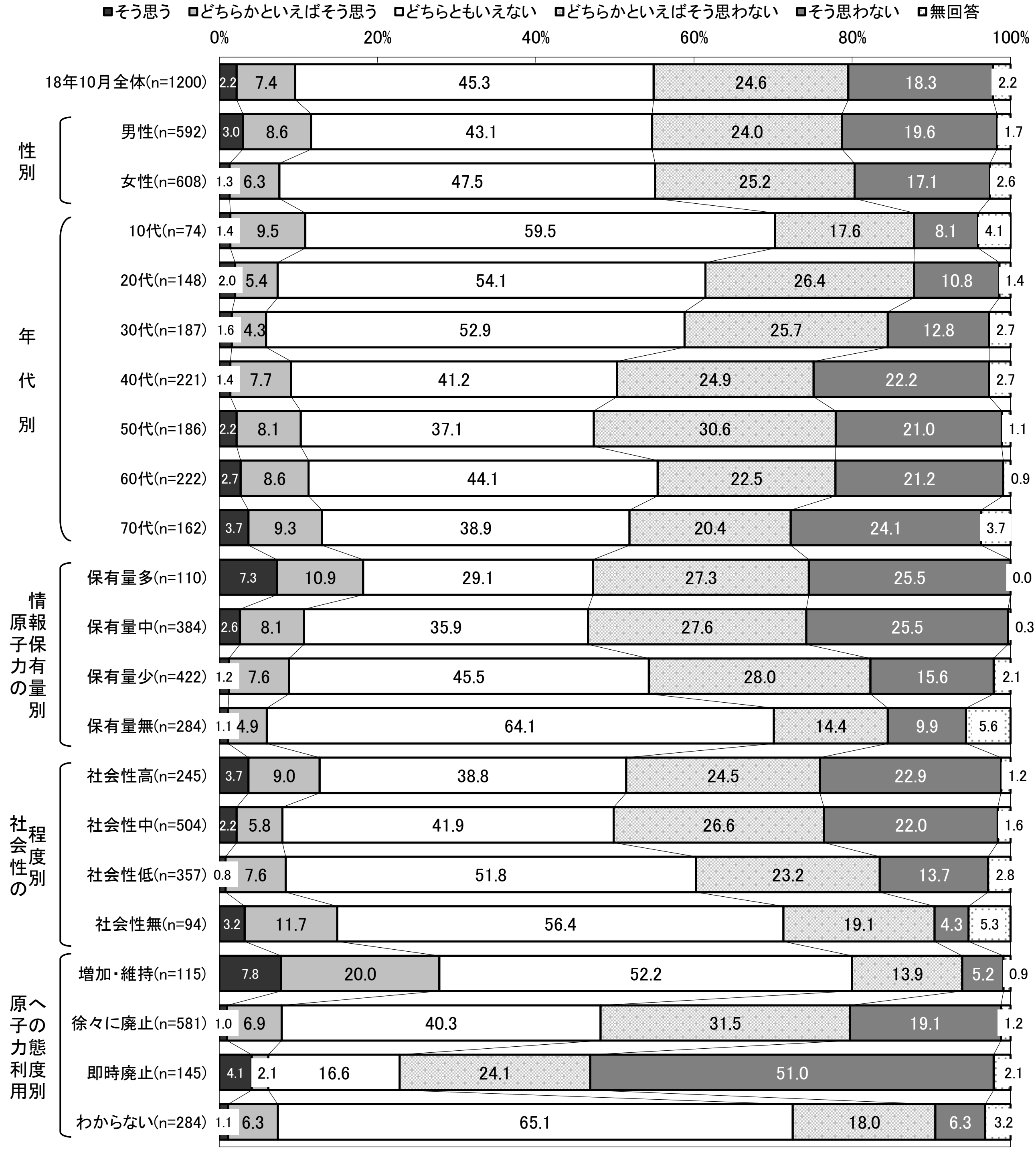


●原子力発電のリスク認知

「原子力発電所の周辺地域の防災体制は整備されていると思う」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は9.6%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は42.9%。前回までと比べて、否定的な意見が減少した。
年齢別に見ると、50代をピークに、40代以上で否定的意見が多い。また、情報保有量中・社会性中をピークに否定的意見が大きくなり、その程度が小さくなるにつれて、否定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【h) 原子力発電所の周辺地域の防災体制は整備されていると思う】

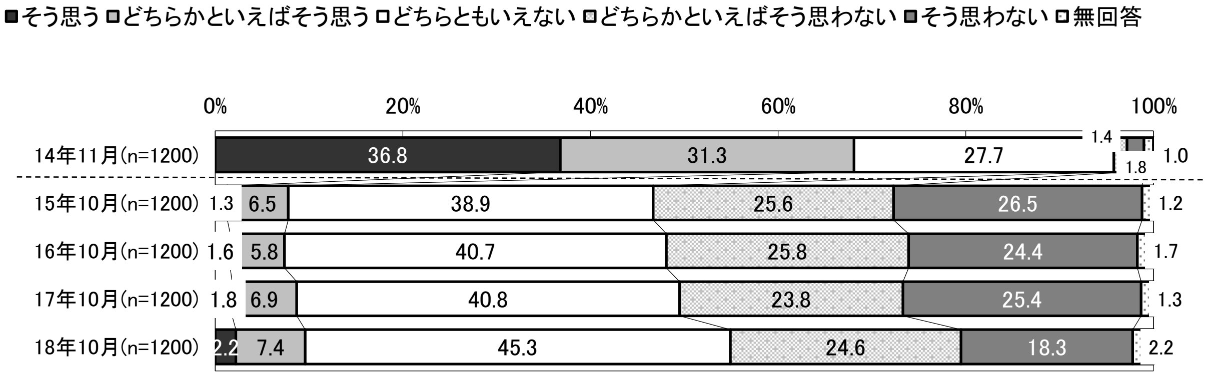


＜参考＞

問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ1つずつ）

14年11月【原子力発電所の周辺地域の防災体制は十分でないと思う】

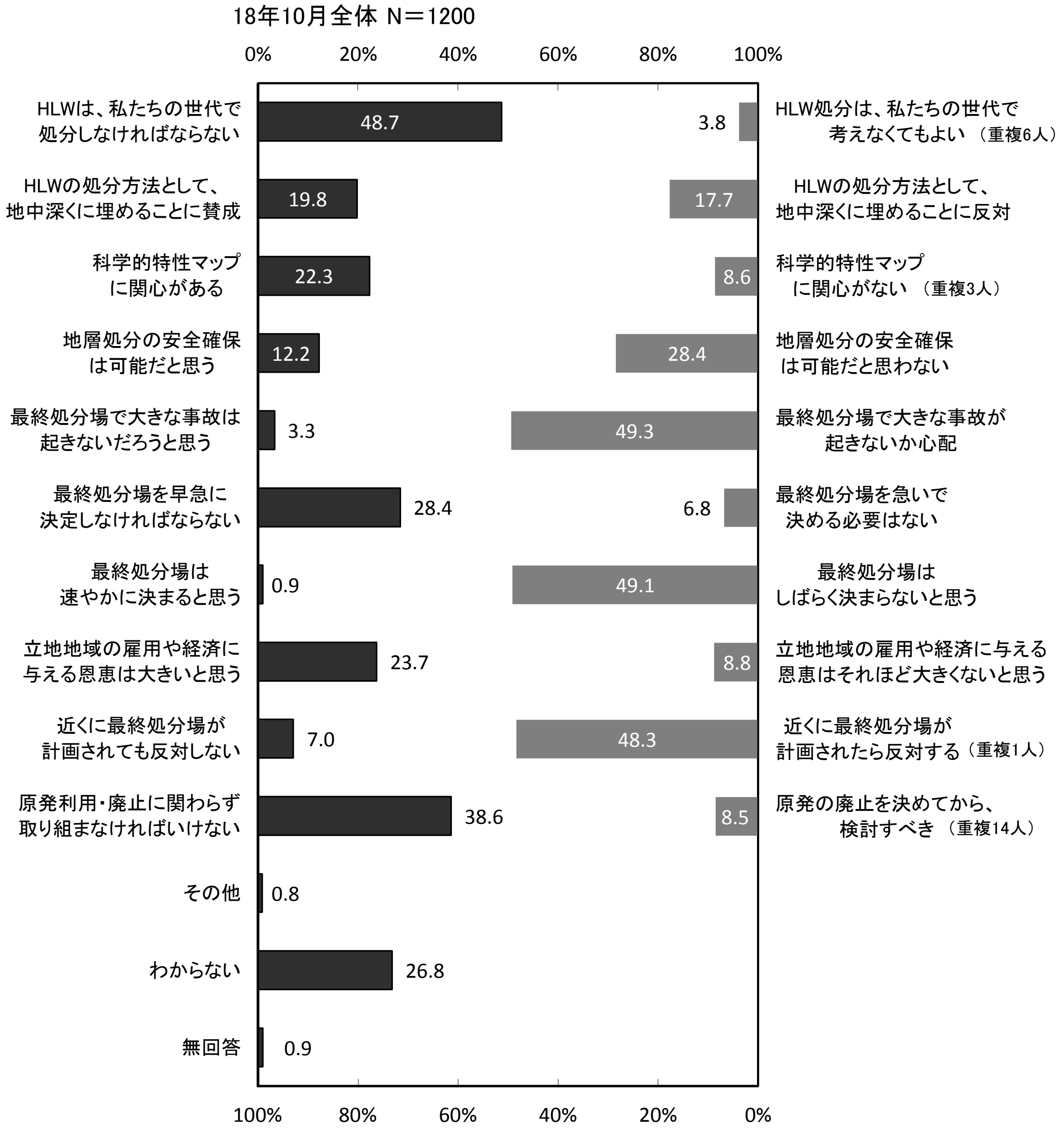
15年10月、16年10月【原子力発電所の周辺地域の防災体制は整備されていると思う】



●原子力発電のリスク認知（放射性廃棄物処分）

高レベル放射性廃棄物（HLW）処分に関する意見として多く見られるのは、「大きな事故が心配」（49.3%）、「処分場はしばらく決まらない」（49.1%）、「近くに最終処分場が計画されたら反対」（48.3%）。ここまではHLW処分に否定的な意見だが、それに続いて、「HLWは自分たちの代で処分」（48.7%）、「原子力発電の利用・廃止に関わらずHLW処分は取り組まなければならない」（38.6%）のような肯定的な意見も、主要な意見の中に見られる。
地層処分については、「賛成」が約2割、「反対」が約2割で、ほぼ同数。また、地層処分の安全確保については、「可能」が1割強に対して、「可能でない」が3割弱。地層処分についての納得感はまだ醸成されていないように思われる。
科学的特性マップについては、聞いたことがない回答者が約9割（問5）であったが、関心がある回答者は、ない人に比べるとやや多い。

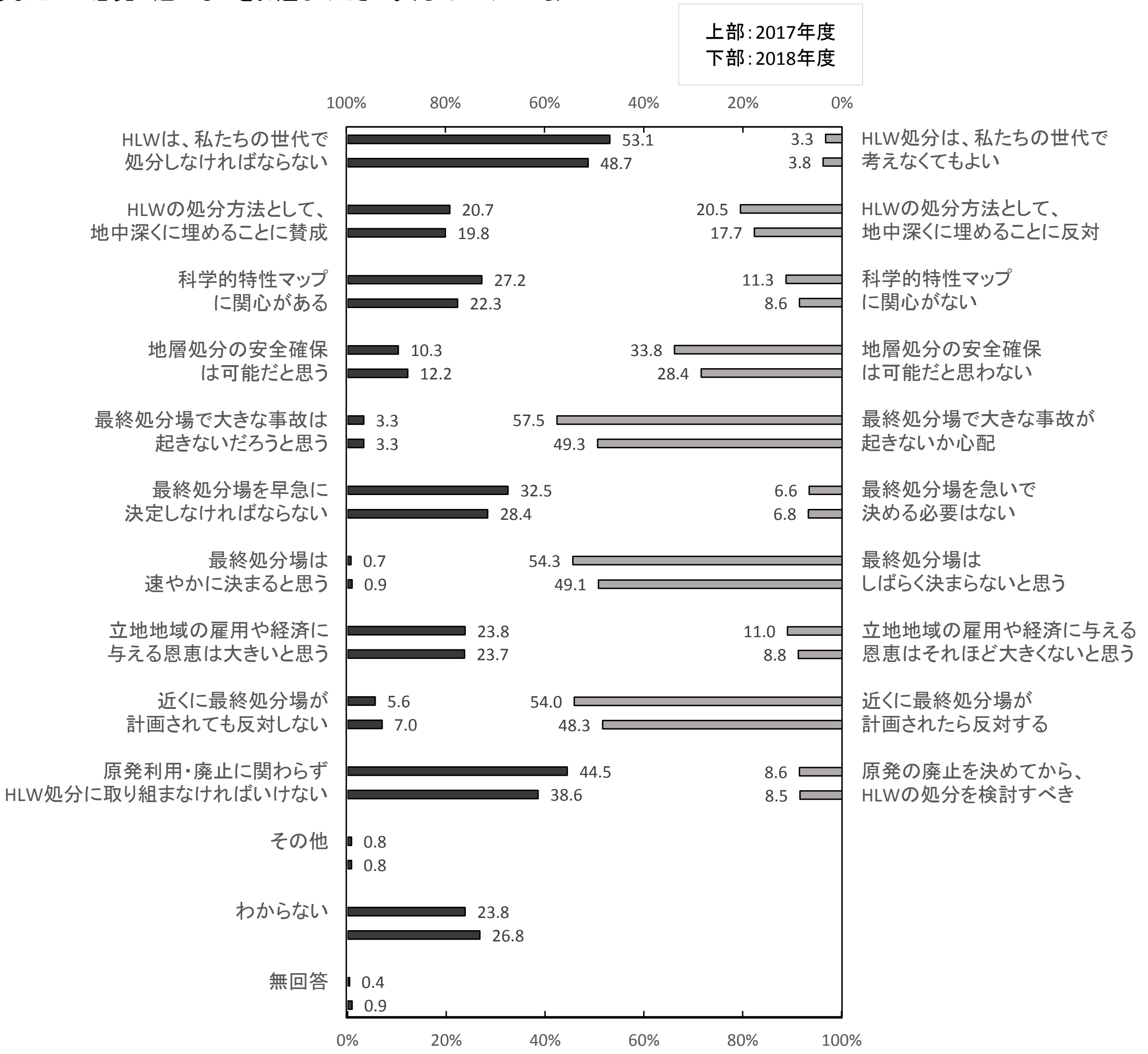
問11. 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。
あなたのご意見と近いものをお選びください。（○はいくつでも）



※HLW：高レベル放射性廃棄物

＜経年変化＞

問11. 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。
あなたのご意見と近いものをお選びください。（〇はいくつでも）



＜2018年10月のクロス集計結果(1/2)＞

問11. 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。
あなたのご意見と近いものをお選びください。(○はいくつでも)

	全体	性別		年代別						
		男 性	女 性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
高レベル放射性廃棄物は、私たちの世代で処分しなければならない	48.7	52.4	45.1	25.7	37.8	45.5	50.2	51.6	57.2	55.6
高レベル放射性廃棄物の処分は、私たちの世代で考えなくてもよい	3.8	5.6	2.1	4.1	3.4	4.3	2.7	5.4	3.2	4.3
高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋めることに賛成だ	19.8	24.5	15.1	12.2	17.6	13.4	17.2	23.7	26.6	22.2
高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋めることに反対だ	17.7	18.6	16.8	9.5	13.5	21.4	19.0	17.7	18.5	17.9
国が示した処分地の科学的特性マップに関心がある	22.3	23.3	21.2	5.4	16.2	21.9	23.5	24.2	28.4	23.5
国が示した処分地の科学的特性マップに関心がない	8.6	11.3	5.9	9.5	5.4	9.6	8.6	8.1	11.3	6.8
高レベル放射性廃棄物の地層処分の安全を確保することは可能だと思う	12.2	16.6	7.9	5.4	6.8	9.1	12.7	11.3	18.0	16.0
高レベル放射性廃棄物の地層処分の安全を確保することは可能だと思わない	28.4	29.7	27.1	18.9	27.0	25.1	28.5	34.4	32.4	25.3
最終処分場で大きな事故が起きないか心配だ	49.3	49.0	49.5	32.4	41.2	50.8	48.9	52.7	54.5	51.9
最終処分場で大きな事故は起きないだろうと思う	3.3	5.6	1.0	−	0.7	1.6	5.0	3.2	5.0	4.3
高レベル放射性廃棄物の最終処分場を早急に決定しなければならない	28.4	32.4	24.5	17.6	18.9	28.9	24.9	30.6	37.8	30.9
高レベル放射性廃棄物の最終処分場を急いで決める必要はない	6.8	7.9	5.6	2.7	5.4	5.9	9.0	6.5	7.7	6.8
高レベル放射性廃棄物の最終処分場は、しばらく決まらないと思う	49.1	52.5	45.7	35.1	38.5	47.6	53.4	52.7	53.6	50.6
高レベル放射性廃棄物の最終処分場は、速やかに決まると思う	0.9	1.5	0.3	−	0.7	1.1	0.5	0.5	1.8	1.2
処分事業が立地地域の雇用や経済に与える恩恵は大きいと思う	23.7	25.2	22.2	13.5	17.6	24.6	26.7	25.3	28.4	20.4
処分事業が立地地域の雇用や経済に与える恩恵はそれほど大きくないと思う	8.8	11.3	6.4	4.1	5.4	4.3	9.5	11.3	11.3	12.3
自分の住む地域または近隣地域に最終処分場が計画されたら、反対すると思う	48.3	49.0	47.7	32.4	36.5	49.7	51.6	54.8	52.7	46.9
自分の住む地域または近隣地域に最終処分場が計画されても、反対はしないと思う	7.0	9.1	4.9	4.1	4.1	4.3	7.7	8.6	8.6	9.3
原子力発電の廃止を決めてから、高レベル放射性廃棄物の処分を検討するべきだと思う	8.5	9.3	7.7	8.1	7.4	11.2	6.8	8.1	9.5	8.0
原子力発電の利用・廃止に関わらず、高レベル放射性廃棄物の処分に取り組まなければいけない	38.6	42.7	34.5	23.0	24.3	27.3	42.5	45.7	50.0	42.6
その他	0.8	0.8	0.7	−	−	−	0.9	2.2	0.5	1.2
わからない	26.8	22.5	31.1	51.4	43.2	28.9	21.7	17.7	21.2	23.5
無回答	0.9	1.0	0.8	1.4	0.7	0.5	1.4	1.1	0.9	0.6

(%)

＜2018年10月のクロス集計結果（2/2）＞

問11. 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。
あなたのご意見と近いものをお選びください。（〇はいくつでも）

	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
高レベル放射性廃棄物は、私たちの世代で処分しなければならない	48.7	62.7	63.5	48.1	23.9	70.6	52.2	35.6	22.3	48.7	58.3	66.9	26.1
高レベル放射性廃棄物の処分は、私たちの世代で考えなくてもよい	3.8	10.9	4.2	2.8	2.1	5.3	3.8	2.8	4.3	10.4	4.0	3.4	2.1
高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋めることに賛成だ	19.8	34.5	28.6	15.9	7.7	32.2	19.6	13.4	11.7	43.5	22.2	15.9	8.5
高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋めることに反対だ	17.7	23.6	19.3	21.6	7.4	20.0	20.0	14.0	12.8	7.0	23.2	31.0	7.0
国が示した処分地の科学的特性マップに関心がある	22.3	48.2	30.7	19.7	4.6	41.2	23.2	11.8	7.4	29.6	27.7	29.0	8.5
国が示した処分地の科学的特性マップに関心がない	8.6	7.3	10.9	8.3	6.3	12.7	7.9	6.4	9.6	7.8	10.5	13.8	3.5
高レベル放射性廃棄物の地層処分の安全を確保することは可能だと思う	12.2	23.6	19.3	8.5	3.5	22.0	10.7	8.7	7.4	33.9	12.7	4.8	7.4
高レベル放射性廃棄物の地層処分の安全を確保することは可能だと思わない	28.4	40.9	39.3	27.0	10.9	38.8	32.9	18.8	13.8	10.4	36.8	54.5	9.5
最終処分場で大きな事故が起きないか心配だ	49.3	60.0	65.9	51.4	19.4	66.1	55.8	35.6	22.3	28.7	64.4	71.0	23.9
最終処分場で大きな事故は起きないだろうと思う	3.3	9.1	5.2	1.2	1.4	6.1	2.4	3.1	1.1	16.5	2.1	1.4	1.4
高レベル放射性廃棄物の最終処分場を早急に決定しなければならない	28.4	40.9	40.4	26.1	10.9	43.3	31.3	18.5	11.7	32.2	36.3	35.2	11.3
高レベル放射性廃棄物の最終処分場を急いで決める必要はない	6.8	11.8	9.1	5.7	3.2	12.2	6.7	4.2	2.1	6.1	7.7	11.0	3.2
高レベル放射性廃棄物の最終処分場は、しばらく決まらないと思う	49.1	70.9	70.8	44.8	17.6	66.9	53.6	37.5	22.3	49.6	62.3	64.8	20.4
高レベル放射性廃棄物の最終処分場は、速やかに決まると思う	0.9	1.8	1.3	0.7	0.4	1.2	1.2	0.3	1.1	5.2	0.3	1.4	0.4
処分事業が立地地域の雇用や経済に与える恩恵は大きいと思う	23.7	32.7	35.7	20.6	8.5	42.0	22.4	16.0	11.7	36.5	29.8	23.4	9.2
処分事業が立地地域の雇用や経済に与える恩恵はそれほど大きくないと思う	8.8	21.8	10.9	7.3	3.2	13.5	9.9	5.0	5.3	6.1	10.3	20.7	2.5
自分の住む地域または近隣地域に最終処分場が計画されたら、反対すると思う	48.3	55.5	60.4	53.3	21.8	64.1	54.0	37.3	19.1	30.4	60.6	71.0	27.5
自分の住む地域または近隣地域に最終処分場が計画されても、反対はしないと思う	7.0	18.2	10.4	4.5	1.8	10.6	6.7	5.0	6.4	26.1	6.7	4.8	1.4
原子力発電の廃止を決めてから、高レベル放射性廃棄物の処分を検討するべきだと思う	8.5	8.2	11.7	8.3	4.6	13.1	8.9	5.3	6.4	7.0	10.2	15.9	3.5
原子力発電の利用・廃止に関わらず、高レベル放射性廃棄物の処分に取り組まなければいけない	38.6	67.3	56.3	33.9	10.6	54.7	42.9	26.9	18.1	35.7	49.6	54.5	14.4
その他	0.8	2.7	1.3	−	0.4	1.6	0.6	0.6	−	−	0.5	3.4	−
わからない	26.8	7.3	7.8	25.1	62.7	13.1	20.0	37.8	57.4	18.3	13.1	8.3	58.5
無回答	0.9	−	0.5	0.9	1.8	0.4	0.8	0.8	3.2	−	1.0	−	−

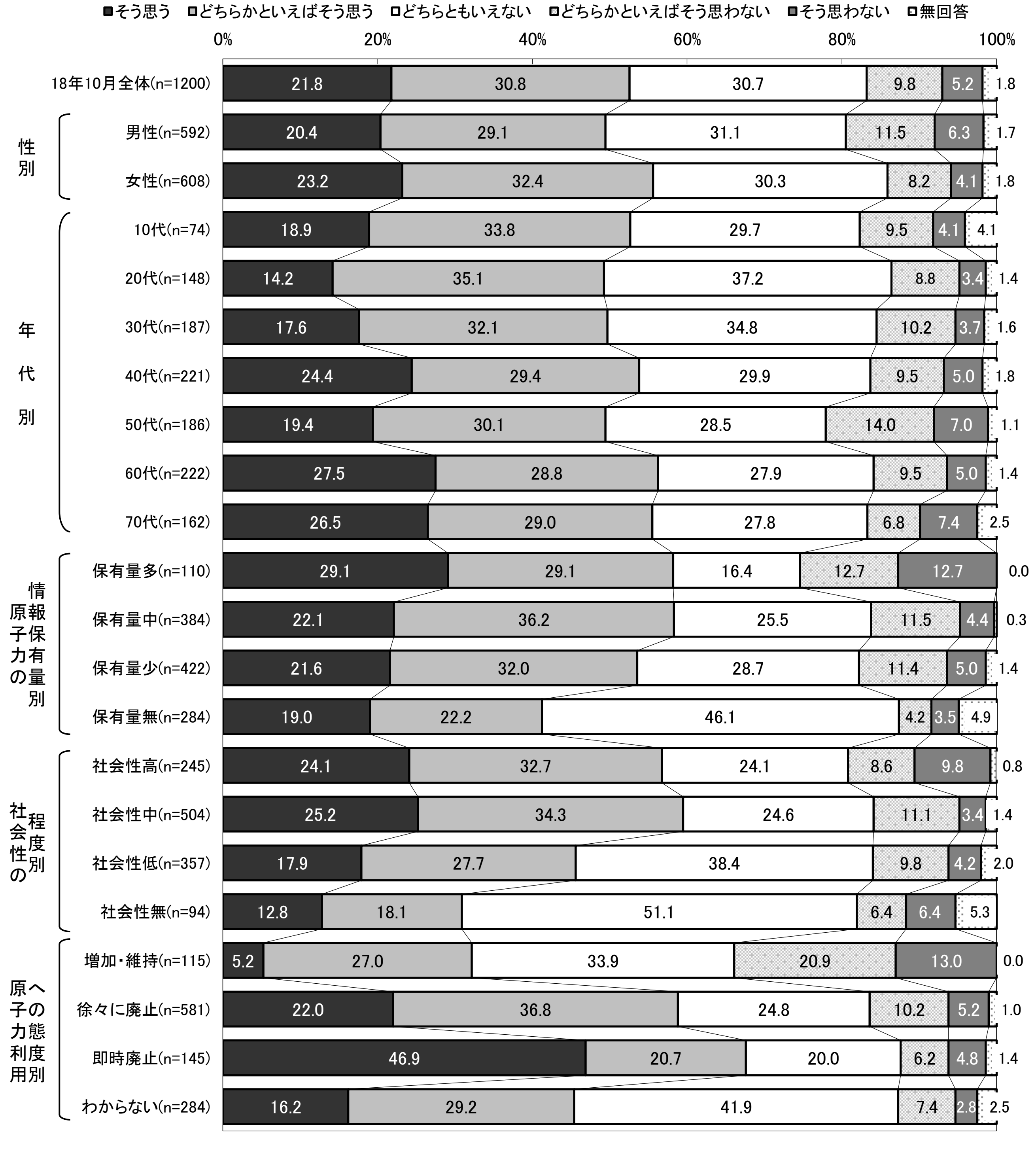
（%）

●放射能・放射線のリスク認知

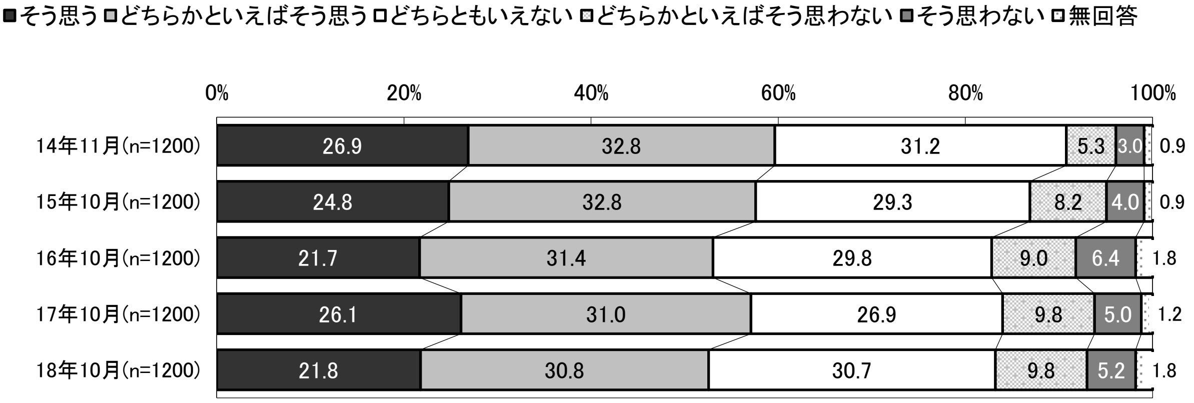
「自分のまわりの土壌や食品・水の放射能汚染のことが心配だ」に肯定的な回答（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は52.6%。一方、否定的な回答（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は15.0%。前回と比較すると、肯定的意見は減少した。否定的意見は前回と大きな変化はない。
情報保有量多で強い肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）

【i) 自分のまわりの土壌や食品・水の放射能汚染のことが心配だ】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
【自分のまわりの土壌や食品・水の放射能汚染のことが心配だ】

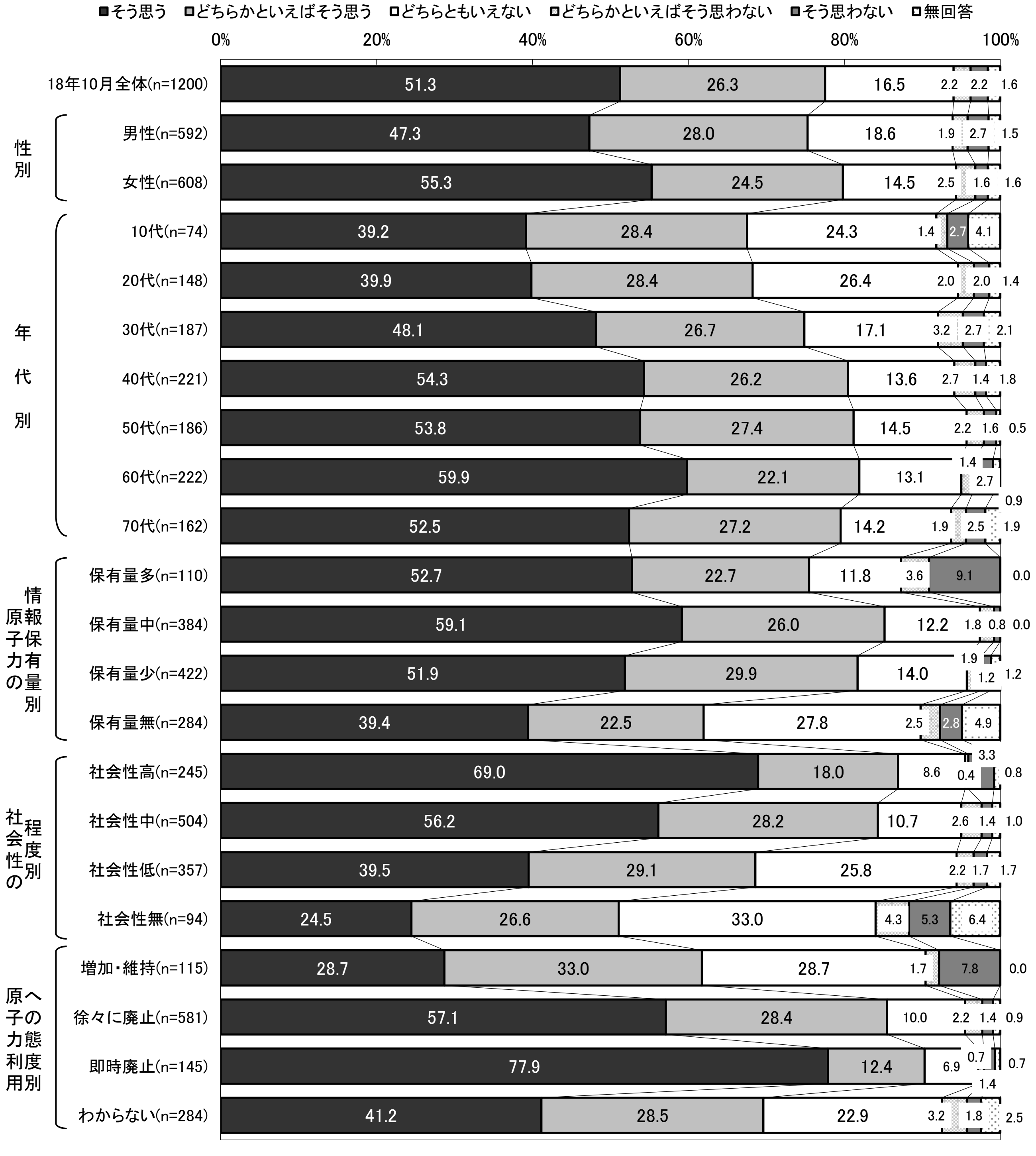


●放射能・放射線のリスク認知

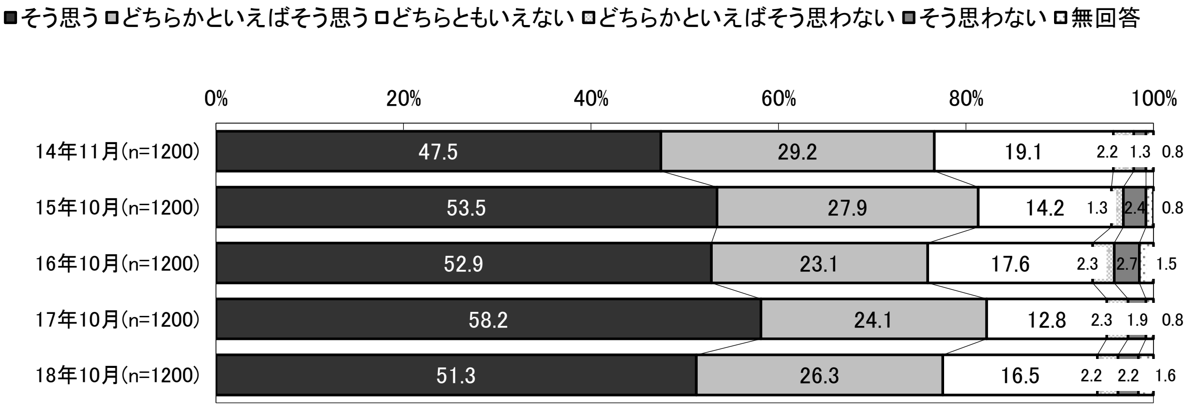
「子供たちや将来の世代への放射能や放射線の影響はゼロにしてほしい」に肯定的な回答（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）は77.6%。一方、否定的な回答（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）の割合は4.4%。経年で見ると、2017年度調査までは強い肯定的意見に増加傾向が見受けられたが、2018年度調査では減少した。年代別に見ると、年齢と共に、肯定的意見が増加する（60代がピーク）。また、社会性高で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）

【j) 子供たちや将来の世代への放射能や放射線の影響はゼロにしてほしい】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（〇はそれぞれ１つずつ）
【子供たちや将来の世代への放射能や放射線の影響はゼロにしてほしい】

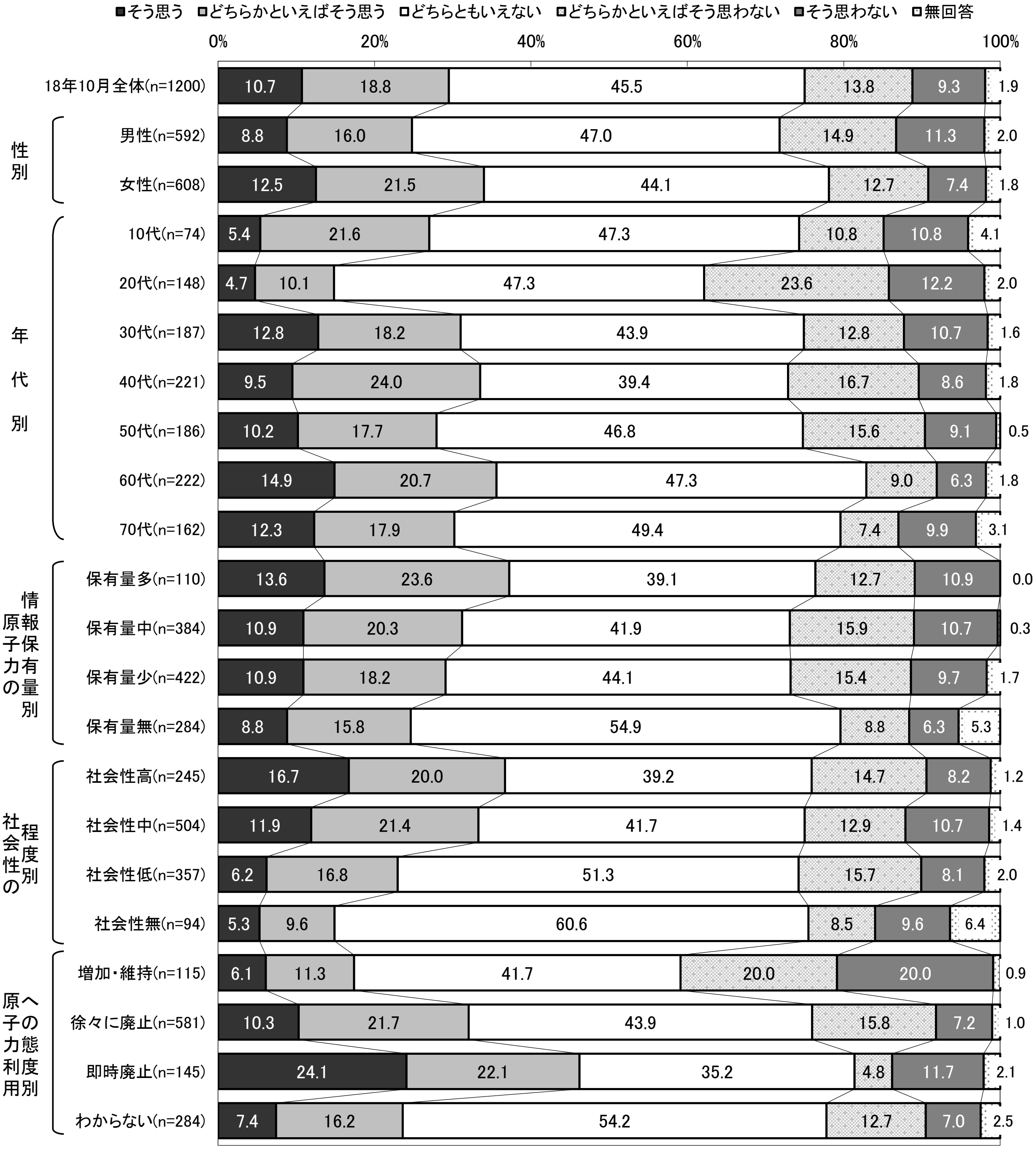


●放射能・放射線のリスク認知

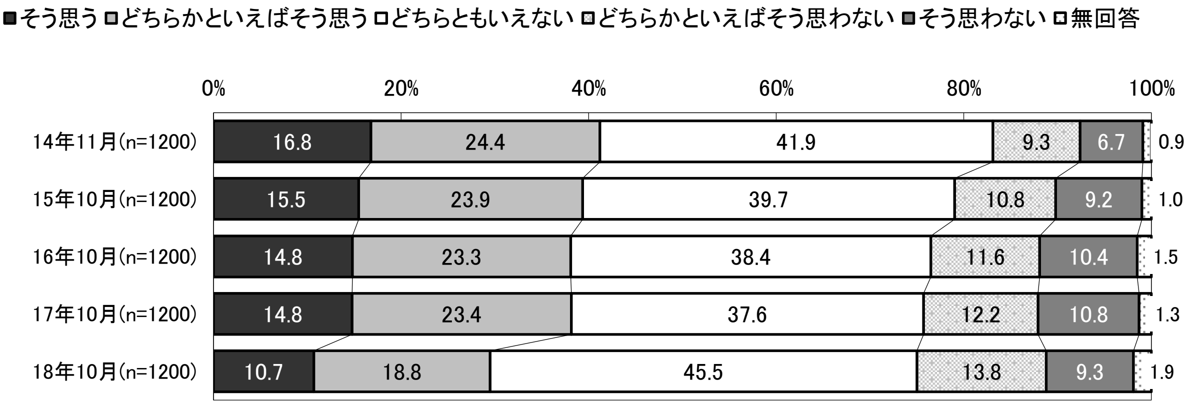
「食品を選ぶときは、放射能について気をつけている」に肯定的な回答(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は29.5%。一方、否定的な回答(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は23.1%。経年で見ると、2018年度調査では肯定的意見が減少した。また、否定的意見が若干、増加し続けているように見える。
年代別に見ると、20代で否定的意見が多く見られる。また、社会性高で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問10. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【k) 食品を選ぶときは、放射能について気をつけている】



＜経年変化＞
問. あなたは、次のそれぞれの事柄について、どう思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ１つずつ）
【食品を選ぶときは、放射能について気をつけている】



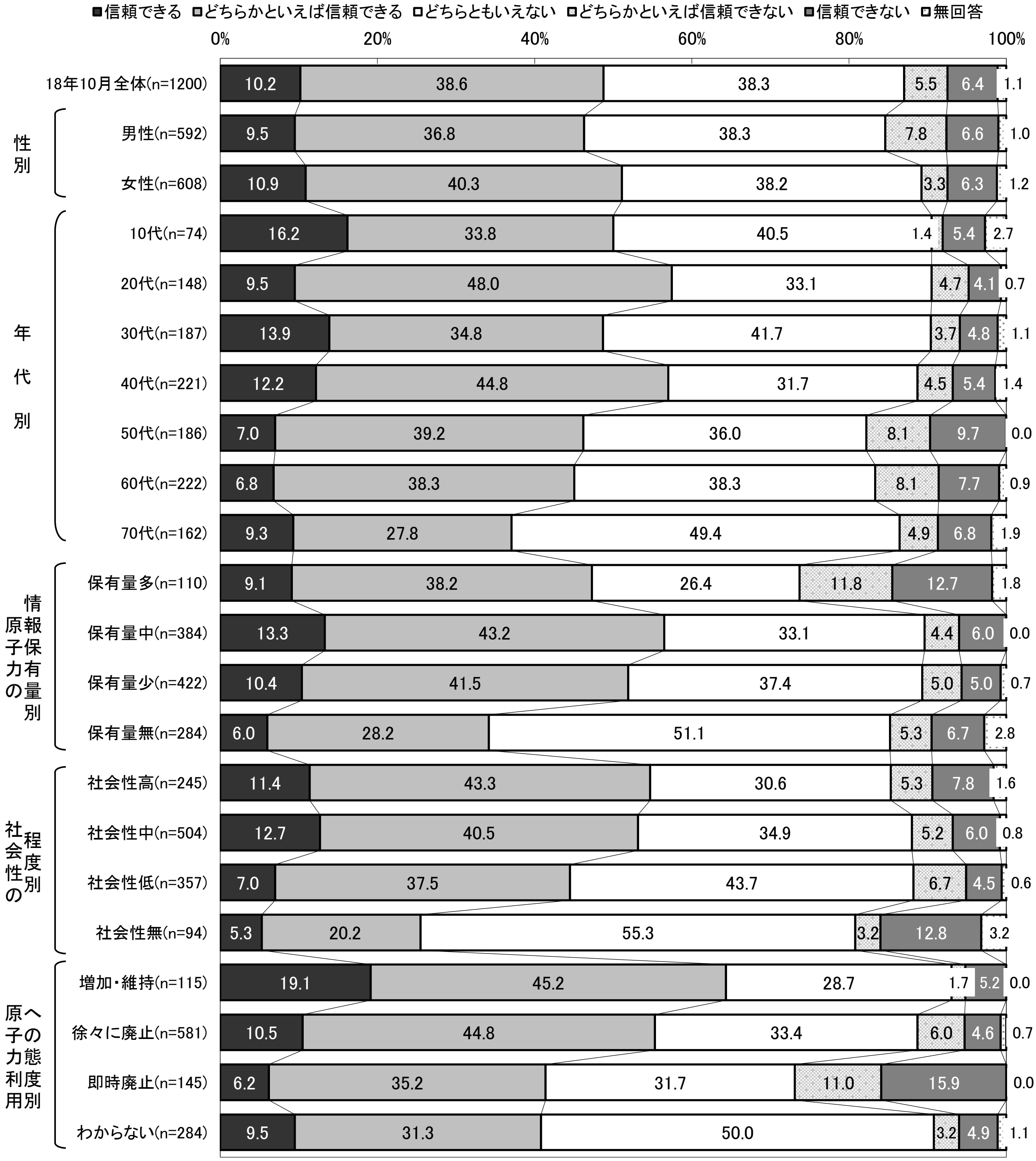
Ⅶ章　原子力に対する信頼について

●原子力に対する信頼（原子力の専門家）

原子力の専門家についての信頼を聞いたところ、信頼できる（「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」）という回答は48.8%、信頼できない（「信頼できない」+「どちらかといえば信頼できない」）という回答は11.9%。
年代別にみると、50代と60代で否定的意見がやや多い。
また、他の主体（事業者・国・自治体）と比較して、信頼が高い。

問12. 今後、原子力発電を利用、もしくは、廃止していく上で、
あなたは、次の人や組織を信頼できると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

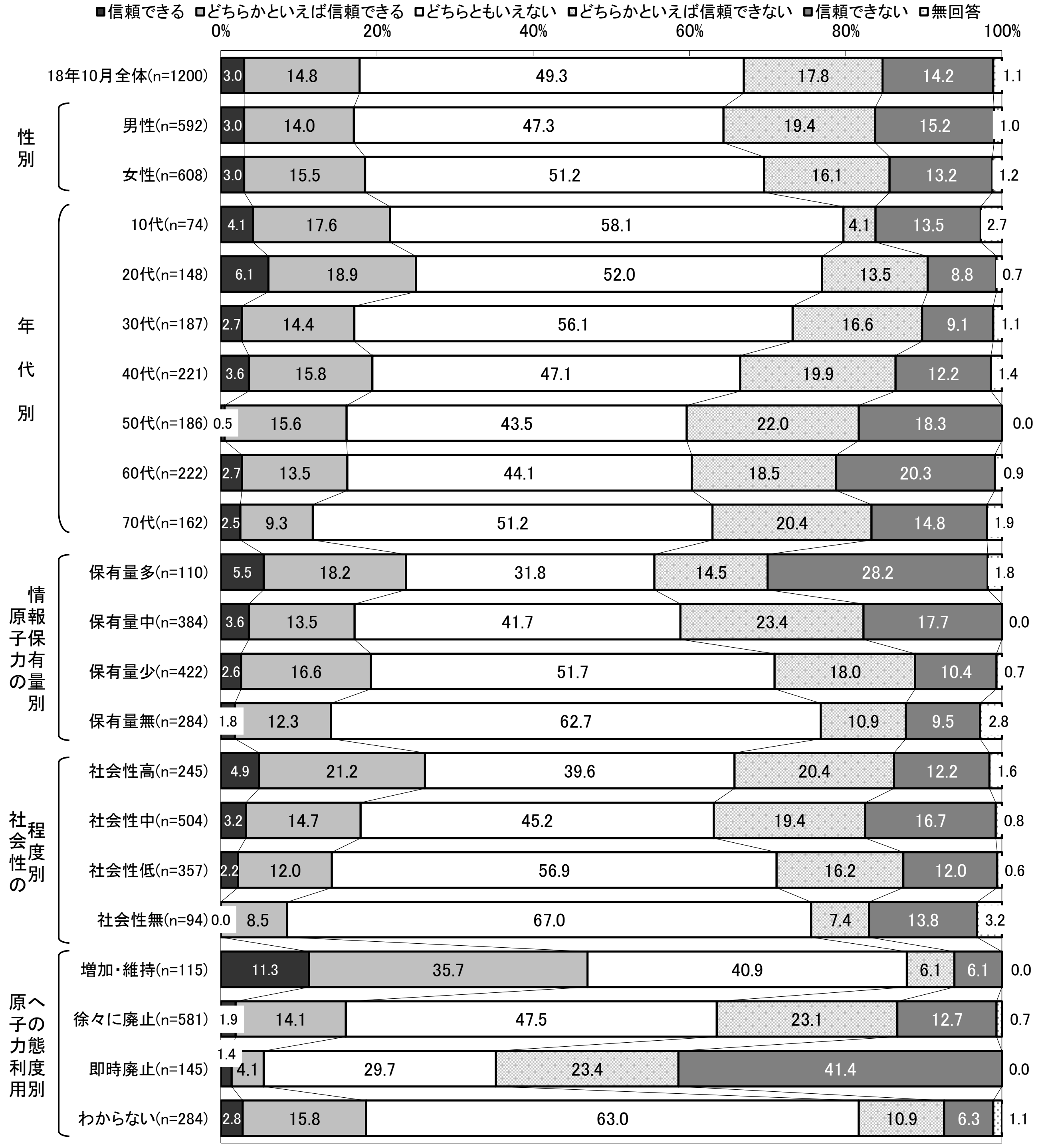
【a) 原子力の専門家（研究機関の研究者、大学教授などの原子力の学問・事柄を専門に研究・担当し、精通しているとされる方）】



●原子力に対する信頼（原子力の事業者）

原子力の事業者についての信頼を聞いたところ、信頼できる（「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」）という回答は17.8%、信頼できない（「信頼できない」+「どちらかといえば信頼できない」）という回答は22.0%。「どちらともいえない」という回答が約5割を占めている。
年代別にみると、50代以上で否定的意見が多い。社会性高で肯定的意見が大きく、その程度が小さくなるにつれて、肯定的意見が減少する。

問12. 今後、原子力発電を利用、もしくは、廃止していく上で、
あなたは、次の人や組織を信頼できると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）
【b）原子力の事業者（原子力発電所の運転事業を営む電力会社など）】

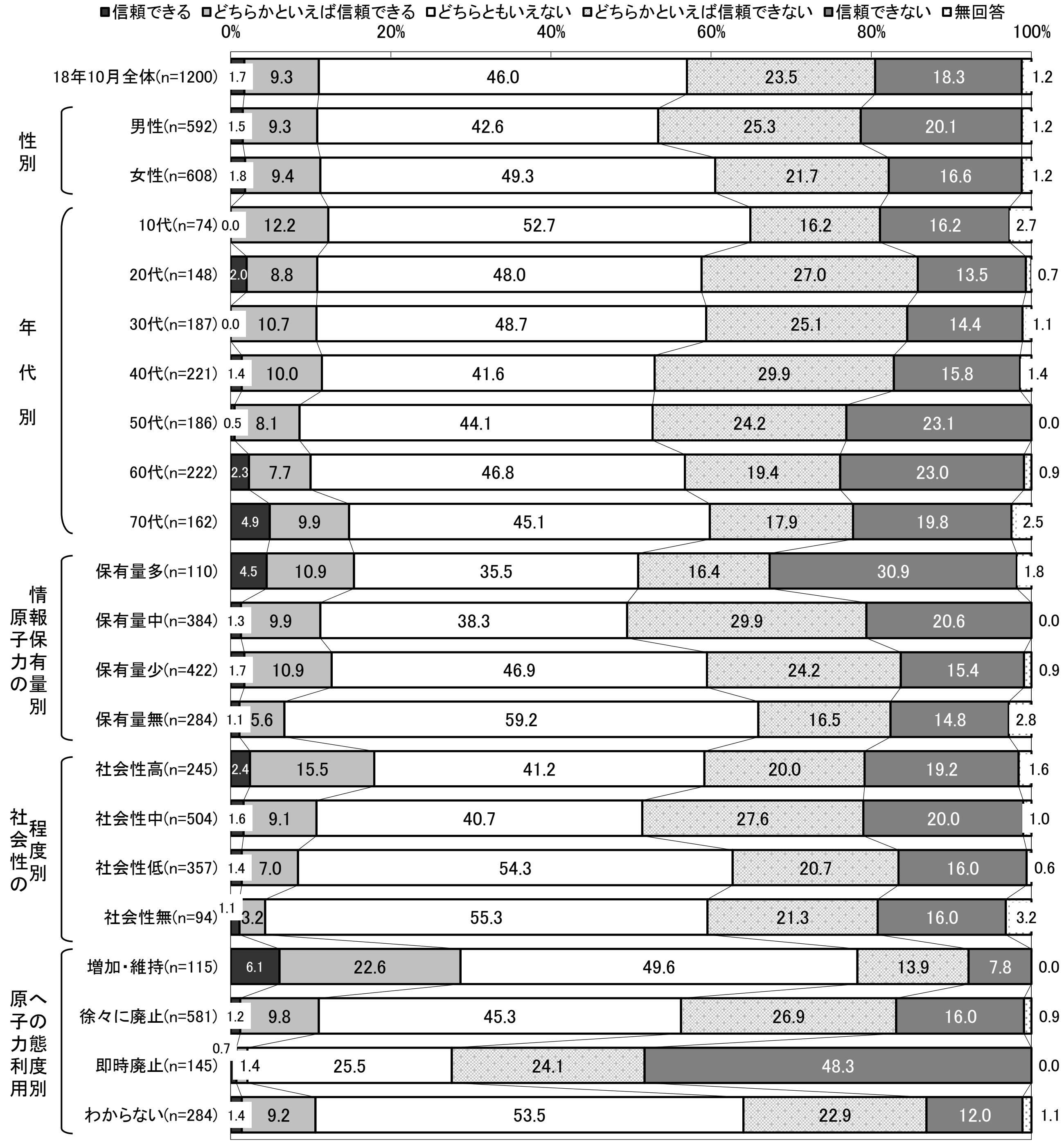


●原子力に対する信頼（国）

原子力について、国の信頼を聞いたところ、信頼できる（「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」）という回答は11.0%、信頼できない（「信頼できない」+「どちらかといえば信頼できない」）という回答は41.8%。また、「どちらともいえない」という回答が5割近い。
年代別に見ると、年齢と共に、否定的意見が増加する（50代がピーク）。また、情報保有量多・社会性高で肯定的意見・否定的意見が共に大きく、その程度が小さくなるにつれて、その両意見は減少する傾向にある。
原子力の専門家に比べると、信頼感は低い。

問12. 今後、原子力発電を利用、もしくは、廃止していく上で、
あなたは、次の人や組織を信頼できると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

【c) 国(政府など)】

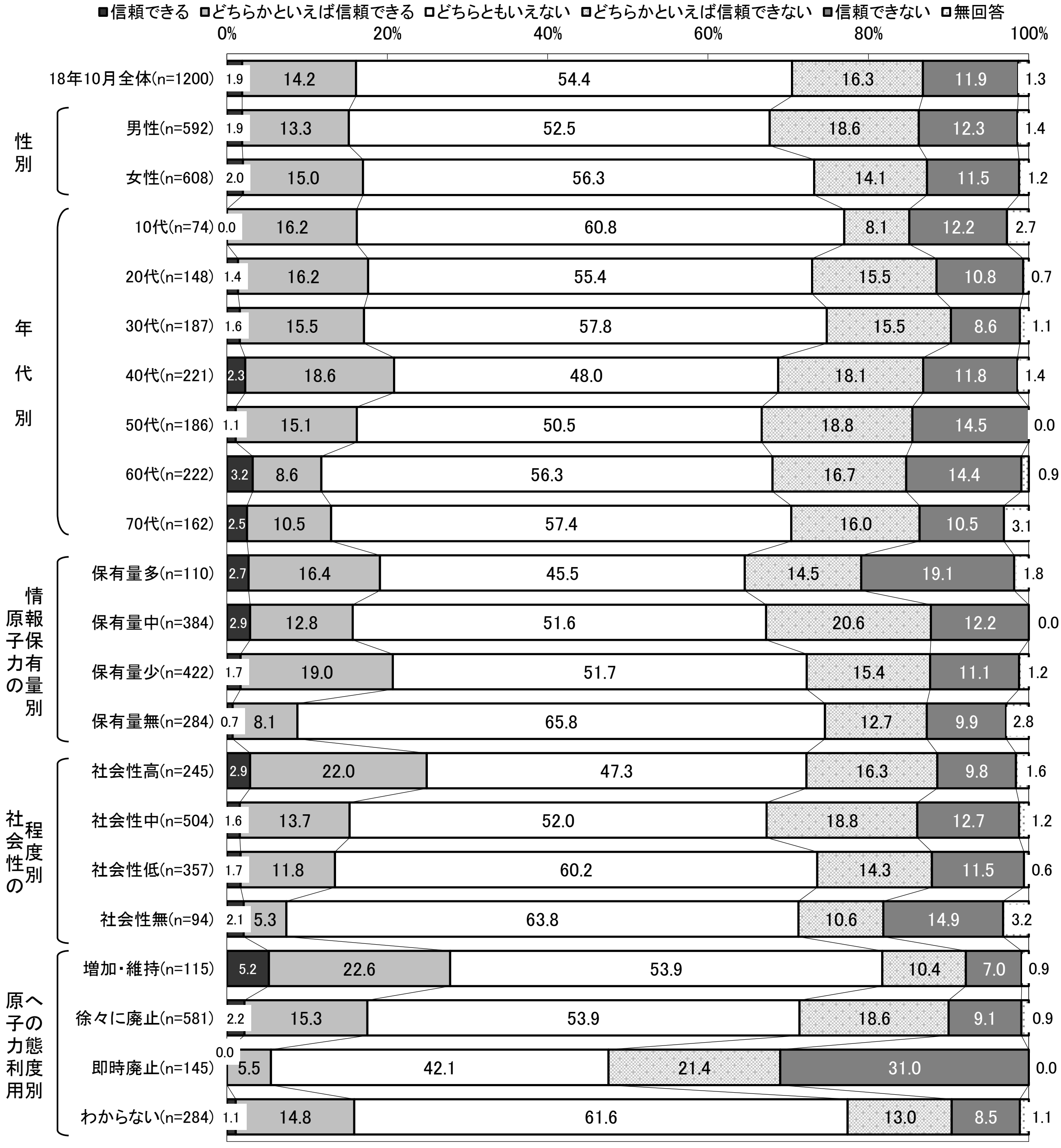


●原子力に対する信頼（自治体）

原子力について、自治体の信頼を聞いたところ、信頼できる（「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」）という回答は16.1%、信頼できない（「信頼できない」+「どちらかといえば信頼できない」）という回答は28.2%。また、「どちらともいえない」という回答が5割を超える。
年代別に見ると、年齢と共に、否定的意見が増加する（50代がピーク）。また、社会性高で肯定的意見が大きい。

問12. 今後、原子力発電を利用、もしくは、廃止していく上で、
あなたは、次の人や組織を信頼できると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

【d) 自治体(都道府県・市町村)】

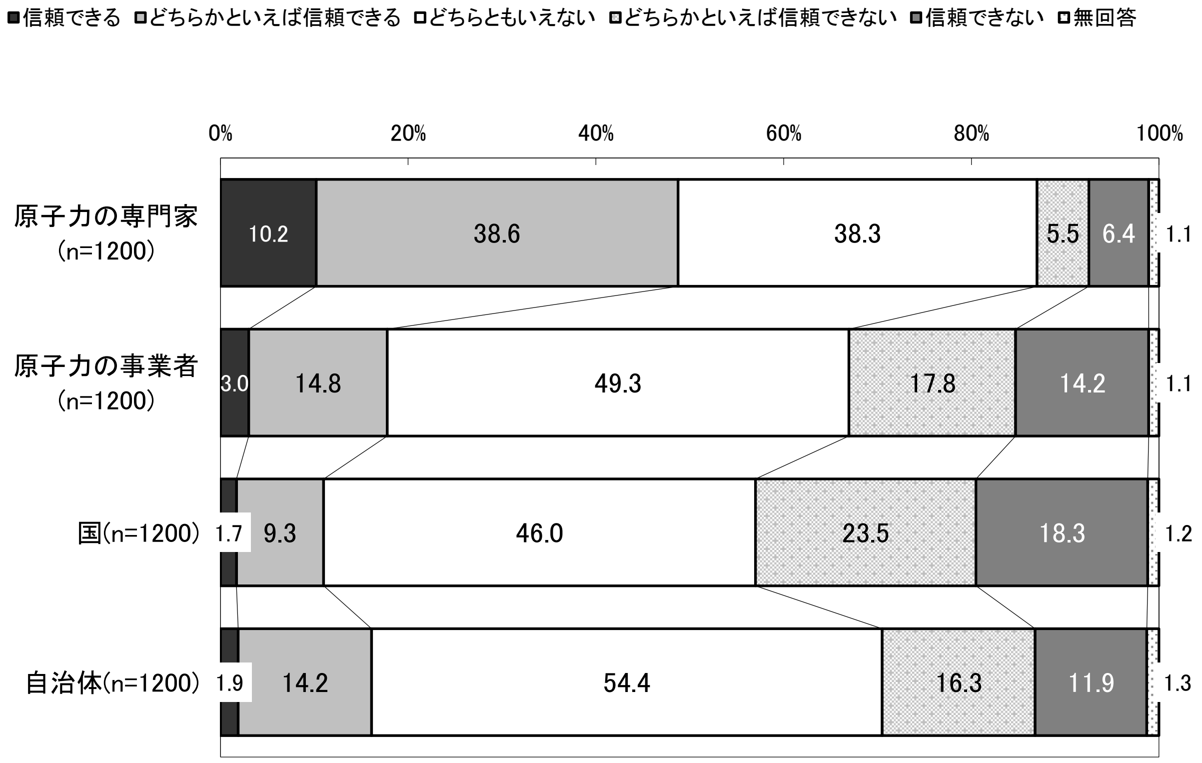


＜参考　原子力の専門家/原子力の事業者/国/自治体 の比較＞

問12. 今後、原子力発電を利用、もしくは、廃止していく上で、
あなたは、次の人や組織を信頼できると思いますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

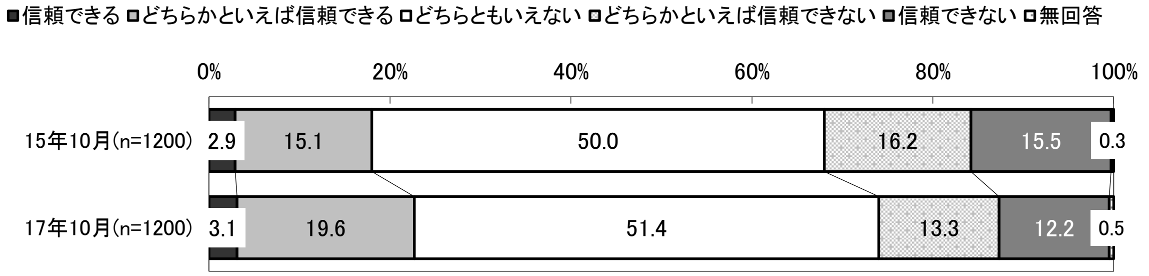
【a) 原子力の専門家(研究機関の研究者、大学教授などの原子力の学問・事柄を専門に研究・担当し、精通しているとされる方)】
【b) 原子力の事業者(原子力発電所の運転事業を営む電力会社など)】
【c) 国(政府など)】
【d) 自治体(都道府県・市町村)】

18年10月全体　N=1200

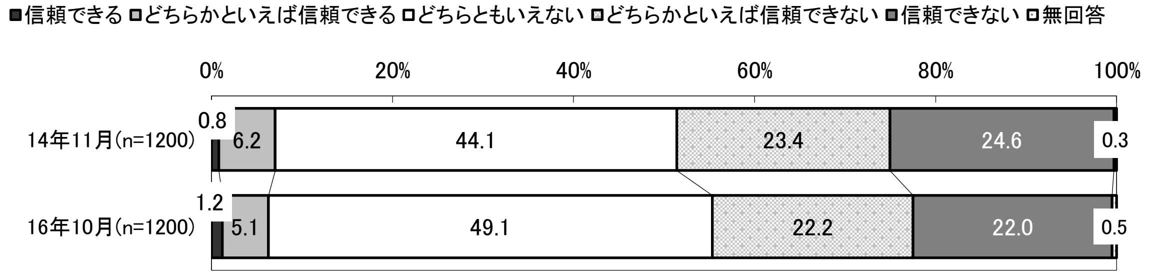


＜参考　2014-2017年度結果＞

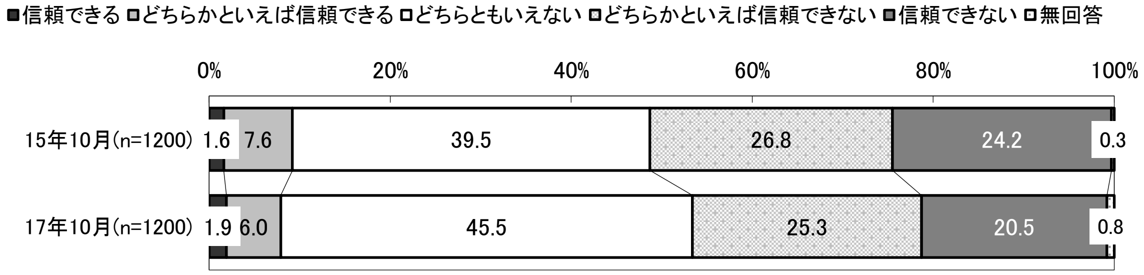
問. 原子力に関して、あなたは「原子力の専門家」を信頼できると思いますか。（○は１つだけ）



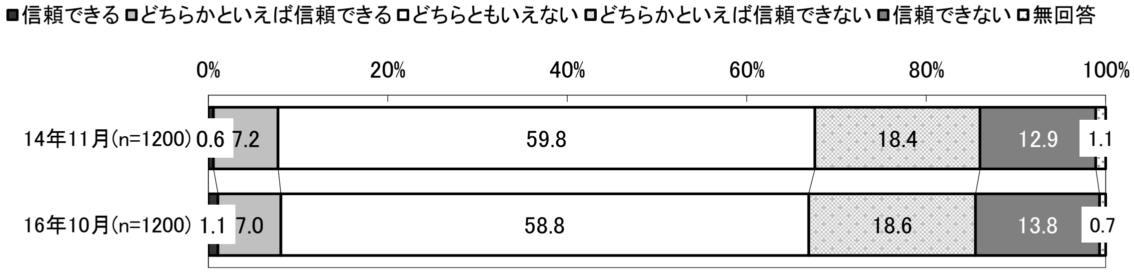
問. 原子力に関して、あなたは「原子力の事業者」を信頼できると思いますか。（○は１つだけ）



問. 原子力に関して、あなたは「国」を信頼できると思いますか。（○は１つだけ）



問. 原子力に関して、あなたは「自治体」を信頼できると思いますか。（○は１つだけ）



Ⅷ章　原子力・放射線・エネルギーについての広聴・広報に関わる事項

●原子力・エネルギー・放射線についての広聴・広報

原子力やエネルギーに関する日頃の情報源を尋ねたところ、「テレビ（ニュース）」（80.2%）、「新聞」（46.9%）、「テレビ（情報番組）」（44.3%）が主な情報源。インターネットでは、検索サイト上のニュース（16.7%）とスマートフォンのニュースアプリ（15.6%）が情報源としてやや高めのポイントを有する。また、「家族、友人、知人との会話」も9.8%の回答がある。前回と大きな違いはない。
年齢別にみると、全体として情報源とのアクセスは、高年齢層ほど多くなる。新聞は40代以上でアクセスが高くなる。一方、インターネットは20代～40代でアクセスが高い。10～20代ではSNSも情報源となり得る可能性がある。

問13. あなたは、ふだん原子力やエネルギー、放射線に関する情報を何によって得ていますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

	18年10月全体 N=1200 (%)	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月	13年12月	12年11月	11年11月	10年9月	08年10月	07年10月	07年1月
新聞	46.9	47.8	54.0	55.3	56.4	61.1	53.7	58.5	53.0	55.6	49.4	59.1
テレビ（ニュース）	80.2	82.2	81.8	85.8	85.6	87.7	86.4	88.7	81.0	81.2	77.7	77.8
テレビ（情報番組）	44.3	42.2	38.7	40.6								
テレビ（ドラマ）	0.9	1.7	1.3	1.0								
テレビ（CM）	2.9	2.6	2.2	3.6								
ラジオ	6.7	5.9	5.8	7.8	12.8	7.8	9.4	10.6	8.8	7.6	9.0	9.5
雑誌（週刊誌・月刊誌等）	6.5	5.9	8.6	9.6	10.4	8.9	11.7	11.6	12.7	13.7	15.3	16.1
自治体の広報紙	5.1	3.9	3.8	6.5	6.8							
事業者の広報紙	1.8	1.1	2.1	1.9								
本・パンフレット	3.8	2.9	3.6	4.9	3.8	6.0	7.2	7.6	7.6	9.1	9.8	10.5
ビデオ・DVD	0.3	0.5	0.3	0.2	0.2							
講演会・説明会・セミナー等のイベント	3.2	2.3	1.6	2.0	2.6							
学校	2.3	1.6	2.3	2.6	2.3	1.8						
博物館・展示館・PR施設	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.8	1.7	1.8	3.4	3.7	9.9	11.6
家族、友人、知人との会話	9.8	9.4	11.2	17.0	15.5							
回覧板	1.4	1.4	1.2	1.3	2.3							
国、自治体のホームページ	2.2	2.3	2.1	2.8	3.7	23.5	24.6	27.6	16.2	12.1	11.3	10.3
原子力事業者、研究機関等のホームページ	2.0	1.7	0.9	1.6	2.6							
検索サイト上のニュース（Googleニュースや Yahoo!ニュース等）	16.7	14.6	16.9	19.9	23.3							
テレビ局や新聞社などのニュースサイト	6.4	8.3										
スマートフォンのニュースアプリ（Gunnosy,LINE NEWS,SmartNews等）	15.6	14.0	10.3	9.8								
SNS（LINE、フェイスブック、ツイッター等）	5.0	4.9										
メール配信（メールマガジン等）	0.6	0.9	0.4	0.7	0.7							
動画投稿サイト（YouTube,ニコニコ動画等）	1.7	1.5										
その他のインターネット情報	0.3	0.5	0.3	0.7	1.5							
その他	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.8	1.3	1.6	1.6	2.3	1.3	1.3
特にない／わからない	10.4	9.3	11.7	6.8	8.6	6.7	4.2	2.3	9.3	7.8	7.9	7.2

*07年10月までの選択肢は「国や電力会社などのPR施設」、08年10月からは「博物館・展示館・PR施設」に変更
*12年11月までの選択肢は「あてはまるものはない」、13年12月からは「特にない／わからない」に変更
*13年12月までは「インターネット」だけだった選択肢を、14年11月から細分化
*14年11月までは「テレビ」だけだった選択肢を、15年10月から細分化
*17年10月、「インターネット上のニュースサイト」を2つに細分化。「フェイスブック」「ツイッター」を「SNS」に統合。
*その他、過去にデータのない項目は、それぞれ各年に追加された項目である

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問13. あなたは、ふだん原子力やエネルギー、放射線に関する情報を何によって得ていますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男　性	女　性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
新聞	46.9	51.2	42.8	17.6	21.6	25.7	44.3	56.5	68.0	71.6
テレビ（ニュース）	80.2	78.5	81.7	63.5	64.2	73.3	80.5	92.5	88.3	84.6
テレビ（情報番組）	44.3	41.4	47.0	23.0	34.5	35.3	42.1	48.4	57.2	53.7
テレビ（ドラマ）	0.9	1.2	0.7	−	1.4	0.5	0.5	1.6	1.4	0.6
テレビ（CM）	2.9	2.7	3.1	5.4	2.0	1.1	3.2	3.8	2.3	4.3
ラジオ	6.7	7.6	5.8	2.7	2.7	1.6	4.1	8.1	10.8	14.2
雑誌（週刊誌・月刊誌等）	6.5	7.9	5.1	2.7	4.1	3.7	3.6	7.5	10.8	10.5
自治体の広報紙	5.1	4.6	5.6	1.4	−	2.7	4.1	7.0	10.8	5.6
事業者の広報紙	1.8	2.2	1.5	−	0.7	2.1	2.3	1.6	2.7	1.9
本・パンフレット	3.8	4.7	3.0	5.4	4.1	1.1	2.7	4.8	5.4	4.3
ビデオ・DVD	0.3	0.7	−	−	0.7	−	0.5	0.5	−	0.6
講演会・説明会・セミナー等のイベント	3.2	4.1	2.3	1.4	2.7	1.1	2.3	4.3	5.0	4.3
学校	2.3	2.4	2.1	20.3	3.4	1.1	1.4	0.5	−	0.6
博物館・展示館・PR施設	1.2	1.5	0.8	1.4	0.7	0.5	1.4	0.5	1.8	1.9
家族、友人、知人との会話	9.8	8.1	11.3	9.5	5.4	9.6	9.0	9.7	11.3	13.0
回覧板	1.4	1.2	1.6	−	0.7	0.5	1.4	2.2	2.3	1.9
国、自治体のホームページ	2.2	3.2	1.2	1.4	0.7	2.1	2.7	3.2	2.7	1.2
原子力事業者、研究機関等のホームページ	2.0	2.7	1.3	−	−	3.2	1.4	2.7	4.1	0.6
検索サイト上のニュース（GoogleニュースやYahoo!ニュース等）	16.7	22.1	11.3	16.2	16.2	23.5	23.5	20.4	11.3	3.1
テレビ局や新聞社などのニュースサイト	6.4	7.9	4.9	1.4	4.1	4.3	5.9	5.4	10.8	9.3
スマートフォンのニュースアプリ（Gunnosy,LINE NEWS,SmartNews等）	15.6	17.6	13.7	14.9	28.4	26.7	19.5	14.5	6.3	−
SNS（LINE、フェイスブック、ツイッター等）	5.0	5.2	4.8	16.2	12.2	5.9	5.0	3.2	0.9	−
メール配信（メールマガジン等）	0.6	0.5	0.7	−	−	−	1.4	0.5	1.4	−
動画投稿サイト（YouTube,ニコニコ動画等）	1.7	2.7	0.7	1.4	4.1	−	2.7	2.2	0.9	0.6
その他のインターネット情報	0.3	0.5	0.2	−	−	1.1	0.5	0.5	−	−
その他	0.2	0.3	−	−	−	−	0.5	0.5	−	−
特にない／わからない	10.4	9.5	11.3	28.4	23.0	11.8	7.7	3.8	4.5	8.6

(%)

＜2018年10月のクロス集計結果（2/2）＞

問13. あなたは、ふだん原子力やエネルギー、放射線に関する情報を何によって得ていますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

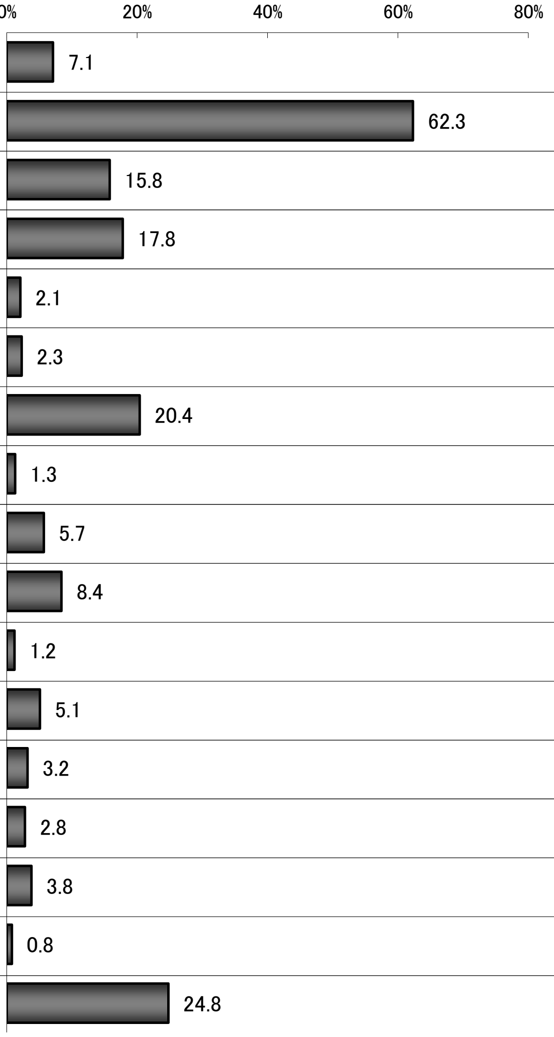
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
新聞	46.9	62.7	58.1	46.7	26.1	66.9	48.4	36.4	26.6	53.9	54.6	58.6	27.8
テレビ（ニュース）	80.2	82.7	89.8	84.4	59.9	93.1	85.3	72.8	46.8	83.5	86.1	84.8	72.5
テレビ（情報番組）	44.3	49.1	56.5	41.0	30.6	58.4	48.8	32.8	26.6	39.1	48.7	51.0	38.4
テレビ（ドラマ）	0.9	3.6	1.0	－	1.1	1.6	0.8	0.6	1.1	1.7	1.0	1.4	0.4
テレビ（CM）	2.9	6.4	5.2	1.2	1.1	5.7	2.4	2.5	－	3.5	3.3	4.8	1.8
ラジオ	6.7	10.0	9.1	6.2	2.8	13.9	5.8	3.6	4.3	7.8	8.6	7.6	3.5
雑誌（週刊誌・月刊誌等）	6.5	19.1	8.1	5.5	1.1	13.5	6.5	2.8	2.1	12.2	7.2	10.3	1.8
自治体の広報紙	5.1	10.0	7.0	4.5	1.4	12.2	5.0	1.4	1.1	4.3	6.9	5.5	2.5
事業者の広報紙	1.8	5.5	2.9	0.9	0.4	3.7	1.8	0.8	1.1	4.3	2.4	2.1	－
本・パンフレット	3.8	14.5	6.0	1.2	0.7	6.1	4.6	2.2	－	5.2	4.8	5.5	1.1
ビデオ・DVD	0.3	1.8	0.5	－	－	0.8	0.4	－	－	2.6	0.2	－	－
講演会・説明会・セミナー等のイベント	3.2	10.0	4.4	2.4	－	9.0	2.6	0.8	－	2.6	3.6	6.9	0.7
学校	2.3	2.7	3.1	2.4	0.7	3.3	2.6	1.4	1.1	4.3	2.4	－	2.1
博物館・展示館・PR施設	1.2	4.5	1.6	0.2	0.7	4.1	0.2	0.6	1.1	2.6	1.0	－	1.1
家族、友人、知人との会話	9.8	12.7	12.0	9.5	6.0	15.1	10.7	6.7	2.1	5.2	11.7	15.9	6.0
回覧板	1.4	2.7	1.0	1.7	1.1	2.9	1.2	1.1	－	1.7	1.7	2.1	0.4
国、自治体のホームページ	2.2	9.1	2.1	1.9	－	5.3	1.8	0.8	1.1	6.1	2.2	2.1	0.7
原子力事業者、研究機関等のホームページ	2.0	6.4	3.1	0.9	0.4	2.9	3.0	0.3	1.1	2.6	2.4	3.4	0.4
検索サイト上のニュース（GoogleニュースやYahoo!ニュース等）	16.7	30.9	22.7	14.2	6.7	21.6	16.7	15.4	8.5	21.7	19.8	17.2	10.6
テレビ局や新聞社などのニュースサイト	6.4	10.9	11.2	3.6	2.5	11.8	7.9	2.0	1.1	2.6	8.1	9.0	4.2
スマートフォンのニュースアプリ（Gunnosy,LINE NEWS,SmartNews等）	15.6	14.5	18.0	18.5	8.5	15.9	17.9	14.3	7.4	15.7	19.3	13.8	12.0
SNS（LINE、フェイスブック、ツイッター等）	5.0	3.6	5.2	7.6	1.4	5.7	6.2	3.4	3.2	4.3	6.7	4.1	2.8
メール配信（メールマガジン等）	0.6	0.9	0.8	0.7	－	1.2	0.4	0.6	－	－	0.9	0.7	0.4
動画投稿サイト（YouTube,ニコニコ動画等）	1.7	5.5	1.6	1.9	－	2.4	1.8	1.4	－	1.7	2.6	2.1	－
その他のインターネット情報	0.3	－	0.8	0.2	－	－	0.4	0.6	－	－	0.5	0.7	－
その他	0.2	－	0.5	－	－	0.8	－	－	－	－	0.3	－	－
特にない／わからない	10.4	3.6	2.1	6.4	30.3	2.4	5.0	14.6	44.7	5.2	4.5	2.8	19.4

－ (%)

●原子力に対する信頼（情報発信者）

情報源の信頼としては、「専門家（大学教員・研究者）」（62.3%）が突出して多く、次いで「国際機関」「原子力関係者」「評論家」である。「あてはまるものはない」という回答も24.8%ある。前回と比較すると、「専門家」への信頼は大きく増加した。
年代別に見ると、若年層ほど、信頼できる主体がない。60～70代では、他の年齢層と比べると、「国際機関」「評論家」「記者」への信頼が高く、「原子力関係者」への信頼は低い。

問14. あなたは、原子力やエネルギー、放射線に関する情報について、どのような人や組織の発言を信頼しますか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）



	18年10月全体 N=1200	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月	13年12月
政府関係者	7.1	6.4	5.9	7.8	7.0	6.2
専門家（大学教員・研究者）	62.3	49.6	55.1	47.4	52.8	53.9
評論家（キャスターなども含む）	15.8	14.8	15.1	18.1	15.5	15.1
原子力関係者（電力会社・メーカー）	17.8	16.7	14.0	16.9	12.7	12.7
自治体職員	2.1	1.6	1.9	2.2	2.3	2.0
財団法人、社団法人などの公益法人	2.3	1.7	1.5	1.3	1.5	1.7
国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構（OECD）などの国際機関	20.4	18.2	18.8	22.9	19.1	25.8
小・中・高等学校の教員	1.3	0.8	1.2	0.9	1.3	1.1
テレビ・ラジオなどのアナウンサー	5.7	7.0	7.3	7.4	7.4	8.4
新聞・雑誌などの記者	8.4	9.2	9.9	10.6	8.3	10.2
政治家	1.2	1.3	0.8	1.3	0.5	1.3
非営利組織（NPO）	5.1	7.5	8.0	8.9	6.6	9.3
オピニオンリーダー（身近な知識人）	3.2	3.4	4.3	5.8	4.2	4.2
知人や友人	2.8	4.2	3.3	4.8	2.6	2.8
家族や親戚	3.8	4.7	4.8	6.1	4.1	3.8
その他	0.8	1.8	1.5	1.0	1.3	1.0
あてはまるものはない	24.8	29.1	25.4	27.9	28.8	25.3

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問14. あなたは、原子力やエネルギー、放射線に関する情報について、どのような人や組織の発言を信頼しますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男　性	女　性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
政府関係者	7.1	6.6	7.6	1.4	6.8	5.9	5.9	5.4	9.9	11.1
専門家（大学教員・研究者）	62.3	60.5	64.0	50.0	60.1	56.7	68.3	62.9	66.2	61.7
評論家（キャスターなども含む）	15.8	14.4	17.1	9.5	11.5	12.8	19.9	12.9	19.4	18.5
原子力関係者（電力会社・メーカー）	17.8	17.2	18.3	14.9	18.9	23.5	18.1	16.1	17.6	13.0
自治体職員	2.1	2.0	2.1	2.7	4.1	2.7	2.3	1.1	1.4	1.2
財団法人、社団法人などの公益法人	2.3	2.7	1.8	－	1.4	3.2	0.5	3.2	3.2	3.1
国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構（OECD）などの国際機関	20.4	23.1	17.8	10.8	10.8	23.5	14.5	19.9	31.5	23.5
小・中・高等学校の教員	1.3	0.8	1.8	6.8	0.7	2.1	0.9	1.1	0.5	0.6
テレビ・ラジオなどのアナウンサー	5.7	5.1	6.3	5.4	4.1	4.3	3.6	7.0	6.3	9.3
新聞・雑誌などの記者	8.4	9.1	7.7	－	6.8	5.3	6.8	7.0	14.0	13.6
政治家	1.2	1.2	1.2	－	2.0	0.5	0.5	2.2	0.9	1.9
非営利組織（NPO）	5.1	5.6	4.6	1.4	1.4	2.7	4.1	6.5	9.0	7.4
オピニオンリーダー（身近な知識人）	3.2	3.0	3.3	1.4	6.1	1.6	1.8	3.8	4.1	3.1
知人や友人	2.8	2.4	3.3	－	2.7	2.7	3.2	4.8	2.3	2.5
家族や親戚	3.8	2.9	4.6	2.7	4.7	4.8	4.5	3.8	2.7	2.5
その他	0.8	0.7	1.0	2.7	－	1.1	－	1.1	0.5	1.9
あてはまるものはない	24.8	26.0	23.7	35.1	32.4	25.7	22.2	23.1	21.6	22.2

(%)

＜2018年10月のクロス集計結果（2/2）＞

問14. あなたは、原子力やエネルギー、放射線に関する情報について、どのような人や組織の発言を信頼しますか
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
政府関係者	7.1	14.5	6.8	6.6	5.3	10.2	6.9	6.4	2.1	18.3	6.5	2.8	6.0
専門家（大学教員・研究者）	62.3	66.4	71.9	65.2	43.3	71.4	68.1	56.9	27.7	69.6	70.2	63.4	52.1
評論家（キャスターなども含む）	15.8	14.5	22.7	14.0	9.5	23.7	16.9	11.8	4.3	13.9	19.4	16.6	10.9
原子力関係者（電力会社・メーカー）	17.8	20.9	21.4	17.1	12.7	24.9	20.6	12.0	5.3	33.9	19.1	8.3	15.5
自治体職員	2.1	5.5	3.4	1.2	0.4	3.3	2.0	1.4	2.1	2.6	2.9	－	1.4
財団法人、社団法人などの公益法人	2.3	5.5	2.6	2.4	0.4	5.7	2.2	0.6	－	3.5	2.9	2.1	1.1
国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構（OECD）などの国際機関	20.4	28.2	30.7	19.2	5.3	31.0	22.8	12.6	9.6	20.0	27.2	19.3	10.6
小・中・高等学校の教員	1.3	1.8	1.6	1.2	1.1	2.0	1.6	0.6	1.1	0.9	1.4	2.1	1.1
テレビ・ラジオなどのアナウンサー	5.7	6.4	5.2	6.2	5.3	7.8	5.4	5.0	4.3	7.0	6.2	3.4	6.0
新聞・雑誌などの記者	8.4	15.5	12.2	6.4	3.5	11.0	9.9	5.9	3.2	7.0	11.2	11.7	3.5
政治家	1.2	2.7	1.3	0.7	1.1	3.3	0.8	0.6	－	3.5	1.0	0.7	1.1
非営利組織（NPO）	5.1	9.1	9.4	2.8	1.1	8.6	5.2	3.6	1.1	0.9	6.2	11.0	1.8
オピニオンリーダー（身近な知識人）	3.2	4.5	4.4	2.8	1.4	3.3	3.2	3.6	1.1	6.1	3.3	4.1	1.4
知人や友人	2.8	6.4	3.4	1.7	2.5	5.3	1.8	3.1	1.1	3.5	3.1	2.8	2.1
家族や親戚	3.8	6.4	3.1	3.3	4.2	4.5	4.8	2.5	1.1	1.7	4.6	2.8	3.5
その他	0.8	－	1.6	0.5	0.7	1.2	1.0	0.6	－	－	1.0	1.4	0.7
あてはまるものはない	24.8	19.1	15.1	22.7	43.3	17.6	19.0	27.5	64.9	14.8	17.0	24.1	34.5

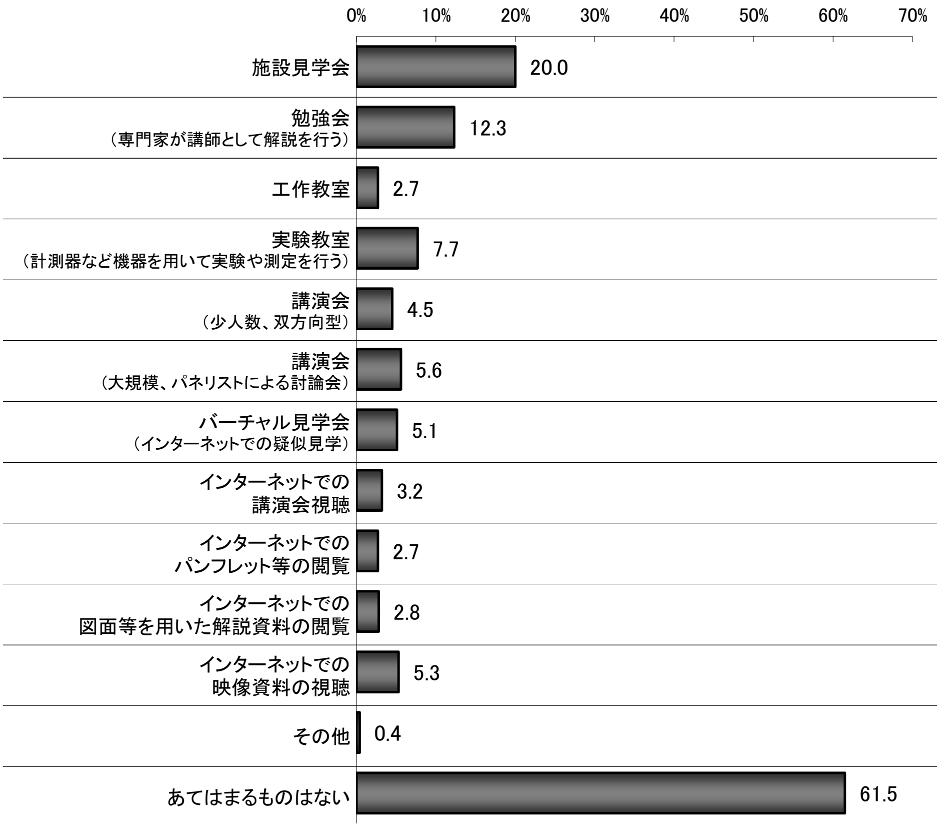
(%)

●原子力･エネルギー･放射線についての広聴･広報

原子力やエネルギーに関するイベント･施設の中で参加してみたいものとして、「施設見学会」（20.0%）、「勉強会」（12.3%）がやや高い。なお、「あてはまるものはない」がもっとも多く、61.5%を占める。その他の項目は軒並み選択率が低く、その他の全体としての傾向は前回と大きく変わらない。
年齢別では、全体として高齢層の方が情報獲得意欲が高い。
社会性高において、「講演会（少人数、双方向）」「講演会（大規模、パネリストによる講演会）」「実験教室」の選択率が高くなる。

問15. 以下に挙げている「原子力やエネルギー、放射線に関する情報提供（イベントなど）」の中で、参加してみたいものや利用してみたいものはどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

18年10月全体 N=1200



	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月	13年12月
施設見学会	18.1	18.3	21.4	21.1	18.6
勉強会（専門家が講師として解説を行う）	11.5	14.3	14.2	15.0	16.8
工作教室	1.8	2.5	2.4	1.4	1.1
実験教室（計測器など機器を用いて実験や測定を行う）	8.1	7.8	10.6	7.0	8.1
講演会（少人数、双方向型）	5.1	6.4	6.3	5.0	5.9
講演会（大規模、パネリストによる討論会）	6.7	7.3	7.8	7.8	9.4
バーチャル見学会（インターネットでの疑似見学）	4.6	3.2	3.6		
インターネットでの講演会視聴	2.5	3.8	3.7		
インターネットでのパンフレット等の閲覧	1.4	3.2			
インターネットでの図面等を用いた解説資料の閲覧	2.2	3.3			
インターネットでの映像資料の視聴	5.3	6.4			
その他	0.4	0.4	0.8	0.5	0.7
あてはまるものはない	63.3	60.6	56.9	61.8	61.1

*「バーチャル見学会」「インターネットでの講演会視聴」は15年10月に追加
*「インターネットでのパンフレット等の閲覧」「インターネットでの図面等を用いた解説資料の閲覧」「インターネットでの映像資料の視聴」は16年10月に追加

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問15. 以下に挙げている「原子力やエネルギー、放射線に関する情報提供（イベント）」の中で、参加してみたいものや利用してみたいものはどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男　性	女　性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
施設見学会	20.0	23.6	16.4	10.8	10.8	15.5	20.8	23.1	27.9	22.2
勉強会 （専門家が講師として解説を行う）	12.3	13.3	11.2	6.8	9.5	9.1	13.1	12.4	18.5	11.1
工作教室	2.7	2.9	2.5	1.4	4.1	5.3	4.1	1.6	0.9	0.6
実験教室 （計測器など機器を用いて実験や測定を行う）	7.7	7.8	7.6	9.5	9.5	6.4	10.9	5.9	7.2	4.9
講演会 （少人数、双方向型）	4.5	5.4	3.6	2.7	2.7	4.3	2.7	6.5	5.9	5.6
講演会 （大規模、パネリストによる討論会）	5.6	7.3	3.9	4.1	4.7	3.7	3.6	4.8	7.2	10.5
バーチャル見学会 （インターネットでの疑似見学）	5.1	5.1	5.1	4.1	5.4	3.7	10.0	4.8	3.6	2.5
インターネットでの講演会視聴	3.2	3.4	3.0	1.4	3.4	3.7	3.2	4.8	2.7	1.9
インターネットでのパンフレット等の閲覧	2.7	2.9	2.5	1.4	3.4	5.3	4.5	1.6	1.4	－
インターネットでの図面等を用いた解説資料の閲覧	2.8	3.0	2.5	－	4.7	3.2	3.6	2.2	3.2	0.6
インターネットでの映像資料の視聴	5.3	7.1	3.6	－	9.5	7.5	5.0	2.7	6.8	3.1
その他	0.4	0.3	0.5	1.4	－	0.5	－	－	0.5	1.2
あてはまるものはない	61.5	57.3	65.6	75.7	62.2	67.4	59.3	58.1	55.0	63.6

(%)

＜2018年10月のクロス集計結果（2/2）＞

問15. 以下に挙げている「原子力やエネルギー、放射線に関する情報提供（イベント）」の中で、
参加してみたいものや利用してみたいものはどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
施設見学会	20.0	40.0	24.7	17.8	9.2	31.8	21.6	13.2	6.4	32.2	24.4	15.9	10.9
勉強会（専門家が講師として解説を行う）	12.3	22.7	17.4	10.2	4.2	26.1	12.5	5.6	－	13.9	14.8	16.6	5.3
工作教室	2.7	1.8	3.6	2.6	1.8	4.1	2.8	2.0	1.1	6.1	3.1	0.7	1.8
実験教室（計測器など機器を用いて実験や測定を行う）	7.7	12.7	10.7	7.1	2.5	11.0	10.3	3.4	1.1	12.2	10.5	2.1	3.9
講演会（少人数、双方向型）	4.5	11.8	5.5	3.3	2.1	9.0	4.6	2.2	1.1	6.1	4.5	8.3	2.5
講演会（大規模、パネリストによる討論会）	5.6	13.6	7.3	4.5	1.8	11.8	5.8	2.2	1.1	7.8	6.5	9.0	2.1
バーチャル見学会（インターネットでの疑似見学）	5.1	5.5	7.8	4.3	2.5	7.8	5.4	3.6	2.1	5.2	5.5	6.9	4.6
インターネットでの講演会視聴	3.2	8.2	5.2	1.7	0.7	3.7	3.4	3.1	1.1	6.1	3.6	3.4	1.4
インターネットでのパンフレット等の閲覧	2.7	3.6	3.4	2.6	1.4	3.3	3.0	2.2	1.1	1.7	3.8	1.4	1.4
インターネットでの図面等を用いた解説資料の閲覧	2.8	3.6	4.7	1.9	1.1	3.7	3.2	2.0	1.1	1.7	3.6	2.1	2.1
インターネットでの映像資料の視聴	5.3	7.3	9.4	4.3	0.7	7.3	6.0	4.5	－	4.3	6.7	4.8	3.5
その他	0.4	－	0.5	0.5	0.4	1.2	0.2	0.3	－	－	0.3	1.4	0.4
あてはまるものはない	61.5	41.8	50.0	63.7	81.3	42.0	59.3	70.6	89.4	48.7	54.7	58.6	76.8

(%)

Ⅸ章　自由記述

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
安全性の向上。	男性	16歳	神奈川
原子力は使ってほしくはないが、使っていかなければ日本での電気などのエネルギーが足りなくなっていくが、最終処分所はどうするか考えるべき。	男性	16歳	長 野
医療の面で必要だとは思うが、使わずに済むと良いなと思う。	男性	17歳	宮 城
※絶対は絶対にない!→脱・原発!!	男性	17歳	富 山
現在の日本には資源がないので、原子力に頼るのは仕方ない。メディアは両面からの報道をすべき。火力に頼ることの経済的な不安定さも報道すべき。	男性	19歳	京 都
今は原子力発電が主なエネルギー供給ですが、新しい素材や再利用エネルギーを取得できる日が来てほしいです。そうすれば、原子力に頼ることのない未来が来てほしいです。	男性	20歳	愛 知
TVは反対運動ばかり映しているように思う。	男性	20歳	京 都
もっと興味を持たなければいけないと思った。	男性	20歳	兵 庫
“フクシマ”が犠牲になったにもかかわらず、原発稼働をすすめる政府の考えが分からない(現在、稼動していなくても、電力不足には陥っていないのでなおさら)。	男性	20歳	福 岡
日本が地震大国であるということを、忘れないで頂きたい。	男性	21歳	神奈川
マイナスのイメージが震災以後強い→正しい発信が必要。テレビなどでは批判をするものが多いため、正しい知識をつける必要がある→専門家などの知識人による説明など、そういう番組が見たい。	男性	21歳	兵 庫
怖い	男性	22歳	神奈川
原子力発電所リスク少ない風力、水力にしてほしいと思います。	男性	23歳	北海道
原子力発電はこれからの時代に必要不可欠なものとなるので、周辺環境を今以上に整えていかなければいけない。それに関する情報発信は手段を問わず、発電会社がすべきだと考える。	男性	23歳	東 京
良いこと悪いこと、かくさず公開して欲しい。	男性	23歳	長 野
災害の多い日本では、原発の安全性を確保することが重要だと思う。	男性	24歳	岐 阜
原子力発電自体は効率がよく電力発電にはとても適しているが、問題点が多く、今の世代でその問題が解決するようには到底思えない。将来の世代にまかせるのは、非常に不満である。	男性	25歳	北海道
原子力は今のところ減らす方向がいいと思うと書いたが、そのうち必要がなくなる状態になることを望む。	男性	25歳	千 葉
興味ない。	男性	25歳	長 崎
国防に関して核は必要。原子力を扱える技術が必要だから、発電所を全廃止にするべきではない。ただ危ないし、こわいから減らしてほしい。	男性	26歳	北海道
人間が便利な環境になり、それはありがたい事だが、もっと多くの人にリスクを供うことを分かって欲しいと思う。限られた資源を大切にして欲しい。太陽・水等、自然界にあるものを使ったエネルギーをもっと開発すべきと思う。	男性	26歳	東 京
そのうち放射線をどうにかできるようになる。	男性	26歳	香 川
一度に多くの電力を供給できるが、放射線を必要としていることや、事故がおこると大きな被害が出るかもしれないことから、早く新エネルギーを発見し原子力の廃止を考えています。	男性	27歳	兵 庫
太陽光や風力発電党の自然再生エネルギーの比率を増やし、近い将来原子力発電は廃止する。	男性	29歳	鹿児島
怖いイメージ	男性	30歳	埼 玉
災害があった時は、正確な情報を伝えてほしい。	男性	31歳	山 形
安全第一であれば良い。	男性	31歳	福 岡
地震が多いので、原子力は危険なのでやめて欲しい。	男性	33歳	埼 玉
将来の放射能影響を無くして欲しい。	男性	33歳	東 京

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
あまりわからない。	男性	34歳	埼 玉
放射線について、国がもっと情報を発信し、安全に住める地域を作っていくことを目指して欲しいです。	男性	34歳	東 京
安全を最優先してほしい。情報が追いかけられないので、メディアでわかりやすく発信して欲しい。	男性	34歳	兵 庫
限りある資源なだけに大切に使わないといけないが、原子力発電は反対だとか、難しい問題だと思う。安全な資源はないと思っている。	男性	35歳	沖 縄
理解しやすいようにマンガにでもすると大衆化する。	男性	36歳	神奈川
非常に難しい問題と思いますが、少しでも早く良い手段を見つけて、解決・実施してほしいです。	男性	36歳	大 分
放射線は目に見えないからわかりにくいが、実際に体に悪い。放射能汚染された食べ物に気を付けている。	男性	37歳	神奈川
本当の情報、真実を知る必要がある。	男性	37歳	神奈川
一つの説についても両論があるように、定説がないように感じる。しっかりしたエビデンスを広く発信して欲しい。	男性	37歳	長 野
いろいろもっと詳しく話してほしい。	男性	37歳	愛 知
日々の生活が忙しくて、興味がない。	男性	37歳	大 阪
原子力で電力を賄うべきではない。また、3.11の事故以後、政府の情報を信頼していない。	男性	38歳	東 京
福島第一原発の事故が起こるまでは原子力に対して身近なものと考えてこなかったが、汚染水の処理の現状等をもっと知りやすい環境にするべき。	男性	38歳	山 梨
人体にどのような害があるのか、明確に示してほしい。	男性	38歳	山 梨
放射線がもれない対策をしてほしい。	男性	38歳	京 都
必要なら使えばいい。国が豊かになるなら使えばいい。事故防止策を徹底していても起こる時は起こる。天災等では「仕方ない」で良いと思う。	男性	38歳	鹿児島
前項にも書いた、稼動していた原発は期限を決めて使用する。期限が過ぎたら廃炉。新設は認めない。	男性	39歳	北海道
今まで深く考えたことがなかったので、思いつかない。	男性	39歳	東 京
必要悪	男性	40歳	千 葉
原子力を廃止するべきと言うが、廃止するべき前に同等のエネルギーを作れるものを作るべきなのに、廃止廃止と言うのはどうかと思う。停電になっただけで大騒ぎするのに、原子力に頼っている部分もきちんと見るべき。それを作ってきたのは人間なのだから。と、思います。	男性	40歳	東 京
今回の地震、停電があり、危険をおよぼす安全性のないものは、新しくエネルギーが必要だと思う。	男性	41歳	北海道
安全性が確保されれば、運転を再開した方がよい。	男性	41歳	宮 城
期待だけです。がん治療等、放射線がでず、またはそれがない治療をできるといいです。放射線を無効化できるといいです。現代、そして向こう50年、原子力は人が扱えるとは思いません。宇宙に出るならその対策が絶対に必要です。	男性	42歳	京 都
現在の我々には制御できないものであり、使用してはならない。これから先の未来での技術に於いて使うことができるのではないかと、私は思います。福島についても、その後の人や環境への影響を真摯に伝えてもらいたく思います(報道機関や政府)。	男性	42歳	福 岡
原子力エネルギー放射線は、良くないものだと思います。	男性	43歳	埼 玉
原子力は現時点で必要。しかし、危険性を考えて廃止していくべき。	男性	43歳	東 京
「原子力」が近くにあるわけでもなく、被害にあうまではいつまでも「対岸の火事」の意識は消えないでしょう。	男性	44歳	大 阪

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
地熱利用をすすめるべき。成功例がある。	男性	45歳	北海道
難しすぎて考えられないので、ない！！	男性	45歳	山形
末端の作業員まで知識とリテラシーが十分だと言えない気がする。	男性	45歳	神奈川
原子力はいらない。情報発信は、テレビや新聞のニュースでいい。	男性	45歳	静岡
すべてに関してわからない。	男性	45歳	沖縄
原子力エネルギーは、必要悪であると思う。	男性	46歳	千葉
子供でも見てわかりやすい情報提供して欲しい。	男性	46歳	東京
必要なものだと思うので、安全に運用して欲しい。	男性	46歳	神奈川
人間が核の分解を使ってはいけない。自然法則に反する行為。	男性	46歳	愛知
原子力は必要ないと思う。	男性	46歳	愛知
原子力は必要であり、安全に動かすことを最優先すべきだ。情報源は池上さんのように、わかりやすい人にTVで伝えてもらいたい。	男性	46歳	大阪
政府がもっと真剣に取り組むべきと思います。	男性	47歳	栃木
放射線の技術は大事だが、将来のことを考えて行動して欲しい。	男性	47歳	埼玉
原子力は危険と隣り合わせの性格を持っている。気を付けて…。	男性	47歳	東京
日本はインターネットや原子力等のブレーキのかけ方を知らずいて、「やってしまえ！」の考え方をやめるべき。資源の少ない、日本で原子力は必要だとは思うが、良い物、悪い物は背中合わせだという事と、まずリスクのある事柄に対してブレーキのかけ方を知った上で、実行すべきと国民に周知すべきと思う。	男性	47歳	神奈川
テレビ、ラジオのアナウンサー、評論家に色がつきすぎて、情報がわかりづらい。	男性	47歳	大阪
現在は利用しないと電気料金が非常に高くなり、生活が苦しくなる。この先は別の方式エネルギーが開発され、それから原子力エネルギーの廃止を検討してゆく。	男性	47歳	愛媛
あまり頼りたくはない。でも必要なのだろう。	男性	48歳	北海道
すぐにやめるべし。	男性	48歳	岩手
再生可能エネルギーに主軸をおいても省エネ技術と併せてエネルギー問題は考える必要がある。しかし、ここ数十年で大きく変化させることは難しいので、世界統一的に取り組むべき。	男性	48歳	奈良
まだまだ安全を確保するのは難しいと思う。	男性	49歳	神奈川
地下に埋めるのではなく、その前に無にできるように考えるべき。	男性	49歳	神奈川
福島第二原発の事故を見た時、「絶対に安全」という施設がないことを痛感した。また、原発が停止した時に原発が自力で電力を供給できないという点も驚きであった。廃炉や廃棄物にも、何百年、何千年という原子力の半減期間が必要なのも大変さを感じる。石油化学エネルギーのない日本は原子力に頼らないエネルギーを真剣に考えないといけない。	男性	49歳	新潟
原発がどうしても必要な社会ならいらない。原始生活に戻った方がまし。原発事故は一瞬で土地を生物の住めない場所にする。地球を破滅に追い込む悪魔の力だ！	男性	49歳	静岡
今は必要、今後は不必要にするべき。	男性	49歳	兵庫
原子力発電は不要。	男性	49歳	兵庫
自然エネルギーの安定確保！	男性	49歳	鹿児島
今住んでいる所に原子力発電所が近くにないので、どこか他人事のような気がしてしまうが、もっと積極的に今度のことを考えていかないといけないと思う。	男性	50歳	群馬
原子力は電気を効率的にしてくれるので必要。でも、今後は自然エネルギーを期待している。	男性	51歳	千葉
エネルギー、放射線に関しては、活用の仕方があると思うので、きちんと明確化して使っていけるとよい。	男性	52歳	愛知
福島事故の際、国が何もできなかったことは世界に恐怖を与えた。今、事故が起きても何もできないのだから、数年以内に原子力発電から撤退すべき。	男性	53歳	東京

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
ガン治療のように人の生活に役立つものは良いが、使い方を間違えないでほしい。	男性	53歳	神奈川
原子力に頼りたくないが、頼らないとダメと思うところもある。	男性	53歳	兵庫
いくつかの先進諸外国が原発を止める方向に動き出した。日本も少しずつ廃炉に進んでほしいと思う。処分できない核廃棄物が増え続ける不安が止まりません。	男性	53歳	岡山
発電には必要だが、いずれは廃止。いまだ火事を起こす人間が手をつけるべきではなかった。	男性	54歳	北海道
良いことも悪いことも、包み隠さず情報を提供すること。	男性	54歳	青森
・世界各国のエネルギー政策担当を集めたパネルディスカッション。・ノーベル物理化学賞を得た科学者によるパネルディスカッション。	男性	54歳	千葉
放射性廃棄物を生み続ける限り、原子力は将来的になくさなければならないが、地球温暖化や経済的損失等を考えると、現時点に於いては感情論ではなく、論理的に安全性が確認された既存の原発は稼働させる必要があると思う。	男性	55歳	埼玉
放射線は必要だと思う。	男性	55歳	千葉
原子力発電所が稼働していない時なら、大きな地震が起きても大丈夫なのか。廃炉にするとどれくらいの時間やコストがかかるのか？など、わからないことが多い。	男性	55歳	大阪
お宮学者の福島原発事故時のメディアでの発言内容に関して、その知識の無さに失望した。政治家によりウソを言わされたのであれば、学者としての資質を疑わざるを得ない。真実は現場に居る人間が一番理解している。情報源及び発信はメーカーが社運をかけて真実を発表するべきである。政治屋は自分及び自党の保身を最優先事項とする。全ての真実を語れるのは現場の人間しか居ない。	男性	56歳	北海道
これからも必要なもの。	男性	56歳	福岡
今まで安全と言われてきた原子力発電が自然の力によって脆くも崩れてしまった訳で、今後安全対策を講じたとしても“絶対”大丈夫とは言い切れないのではないでしょうか。	男性	57歳	福島
日本のように化石燃料がない国には、原子力が必要であるが、このような事故がおこってしまったので、徐々に他のエネルギーにシフトして段階的に廃止の方向へ持っていくべきである。	男性	57歳	大阪
原子力全般についての利活用は、今後縮小、廃止の方向へ向かうことを期待します。	男性	58歳	大阪
知識がないのでわからない。	男性	58歳	大阪
アニメのマンガ(宇宙〇〇ヤマト)にあったような、放射線を無害にするクリーナーとかの開発はないのでしょうか？	男性	58歳	高知
大変なことだと思いますが、目標を決めて放射性廃棄物の処理の仕方にお金をかけて研究してほしい。方法が見つかれば世界の人が買うと思う。	男性	59歳	千葉
福島のその後の話がないが、気になる。	男性	59歳	長野
全てを隠さずに国民に知らせてほしい。	男性	60歳	栃木
危険な放射性物質を安全に処理する研究が、第一優先である。	男性	60歳	神奈川
各方面の考えは、それぞれ違うわけで、一本化することは無理である。その中で、是非を問う事は更に困難であろう。しかし、未来の地球を考えながら協力することが必要のはず。	男性	61歳	大阪
処分方法が決まらないうちは、稼働しないでほしい。	男性	62歳	神奈川
福島の情報が全くない。安全な訳がないと思う。	男性	63歳	兵庫
正確な情報公開。	男性	64歳	静岡
なるべく使わない方がよい。	男性	64歳	沖縄
廃炉にするにしてもエネルギーが必要と思います。急なエネルギー変更計画は危険を伴うと思います。	男性	65歳	秋田
・原子力による発電量がなくても、本当に安定した電力供給ができるのか。いろんな意見があるが、国として正式なコメントを出して欲しいです。・テレビ・新聞・インターネット等、老人や若者までわかりやすく幅広く伝えて欲しいです。	男性	65歳	埼玉

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。（ご自由に）

回答内容			
原子力施設について現存するもの、将来どうなっていくのかを国・専門家・原子力関係者、更なる勉強が必要。常に検討が必要。国民に対し、原子力の危機感を払拭させる真の努力が必要と思います。そして、国民にあらゆるメディアを活用して、理解を得るように努力する必要があります。	男性	66歳	茨　城
原子力発電は必要かも。でも、核燃料の放射性廃棄物の処理ができなければ、原子力発電は作るべきではない！	男性	66歳	千　葉
心配、不安。	男性	66歳	東　京
福島第一原子力発電所の事故後すぐ、ドイツは原発をやめると決めた。日本は原爆、原発事故を経験しておりながら方針を変えようとしない。日本の高度な技術で再生可能エネルギーに方針を変えるべきだ。	男性	66歳	兵　庫
自分は直接関係ないような気がする。でも、何とかしなきゃならない事なんだから、国はしっかりと方向性を決めるべきだ。	男性	67歳	岩　手
テレビや新聞で観ている人にわかりやすく、どんどん情報を発信すれば良いと思う。	男性	67歳	福　島
原発はいらない。	男性	67歳	東　京
なくてはならない物。	男性	67歳	和歌山
むずかしい。	男性	68歳	福　島
電力量のことを考えると原子力発電もありかな？使用済核燃料の処理のことを考えると？最近は福島第一の件のニュース（進行状況）などの報道が少ない。	男性	68歳	群　馬
原子力関連は素人考えでは意見は言えません。情報源等は、国や自治体等が常に情報を発信するべきです。	男性	68歳	東　京
将来的にエネルギー消費は増大する。放射線廃棄物処理等が完結できない原子力発電は、長いスパンで廃止し、再生可能エネルギーに転換すべき。	男性	68歳	奈　良
原子力発電は必要と思います。	男性	68歳	福　岡
新しい原子力発電所を開発し、エネルギー問題を解決すべき。	男性	69歳	千　葉
地元に設備がないので、難しい点はあるが、いろいろの面で必要と思う。	男性	69歳	長　野
以前原子力発電所を見学に行き、色々説明を聞き、すばらしい供給電力だと思っていました。発電所付近の漁場がだめになるので、1000人ほどの漁民の働き場所にもなり、地域に貢献したように見てましたが、今は福島以来ストップしています。ソ連の原発、福島の件などを見ても、何10年先まで元に戻らない生活がまっている様は良くないと思います。今の現状は電気代が高い安いに惑わされ、人間誰しも生活がかかっていれば安い方に走りがちですが、電力の自由化など、私は関電は関電、大阪ガスは大阪ガス、それぞれ自分の分野だけ守っていればいいことと思います。災害が起きても電気は電力会社が、ガスはガス会社が修理することなので、なんで混同しているのか、いやになります！…エネルギーを大切にと思います。	男性	69歳	大　阪
利用できる原子力発電所は稼働するべき。事故発生休止中、稼働中同じ？堅古な防災を構築する。想定外だったを0に近づける。	男性	69歳	大　阪
福島第一原子力発電所クラスの事故が起きると住めない地区も出てくるので、すぐには無理でも原子力発電量の割合を徐々に減らして、再生可能エネルギーへの移行へ目指すべきと思う。原子力等の情報は、こういった電力会社の発表する情報を自治体の専門家が検証し、自治体から情報発信した方が良いと思う。	男性	69歳	福　岡
原子力施設（発電所）を、安全と信じる規制委員、政府関係者、電力会社役員の住んでいる所に設置すれば…。	男性	70歳	北海道
原子力発電はほかの発電に比べ、本当にコストがかからないのかわからない。また、本当に安全が確保されるのか不明である。	男性	70歳	東　京
私は人間の英知を信じたい。原子力を否定もしくは肯定するにしろ、研究し続けることは必要だと思います。	男性	71歳	埼　玉

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
原子力発電を日本で一番最初に作った時、良い面だけを強調して、世間にアピールしていたと思うけど、廃炉費用が莫大なこと、また廃炉処分も大変な事を隠し、原価計算もその費用は無視して計算して、いかにも安価であるようにみせていた。それに福島のことはなかったことのような振る舞いは許せない。	男性	71歳	大　阪
病院でのX線などの利用など、必要最小限にとどめるべき。	男性	71歳	兵　庫
原子力に頼らない社会を希望。	男性	72歳	宮　城
造るのに金かけて、廃炉で金、土地の見通しが立たない。	男性	72歳	山　形
特になし	男性	73歳	秋　田
子供や孫が安心して暮らせる日本にして欲しい。	男性	73歳	東　京
地球に埋めずに宇宙へ捨てる(ロケットで)。	男性	73歳	静　岡
即廃止	男性	74歳	新　潟
安全第一向上	男性	74歳	大　阪
原子力発電は、辞めるべきだと思う。	男性	75歳	東　京
問題が起きてからテレビでよく見るが、いつもやって欲しい。	男性	75歳	神奈川
日本は地震が多い、火山も多い災害国です。大きな災害が起きていた時、それに原子力の施設が対応できるか心配です。	男性	75歳	長　野
全世界で原子爆弾、原発を全て廃棄する。	男性	75歳	福　岡
小さい頃から学校で教える。	男性	76歳	山　梨
何を言っても国は国民の言うことを聞かない。「早くやめろ！！」と言っても、やめねべし。	男性	77歳	岩　手
資源の無い日本では、原子力発電は将来的にも必要と思います。福島(発)の予想しえない事故は、リスクとしてあるのではないかと考えます。少なくても現在稼働していない日本の原子力(発)は少しでも早く運転すべきだと思います(日本経済、福島復興の為にも)。当然のことですが、福島で大変な事故を起こし、今はお多くの人達が大変な思いで、毎日をお過ごしになられている事を思えば、大変心が痛みます。一日も早い復興を心から願う1人です。安全第一は当然の事です。「安全なくして原子力(発)はありえない」が基本であり、前提条件とします。	男性	77歳	山　梨
原子力エネルギ　ヤメベキ	男性	77歳	岡　山
あまり知らないことがあったから、ニュースなどを見て詳しく知りたいと思った。	女性	15歳	長　野
安全なら良いです。	女性	16歳	愛　知
高レベル放射性廃棄物が出る以上、処分場、やり方も含め、原子力をすすめていくのは難しいと思う。	女性	19歳	東　京
安全性に気を付けて欲しい。	女性	20歳	埼　玉
地球の環境に悪影響があるのなら、即刻使用停止すべきだと思う。	女性	20歳	東　京
福島第一原子力発電所の事故後、今現在の情報が少なくなってきている。風化させないよう定期的に情報が欲しい。	女性	20歳	東　京
原子力や放射線に関する正しい情報を、アプリなどで簡単に知れたらよい。	女性	20歳	愛　媛
自分はまだ知識不足のため、正しい情報を取捨選択していく必要がある。	女性	21歳	岩　手
放射線についてもめているのは知っているが、詳しくはわからない。	女性	21歳	東　京
地震の時に怖い。	女性	21歳	三　重
原子力発電に頼らなくても、生活できる未来が来ると嬉しいです。	女性	22歳	奈　良
原子発電に使う核を完全に防いでほしい。	女性	23歳	秋　田
地震が多いので、事故があると怖い。TVやインターネットが情報源。	女性	23歳	東　京
必要なものもある。医学が進歩しているという事は、危険なことも分かった上で、自分自身が考えていかなければならないと思う。	女性	24歳	徳　島
原子力について詳しくわからないので、何とも言えない。	女性	25歳	静　岡
原子力発電は廃止するべき。	女性	25歳	静　岡

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。（ご自由に）

回答内容			
未来に必要な物なので、安全に活かせるようになったらいいなと思う。	女性	25歳	広 島
現時点で安全性の問題が出ているので、電力供給の問題が解決できるなら、原子力発電は廃止すべきだと思う。	女性	25歳	宮 崎
原子力も放射線も危険であるが、その特性、原理など学術的な知識は必要である。研究、医療などで恩恵を受けている部分もあり、安全に使用するための研究は深まることを望む。ただし原子力発電や武器としての利用は、人間の手に負えるものではない。	女性	26歳	大 阪
これから大変な時代がやって来る。	女性	27歳	山 形
原子力や放射線などのイメージは悪いですが、必要なエネルギーなのかなとも思います。	女性	27歳	石 川
福島やチェルノブイリのようなことがあった以上、原発は数十年のスパンで廃止していく方が良い。	女性	29歳	宮 城
放射線について大人でもきちんと理解して知識を有している人は、一般的にはかなり少ないと思う。またその為、学校でも資料（指導用）があっても、上手く教えるのは難しい（他にも教えることは多い為）。でも本気で知識・理解を進めるならば、「教育」の段階できちんと教える場を設けるべきだと思う。ただし、資料を作成して現場（学校の教員）に丸投げはやめるべきだと思う。	女性	30歳	千 葉
国、政府がやりたい方向でない情報は報じられることがない。海外のニュースから情報を取ることにしている。福島の原発でも大事な事はニュースとして報道されなかった。	女性	30歳	千 葉
テレビで見ている範囲の内容しかないですが、専門家の意見も分かれていることがあり、信頼できる情報が少ない。	女性	32歳	東 京
複雑で分かりにくい。難しい。イメージがある。わかりやすく説明してほしい。安全、安心という言葉は素直に受け入れられない。	女性	32歳	大 阪
知識がないので、よくわかりません。	女性	33歳	群 馬
生活が安定するのであれば、ちゃんと原子力等使っても大丈夫という安全がしっかりと証明して国民から理解してもらえれば、使っていても良いと思う。	女性	33歳	東 京
原子力の放射性廃棄物の処理の仕方、場所も大事だし、今ある原子力発電所のあり方、これからどうしていくのか。廃止するならそれに代わる電力源はどのように確保するのか。課題は多いが、将来の子供達のことを考えると、一番は安心して暮らせる環境だと思うので、今できる事を大人達がしっかり考え、行動していくことが大切だと感じる。	女性	35歳	広 島
あまり知識がなく、何とも言えません。少しずつ勉強したいと思います。	女性	35歳	熊 本
原子力発電については、とにかく安全性が第一。福島での原発事故を経験し、原子力関係者への不信感はなくなりません。子供の将来を考えると、これ以上、負の遺産を残したくありません。	女性	36歳	福 島
メリットは大きいが、デメリットもかなり大きなエネルギーだと思う。発電所の安全性が向上したと聞いても、福島第一のように、想定外の災害が起こった時にどうにもならないのでは？と思ってしまう。現状稼働停止が厳しいのも理解はできる。将来的に替わりのエネルギーが見つかり、不要になって欲しいとは思う。	女性	36歳	千 葉
原子力発電は怖いというイメージです。	女性	36歳	岐 阜
本来は悪いものではないと思うので、私達人間側が未熟なばかりに不自然な方向で原子力が生かされていることに、まず気が付く必要があるんだと思います。	女性	37歳	三 重
目に見えないものなので、どう対応すべきかわかりません。	女性	37歳	大 阪
日々の生活や子育てに追われ、こういった情報を見たり聞いたりする時間がない。子供の将来を考えると、積極的に情報を取り入れていかなければならないので。短時間でわかりやすく情報を得られたらと思う。	女性	38歳	埼 玉
クリーンなエネルギーは、将来の子供達の為に利用すべき。発電所での事故が1度起きることよりも、よほど交通事故や犯罪に会うことの方が懸念すべき。	女性	38歳	福 井

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。（ご自由に）

回答内容			
進捗が見えない（福島）。何をもって安全、危険、すべてに説明が足りないと思う。	女性	38歳	長　野
もっとわかりやすく、情報を発信して欲しい。	女性	38歳	福　岡
原子力発電は必要だと思う。	女性	39歳	青　森
都合の悪いことはどんどん先送りにする日本人が恥ずかしいと思う。	女性	39歳	富　山
とても難しい問題で、なんともいえないことが多いが、できれば原子力は使わないで済むにこしたことはないと思う。	女性	39歳	長　野
自然や人に安全なエネルギーを利用したい。原子力はこわい。リスクが高いように思う。	女性	39歳	兵　庫
話が大きすぎてわからない。	女性	39歳	福　岡
原子力発電はなくしていくべきだと思う。	女性	40歳	神奈川
都合の悪い情報は隠されている気がする。	女性	40歳	富　山
今の日本には必要だと思うが、反面、事故も多いので心配。	女性	40歳	石　川
災害の時でも壊れないように、施設を見直した方がいいと思います。	女性	41歳	大　阪
「絶対に安全」ということはない。	女性	42歳	東　京
情報源として、親族に電力会社で働いている者がいます。	女性	42歳	福　岡
安全がある程度保障されれば必要。あっても良い。	女性	43歳	新　潟
マイナスとなる情報をもっと開示すべき。	女性	44歳	東　京
安全な、子供が将来ずーっと安心して暮らせる国を考えてほしい。原子力はもうやめて、自然エネルギーでがんばってほしい。	女性	44歳	岐　阜
農業、医療の分野でのみなら、使っていくのはとても良いこと。発電に関してはやめてもらいたい。	女性	45歳	東　京
原子力について詳しいことはわかりませんが、最近前例のない異常気象が地震等で人間の考えつかないようなことは起こり得ると思うので、やめていく方向で考えたほうが良いと思う。	女性	45歳	神奈川
すべて便利なものがだめになった時の代償の大きさを、世の中皆で共有したい。隠し事をやめて、真実に向き合う姿勢を常に持っていくようにしたい。	女性	46歳	宮　城
とにかく安全性の重視。	女性	47歳	神奈川
早急に廃炉することはできないと思うので、のちのち原子力に頼らず、自然エネルギーを中心に稼働出来る世界になればいいと思う。	女性	47歳	三　重
必要とは思うが、不安である。	女性	48歳	群　馬
恩恵を受けているとは思えない。他の方法を考えるべき。	女性	49歳	岩　手
原子力は役立つものだとは思うが、それを安全に取り扱う技術が確立されていないように思う。非常に危険なので、安全に使用できる段階になってから利用したほうが良い。	女性	49歳	千　葉
放射能の生物に対する影響は大きく、滅亡する危険があるのに、なぜ大丈夫と言い使用するのか。これ以上想定外はないと思うのでしょうか。あまりにも便利を求め過ぎたと思う。	女性	49歳	神奈川
政府は信頼できない。	女性	50歳	東　京
人間は便利を求め過ぎている。150年前を振り返る事が必要だ。原子力を制御できないのに、利用するべきではない。災害時で事故が起きても収める事が出来ないのは明白。	女性	50歳	神奈川
原子力や放射線は危険というイメージが強いので、もっと安全で国民にも理解しやすくするべき。	女性	50歳	三　重
人間が頑張ってもAIにやられると思う。	女性	51歳	埼　玉
高レベルの放射性の危険があるのを分かりつつ、原子力発電をしなければいけない理由がわかりません。日本はエネルギー自給率が低いから、仕方ないのであれば使うしかない。複雑です。	女性	51歳	東　京
特に書けるような知識、考えはありません。	女性	51歳	東　京
人の手にあまる物は手を出さない事だ！！	女性	51歳	愛　知

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。（ご自由に）

回答内容			
少しずつで良いから日本が、人々が、普通に元気に生活できるようにしてほしいです。ラジオをもっと活用してほしい（安く購入、または無料で欲しいです）。	女性	51歳	大 阪
原子力は安全だと思わないので、廃止すべきだと思う。	女性	52歳	埼 玉
原子力規制委員会がOKを出す気が知れない。	女性	52歳	静 岡
安全で安心できる物であってほしい。	女性	53歳	山 口
地震で放射線の怖さを感じさせられたのに、原子力に頼りすぎる日本の電力事情は、将来再び同じような危険が起こる可能性を否定できない。絶対的な安全は廃止でしか得られないと感じる。現時点での全て廃止は無理でも、近い将来には実現して欲しい。	女性	53歳	鹿児島
正しい事を確実に国民に伝えてほしい。だれの言っている事が真実なのかわからない。	女性	54歳	山 形
危険なイメージが強い。	女性	54歳	埼 玉
自分はどうすることもできないが、安全に生活できる国でいて欲しい。	女性	54歳	東 京
考えることを避けていたが、それではいけないと思う。	女性	54歳	奈 良
原子力発電をやめても、施設は残っています。安全が確認できれば動かすことも必要では。	女性	54歳	和歌山
電気自動車の登場など、電気は必要不可欠。災害の時にも電気がなくなるとどうなるのか。社会は全くお手上げになると思います。原子力に全て頼るのもどうかとは思いますが、それに異常に反対をされている方は電気をあまり使っていないのか？と思います。火力発電等で地球温暖化する方が災害につながるんじゃないですか？	女性	55歳	兵 庫
事故が起こらないことを望む。	女性	55歳	愛 媛
人間が造っているものに絶対安全は、あり得ない。チェルノブイリやスリーマイル島等、過去を他人事としていたから日本でも大事故が起きた。原子力に利権を求める人々によって、無知のまま政策を信じてしまっていた。	女性	58歳	東 京
私の子供の頃は、大人たちから守られていると感じていました。今の大人も子供達を守っていく意識を持ち、原子力などの問題に向き合っていく事が必要だと思います。	女性	58歳	長 野
日本は資源の少ない国なので、電力に限らず、様々な物の利用を慎重に行うことが大切ではないかと思います。	女性	58歳	岐 阜
生活の身近にいろいろ原子力や放射線を利用していると思いますが、詳しくは理解していません。ラジオやTV番組に取り入れてもらって、一般人がわかりやすく情報をもらい、今後どうすればよいか考える機会がほしい。	女性	58歳	沖 縄
自分を含めて国民が原子力エネルギー、放射線問題にもう少し関心を持ち、情報を共有すべきだと思う。	女性	59歳	神奈川
年間の放射線量を1ﾐﾘｼｰﾍﾞﾙﾄにすることは不可能であり無意味。	女性	59歳	大 阪
物にあふれた生活を見直すことから始めたらどうかと思う。	女性	59歳	山 口
再生エネルギーに関すること。	女性	60歳	埼 玉
本当の情報が得ることが困難な時代で、将来の為にできることを皆で考えなければいけない。他国の情報も参考にする。	女性	60歳	神奈川
よくわからないが、今まで使ってきた原子力だから、急に使わなくなるということは、色々な面に影響されると思うから「危険なく使っていけるよう」に研究していけばいいと思う。	女性	62歳	岩 手
原子力は日本の電力の供給を安定するために必要だと思う。	女性	62歳	千 葉
原子力発電が国内に50ヶ所以上あるのは異常！全て、停止にしてほしい。	女性	62歳	愛 知
誰を信じてよいのか。真摯に国のエネルギーについて考えている方は誰でしょうか。反対反対と言っている人達は、電気や電気を利用して作った物や食べ物を使わないのでしょうか。現在では、きれいごとで片付けられない問題です。他の効率的で安全性の高いエネルギーの開発使用が早く決まらなければ。…。	女性	63歳	千 葉

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。（ご自由に）

回答内容			
放射線治療は西洋医学は勧めるが、東洋医学は宜しくないと聞くどちらか～？わからない。仕方がないのか～？	女性	63歳	東 京
早く原子力発電を止めること。	女性	63歳	山 口
絶対に発電はなくさなければいけないと思う！政府や電力会社の言葉は信用できないと思っている。SNSも、信用できない。	女性	63歳	福 岡
私は高齢だから、経口的に摂取してもいいが、若い人達には影響をなくしてほしい。政府、テレビの情報はまったく信頼できない。	女性	64歳	岩 手
誰にでもわかりやすい情報を発信して欲しい。	女性	64歳	東 京
日本の技術や知能をもってすれば、安全なエネルギーを作り出すことができるので、それにお金をかけてほしい。台風、地震国に原子力はそぐわない。	女性	65歳	兵 庫
CO_2の発生は避けられないが、原子力の負の方が大きい。一時的に地域は潤うが、世代を越えて安心を生み出す方に向かうべきだ。	女性	65歳	愛 媛
課題が沢山ある中で、急に無くする事が難しいと思うけど、次世代に悪影響を残さないようにしてほしい。	女性	66歳	北海道
ドイツのように先々はなくなってほしい。	女性	66歳	東 京
原子力は放射線の放射能がどれだけ体に害しているのかが心配。・放射性廃棄物の処分の安全を確保できるのか心配。・地震が多いので、事故が起きた時のことまで考えているのか心配。	女性	66歳	神奈川
予期せぬことで事故が起こったりした時を考えると、慌てて手段は選んでいられないと思う。	女性	68歳	埼 玉
近代社会が原子力エネルギー放射線の存在の上で成り立っているのが現実で、行き着く先は人類滅亡なのかと時々思う。	女性	68歳	東 京
原子力エネルギーはあぶないので、停止するべきだ。	女性	68歳	愛 知
次の世代の方たちの事を考えて、安全な方法にしてほしい。情報は全国に発信（テレビなど）してほしい。	女性	68歳	徳 島
現在の電気あふれる世の中では、原子力は必要だと思う。	女性	69歳	東 京
日本を簡単に売ってしまうような新聞、マスコミなど信用できない。現在のマスコミは政府の足をひっぱるようなことばかりの片手落ちの報道ばかりで、正しいことを報道されていないのがおかしい。	女性	69歳	岐 阜
放射線などは病気を治すのに用いることができるが、原子力はできるだけ早くなくしてほしい。	女性	69歳	岡 山
どんな補強をしても、予想のつかない自然災害には勝てないので、原子力はしないでほしい。	女性	70歳	福 井
素人の私たちの情報の理解力も未熟で、情報の正確さも確認のしようがありませんので、携わる人たちが正直に対応し、無駄にエネルギーを使っていないかも再検討し、必要なエネルギー量の算定をふまえ、削減をしてから次のステップへ進む必要はないですか？電力のたれ流しを止めてから（控えてから）と思います。省エネをしてから考えませんか？	女性	71歳	神奈川
原子力は日本国を守る為には廃止すべき。未来の為に！！苦労することはあっても。	女性	73歳	千 葉
早く原子力エネルギーを再使用してほしい。電気代が上がるのは困る。	女性	73歳	京 都
原子力はこわいが、なくて電力不足になるのは困ります。できるだけ安全に使用できたら良いかと思います	女性	73歳	兵 庫
使わないでほしい。	女性	74歳	長 野
捨てる所が、決まっていないのに、このまま続けること自体間違っている。次の世代の人達のことをもっと真剣に考えてほしい。	女性	75歳	岩 手
中通りの被災の対処が、全くなっていない。聞くことよりも、きちんとして欲しい。	女性	75歳	福 島
特別にありません。専門家に考えて欲しい。	女性	75歳	東 京
必要だとは思っていますが、福島の事故以来、複雑な心境です。	女性	76歳	宮 城

●原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問16. 最後に原子力やエネルギー、放射線に対するお考えがあればお書きください。
また、これらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えについてもお書き下さい。(ご自由に)

回答内容			
原子力は危険であるので、廃止して欲しい。	女性	76歳	埼 玉
爆発しないように、きちんとやってもらえばよい。	女性	77歳	福 島
住んでいる地域は身近に原発がなく、災害時は本当に近い場所の方は大変な苦労、心配があると思う。	女性	77歳	埼 玉
福島の事故の際、あれだけ大きな騒ぎになったが、後日結局誰を信用すれば良いのかわからない状態で、全く納得のできないままで現在に至っています。一般人には難しすぎます。	女性	77歳	大 阪
原子力の利点と欠点を考えると、原子力エネルギーを支持することはできない。一人一人が原子力の恐怖を理解することが大事。すべての人にわかりやすい情報を、受け取りやすく発信して欲しい。	女性	77歳	奈 良
安全神話は全くありえない。	女性	78歳	神奈川
原子力エネルギーとしての原発は必要ではありません。私個人として。原発が54機もあるとは思いませんでした。昭和40年代の生活が良いです。電話通信だけでいいです。テレビ、ラジオ、新聞。	女性	78歳	広 島
難しい	女性	79歳	長 崎

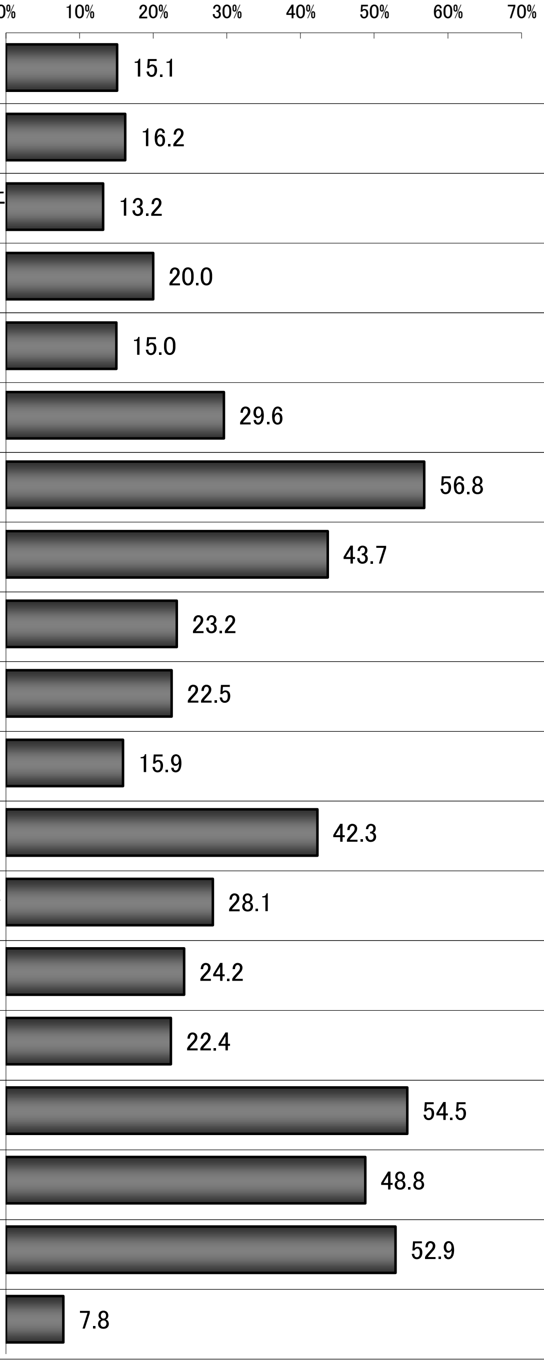
Ⅹ章　生活意識や行動

●生活意識や情報収集

生活意識や行動に関する項目を質問している。質問項目は前回と同様。
回答の高い項目は、「選挙はできるだけ欠かさずに投票したいと思っている」（56.8%）、「落とし物を拾ったら必ず届ける」（54.5%）、「公共機関でお年寄りに席を譲る」（52.9%）が挙げられる。前回と大きな変化はない。

問1. ふだんの生活意識や行動について、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
次の中からあなたの考えや行動に近いものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

17年10月全体 N=1200



		17年10月全体	17年10月	16年10月	15年10月	14年11月
ボランティア活動の経験	現在、ボランティア活動をしている。もしくは近年に活動したことがある	15.1	14.8	11.9	12.4	16.3
地域の社会秩序の意識	ボランティア活動の経験はないが、機会があればぜひしたいと思っている	16.2	14.1	16.0	15.1	15.8
	市民はだれも、外からの訪問者や観光客には気を配り、もてなすべきだ	13.2	14.1	11.3	13.4	12.8
	地域の伝統や文化は大事であり、継承していくように努めている	20.0	20.2	17.5	19.1	20.5
	地域の防犯や環境問題など、ご近所と協力し合って具体的に対処している	15.0	12.8	10.5	12.8	12.8
	地域の寺・神社などの文化財は心のよりどころとして大切にすべきだ	29.6	28.6	30.4	26.5	28.6
日本の社会秩序の意識	選挙はできるだけ欠かさずに投票したいと思っている	56.8	60.2	57.9	56.3	56.0
	街の美化や美観の保全は大事だと考えている	43.7	46.0	41.8	39.7	42.3
	児童や若者の公共心の希薄化が気がかりだ	23.2	26.0	21.4	22.0	24.9
	地域の問題や課題を行政まかせにしないで、市民も一緒に考え行動すべきだ	22.5	20.7	20.1	21.5	24.7
	地域の出来事には常に注意して、さまざまな情報を見聞きするようにしている	15.9	15.5	16.0	16.3	14.3
	災害時には市民の助け合いが必要であり、ふだんから準備・訓練をしておくべきだ	42.3	41.1	41.1	42.8	45.7
社会へのコミットメント	地域の行事・イベント、地域の祭りなどにはよく参加するほうだ	28.1	30.1	28.0	26.7	25.0
	地域（コミュニティ）における住民同士のふれあいを大切にしている	24.2	25.0	26.3	24.2	20.9
	自治会・町内会、PTAなどの活動には進んで参加している	22.4	22.0	21.3	23.5	19.8
	落とし物を拾ったら必ず届ける	54.5	53.5			
	困っている人がいたら、声を掛けて助ける	48.8	45.1			
	公共交通機関でお年寄りに席を譲る	52.9	51.8			
	あてはまるものはない	7.8	7.4	13.0	13.8	16.0

（%）

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問1. ふだんの生活意識や行動について、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
次の中からあなたの考えや行動に近いものをすべてお選びください。（○はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男　性	女　性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
現在、ボランティア活動をしている。もしくは近年に活動したことがある	15.1	13.5	16.6	18.9	12.8	7.0	11.8	17.2	19.4	21.0
ボランティア活動の経験はないが、機会があればぜひしたいと思っている	16.2	15.2	17.1	8.1	17.6	17.1	19.5	19.9	18.5	5.6
市民はだれも、外からの訪問者や観光客には気を配り、もてなすべきだ	28.1	25.2	30.9	27.0	16.9	30.5	32.6	23.1	32.0	30.2
地域の伝統や文化は大事であり、継承していくように努めている	56.8	56.6	57.1	31.1	33.1	42.2	57.0	61.8	74.8	76.5
地域の防犯や環境問題など、ご近所と協力し合って具体的に対処している	24.2	22.6	25.7	14.9	10.1	16.6	23.1	24.2	32.9	39.5
地域の寺・神社などの文化財は心のよりどころとして大切にすべきだ	22.4	21.3	23.5	6.8	4.7	20.9	27.6	23.1	30.2	29.0
選挙はできるだけ欠かさずに投票したいと思っている	43.7	43.9	43.4	28.4	23.0	36.9	44.8	50.5	53.6	54.3
街の美化や美観の保全は大事だと考えている	13.2	14.2	12.2	8.1	6.8	13.4	12.2	16.1	14.4	17.3
児童や若者の公共心の希薄化が気がかりだ	20.0	22.3	17.8	6.8	14.9	18.2	19.9	22.0	25.2	23.5
地域の問題や課題を行政まかせにしないで、市民も一緒に考え行動すべきだ	15.0	15.7	14.3	4.1	6.8	8.6	12.2	14.0	26.1	24.7
地域の出来事には常に注意して、さまざまな情報を見聞きするようにしている	23.2	24.2	22.2	9.5	9.5	18.7	20.8	28.0	33.3	30.9
災害時には市民の助け合いが必要であり、ふだんから準備・訓練をしておくべきだ	22.5	24.5	20.6	9.5	14.2	16.0	21.3	24.7	32.0	29.6
地域の行事・イベント、地域の祭りなどにはよく参加するほうだ	15.9	16.7	15.1	9.5	10.1	9.6	17.6	18.3	22.1	17.9
地域（コミュニティ）における住民同士のふれあいを大切にしている	42.3	40.9	43.8	33.8	31.1	37.4	40.7	46.2	50.5	48.8
自治会・町内会、PTAなどの活動には進んで参加している	29.6	30.2	28.9	25.7	23.6	23.5	28.5	35.5	34.7	31.5
落とし物を拾ったら必ず届ける	54.5	49.7	59.2	47.3	42.6	48.1	53.4	55.9	64.0	63.0
困っている人がいたら、声を掛けて助ける	48.8	44.1	53.5	50.0	35.1	43.3	49.8	50.5	55.9	54.3
公共交通機関でお年寄りに席を譲る	52.9	48.0	57.7	55.4	48.6	55.6	55.2	63.4	51.4	39.5
あてはまるものはない	7.8	9.1	6.6	12.2	12.2	10.7	6.8	4.8	5.9	6.2

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問1. ふだんの生活意識や行動について、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
次の中からあなたの考えや行動に近いものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

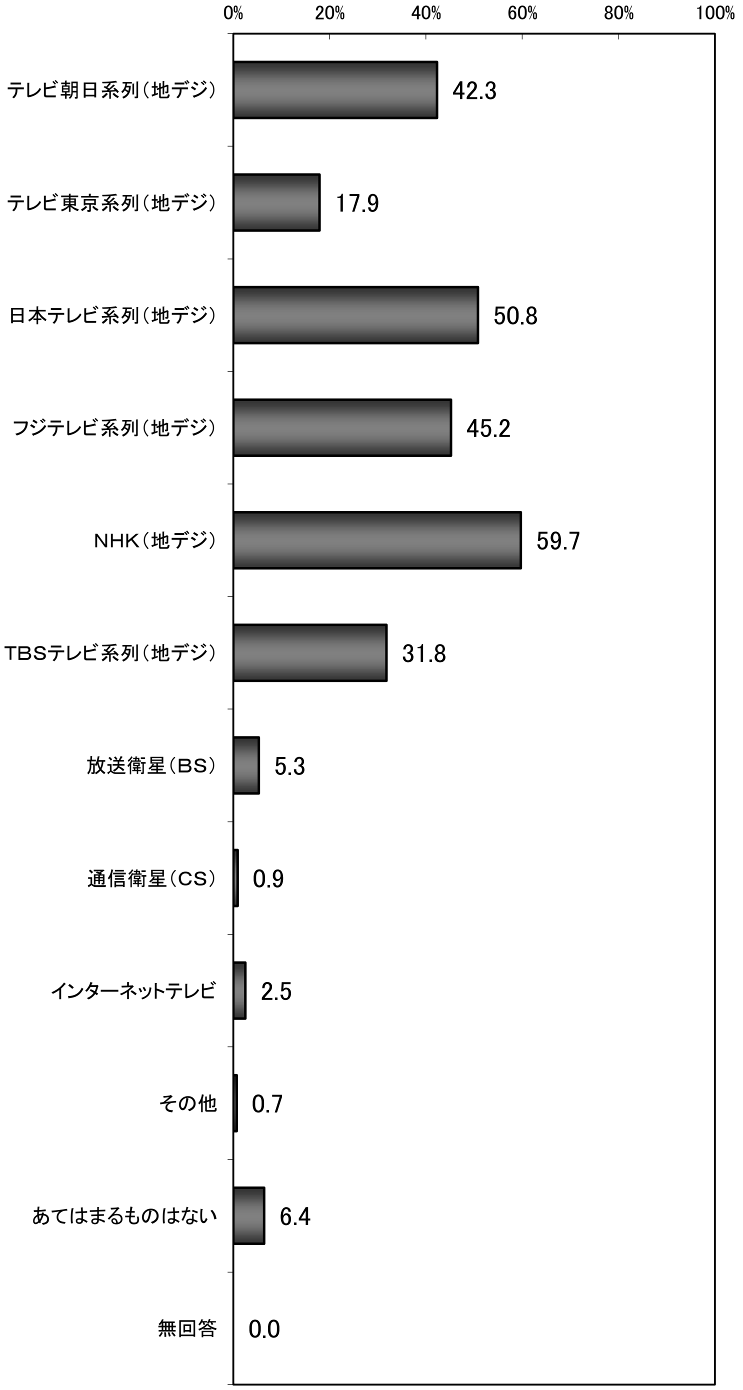
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別				原子力利用に対する態度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無	増加・維持	徐々に廃止	即時廃止	わからない
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94	115	581	145	284
現在、ボランティア活動をしている。もしくは近年に活動したことがある	15.1	22.7	18.5	14.9	7.7	34.7	14.9	5.9	－	19.1	14.5	22.8	10.2
ボランティア活動の経験はないが、機会があればぜひしたいと思っている	16.2	17.3	18.5	17.8	10.2	26.5	18.7	9.8	－	16.5	19.4	13.8	12.3
市民はだれも、外からの訪問者や観光客には気を配り、もてなすべきだ	28.1	36.4	27.6	31.5	20.4	64.1	27.8	11.2	－	22.6	30.8	23.4	28.5
地域の伝統や文化は大事であり、継承していくように努めている	56.8	72.7	69.0	55.0	37.0	89.8	66.9	35.0	－	57.4	64.5	66.9	40.8
地域の防犯や環境問題など、ご近所と協力し合って具体的に対処している	24.2	35.5	26.6	24.6	15.8	70.6	20.6	3.6	－	24.3	26.3	22.1	21.8
地域の寺・神社などの文化財は心のよりどころとして大切にすべきだ	22.4	30.9	23.7	24.9	13.7	62.0	18.8	6.2	－	21.7	24.1	21.4	21.5
選挙はできるだけ欠かさずに投票したいと思っている	43.7	65.5	56.0	41.9	21.1	86.5	51.4	14.8	－	45.2	49.9	55.2	29.6
街の美化や美観の保全は大事だと考えている	13.2	22.7	16.1	13.5	4.9	40.8	10.1	2.0	－	20.9	15.3	10.3	7.7
児童や若者の公共心の希薄化が気がかりだ	20.0	30.0	28.4	18.7	6.7	58.8	17.5	2.2	－	31.3	23.1	20.0	10.9
地域の問題や課題を行政まかせにしないで、市民も一緒に考え行動すべきだ	15.0	26.4	16.7	14.7	8.8	50.2	10.3	1.4	－	18.3	15.0	18.6	11.6
地域の出来事には常に注意して、さまざまな情報を見聞きするようにしている	23.2	32.7	33.1	18.7	12.7	61.6	22.4	3.9	－	24.3	26.0	24.1	16.2
災害時には市民の助け合いが必要であり、ふだんから準備・訓練をしておくべきだ	22.5	37.3	32.3	19.4	8.1	66.5	18.3	4.2	－	20.9	26.9	26.9	12.3
地域の行事・イベント、地域の祭りなどにはよく参加するほうだ	15.9	31.8	21.4	12.8	7.0	48.2	11.7	3.9	－	20.0	17.9	19.3	9.9
地域（コミュニティ）における住民同士のふれあいを大切にしている	42.3	54.5	51.8	40.8	27.1	87.8	49.2	12.6	－	37.4	49.9	40.7	32.4
自治会・町内会、PTAなどの活動には進んで参加している	29.6	44.5	40.4	24.2	17.3	67.3	31.2	9.2	－	39.1	33.2	26.2	23.9
落とし物を拾ったら必ず届ける	54.5	58.2	60.9	51.4	48.9	88.6	66.1	29.1	－	53.0	55.9	56.6	52.5
困っている人がいたら、声を掛けて助ける	48.8	54.5	54.2	48.6	39.8	86.1	59.9	20.4	－	51.3	51.3	49.0	46.5
公共交通機関でお年寄りに席を譲る	52.9	56.4	53.9	54.3	48.2	84.5	61.3	33.3	－	50.4	55.8	43.4	58.1
あてはまるものはない	7.8	5.5	3.1	6.9	16.5	－	－	－	100.0	7.0	5.3	4.1	10.2

●生活意識や情報収集

「テレビ」を対象とした情報収集源に関する項目を質問している。新規質問項目。
地デジによる情報収集がやはり多い。回答の高い項目として、「NHK」(59.7%)、「日本テレビ系列」(50.8%)、「フジテレビ系列」(45.2%)、「テレビ朝日系列」(42.3%)が挙げられる。「TBSテレビ系列」(31.8%)、「テレビ東京系列」(17.9%)は他の放送局に比べて回答の割合は低い。

問2. ふだん、「テレビ」でニュースなどの情報を得るとき、どの報道局をよく視聴していますか。
次の中からあてはまるものをすべて選択してください。(○はいくつでも)

18年10月全体(n=1200)



＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問2. ふだん、「テレビ」でニュースなどの情報を得るとき、どの報道局をよく視聴していますか。
次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（○はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男　性	女　性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
テレビ朝日系列（地デジ）	42.3	41.0	43.6	36.5	39.9	35.8	44.8	45.2	47.3	41.4
テレビ東京系列（地デジ）	17.9	20.8	15.1	18.9	14.9	17.1	13.6	23.7	22.1	14.8
日本テレビ系列（地デジ）	50.8	47.3	54.1	50.0	54.7	56.1	60.2	51.1	44.6	36.4
フジテレビ系列（地デジ）	45.2	40.7	49.5	58.1	47.3	49.2	51.6	44.6	42.8	27.8
NHK（地デジ）	59.7	60.5	58.9	36.5	27.0	46.0	53.4	69.9	76.6	89.5
TBSテレビ系列（地デジ）	31.8	30.7	32.9	31.1	28.4	27.3	30.3	33.9	38.7	30.9
放送衛星（BS）	5.3	4.9	5.8	4.1	1.4	2.1	2.7	8.6	9.5	7.4
通信衛星（CS）	0.9	0.8	1.0	1.4	－	1.1	0.9	0.5	2.3	－
インターネットテレビ	2.5	4.4	0.7	5.4	2.7	1.6	3.2	2.2	2.3	1.9
その他	0.7	0.2	1.2	－	1.4	－	－	1.1	0.9	1.2
あてはまるものはない	6.4	7.8	5.1	8.1	14.9	8.0	4.1	5.9	3.2	4.3
無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

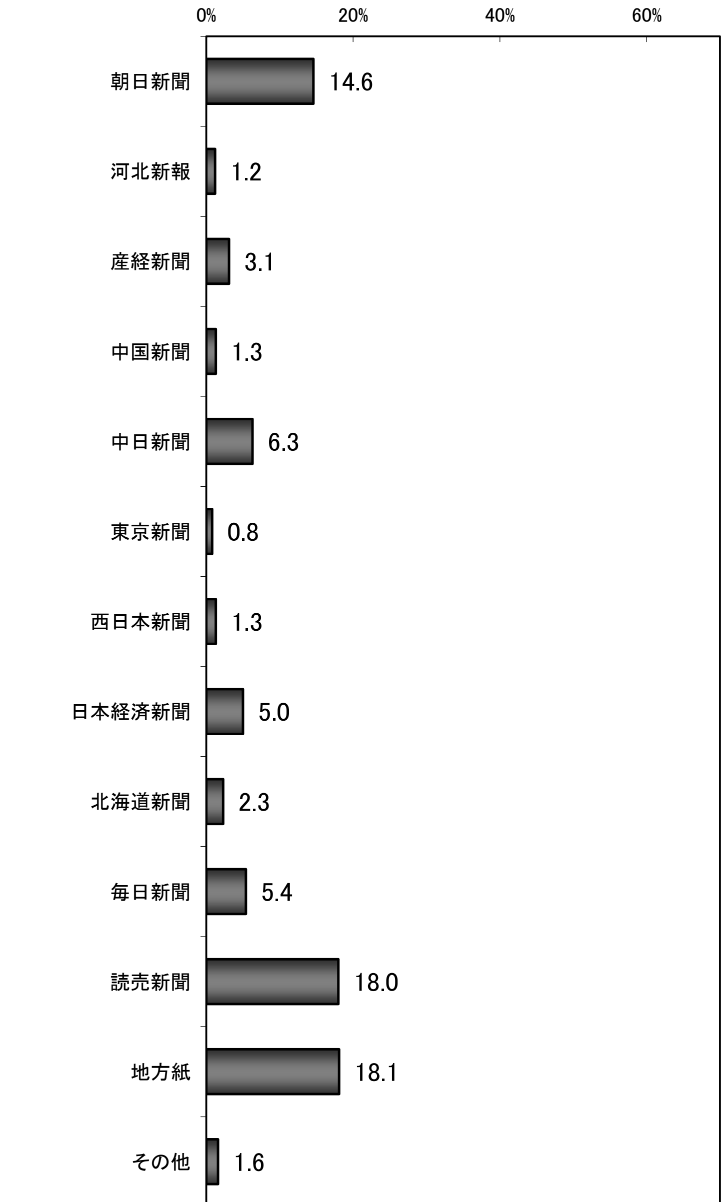
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94
テレビ朝日系列（地デジ）	42.3	42.7	44.0	44.8	36.3	47.8	43.3	42.3	23.4
テレビ東京系列（地デジ）	17.9	27.3	16.1	18.2	16.2	24.1	18.1	14.6	13.8
日本テレビ系列（地デジ）	50.8	39.1	52.1	52.8	50.4	53.5	53.8	47.3	40.4
フジテレビ系列（地デジ）	45.2	32.7	42.4	48.6	48.6	41.2	46.2	46.5	44.7
NHK（地デジ）	59.7	77.3	70.1	56.6	43.3	75.9	66.3	45.9	34.0
TBSテレビ系列（地デジ）	31.8	34.5	36.7	30.3	26.4	38.0	33.5	28.0	21.3
放送衛星（BS）	5.3	6.4	6.5	5.2	3.5	9.4	5.0	3.9	2.1
通信衛星（CS）	0.9	1.8	1.6	0.5	0.4	1.6	0.4	0.8	2.1
インターネットテレビ	2.5	5.5	2.6	2.8	0.7	4.9	1.4	2.5	2.1
その他	0.7	－	0.8	0.2	1.4	1.2	0.4	0.3	2.1
あてはまるものはない	6.4	5.5	4.4	5.7	10.6	2.4	3.4	8.4	25.5
無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－

●生活意識や情報収集

「新聞」を対象とした情報収集源に関する項目を質問している。新規質問項目。
回答率の高い項目として、「地方紙」(18.1%)、「読売新聞」(18.0%)、「朝日新聞」(14.6%)が挙げられるが、「あてはまるものはない」(33.8%)と比較すると、回答の割合は小さい。

問3. ふだん、「新聞」でニュースなどの情報を得るとき、どの新聞を購読していますか。
次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（〇はいくつでも）

18年10月全体(n=1200)



＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞

問3. ふだん、「新聞」でニュースなどの情報を得るとき、どの新聞を購読していますか。
次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（〇はいくつでも）

	全体	性別		年代別						
		男 性	女 性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
朝日新聞	14.6	15.4	13.8	18.9	9.5	8.0	10.4	15.6	21.6	19.8
河北新報	1.2	1.2	1.2	2.7	−	1.1	0.9	1.1	1.4	1.9
産経新聞	3.1	3.2	3.0	1.4	1.4	2.1	3.2	2.7	3.6	6.2
中国新聞	1.3	1.2	1.3	−	2.0	0.5	0.5	1.1	1.8	2.5
中日新聞	6.3	6.8	5.8	8.1	2.7	6.4	5.0	7.0	7.7	7.4
東京新聞	0.8	1.5	0.2	−	0.7	0.5	−	2.2	0.9	1.2
西日本新聞	1.3	1.2	1.5	4.1	−	2.1	0.9	1.1	0.5	2.5
日本経済新聞	5.0	6.4	3.6	4.1	2.7	3.7	5.9	6.5	4.1	7.4
北海道新聞	2.3	2.4	2.1	2.7	2.0	2.1	1.8	3.2	3.2	0.6
毎日新聞	5.4	5.7	5.1	4.1	2.7	5.9	5.0	7.0	5.4	6.8
読売新聞	18.0	19.4	16.6	17.6	12.2	5.9	15.4	21.0	25.2	27.8
地方紙	18.1	18.6	17.6	9.5	12.2	13.9	18.1	19.4	24.8	21.6
その他	1.6	1.2	2.0	4.1	1.4	1.1	0.9	2.7	1.4	1.2
あてはまるものはない	33.8	31.1	36.3	43.2	53.4	54.5	39.4	25.3	15.8	14.2
無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

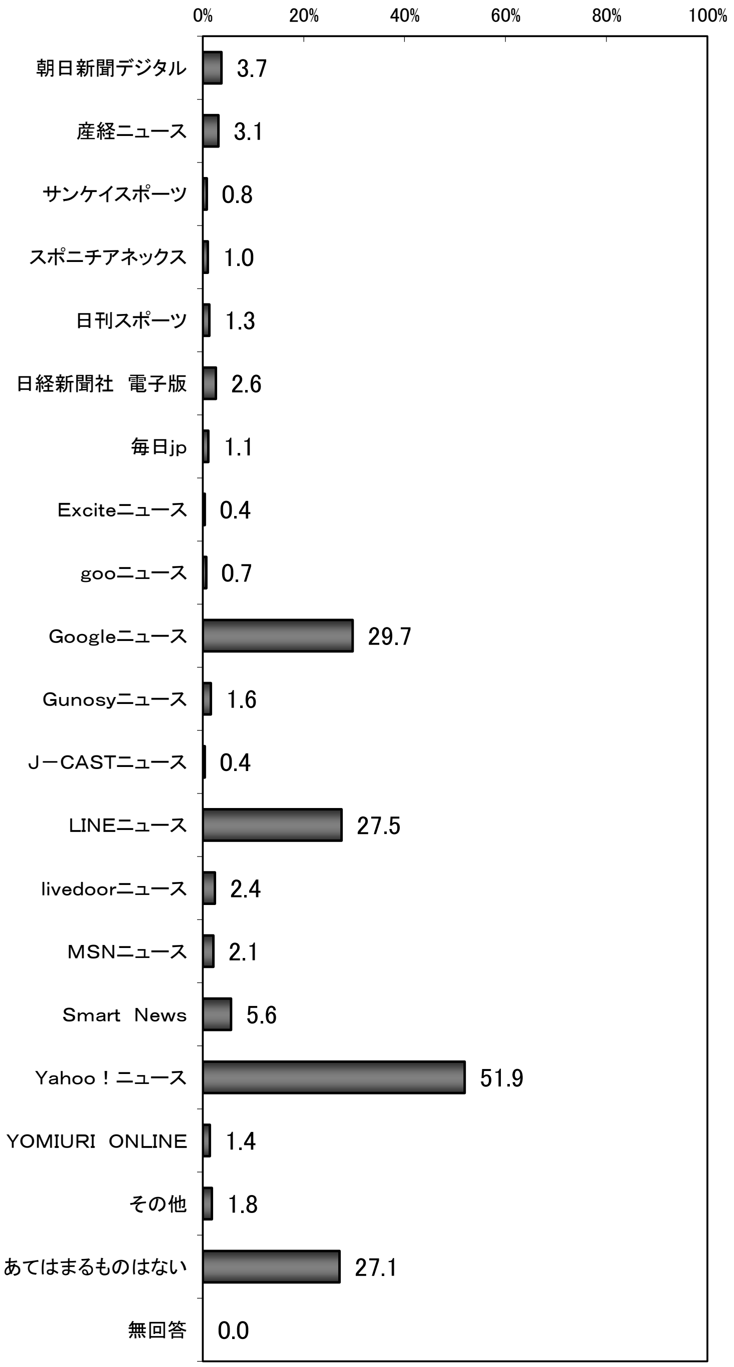
	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94
朝日新聞	14.6	17.3	17.4	13.5	11.3	12.2	16.9	13.7	11.7
河北新報	1.2	0.9	0.8	1.9	0.7	2.0	1.4	−	2.1
産経新聞	3.1	5.5	4.4	1.4	2.8	5.7	3.0	2.2	−
中国新聞	1.3	0.9	1.3	1.9	0.4	2.0	1.0	1.4	−
中日新聞	6.3	7.3	6.8	4.3	8.1	8.6	5.6	5.0	8.5
東京新聞	0.8	0.9	1.0	0.9	0.4	0.4	1.2	0.8	−
西日本新聞	1.3	0.9	1.6	1.9	0.4	1.2	1.0	2.2	−
日本経済新聞	5.0	11.8	7.0	4.3	0.7	5.7	6.0	3.4	4.3
北海道新聞	2.3	3.6	2.6	2.1	1.4	3.3	2.0	2.0	2.1
毎日新聞	5.4	9.1	6.0	5.2	3.5	7.8	5.6	4.5	2.1
読売新聞	18.0	20.9	18.5	18.7	15.1	23.3	20.0	14.3	7.4
地方紙	18.1	23.6	19.8	17.1	15.1	25.7	17.5	15.1	12.8
その他	1.6	0.9	1.8	1.7	1.4	2.0	2.0	0.8	1.1
あてはまるものはない	33.8	20.0	26.6	34.6	47.5	18.8	30.2	42.9	57.4
無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−

●生活意識や情報収集

「インターネット」を対象とした情報収集源に関する項目を質問している。新規質問項目。
回答率の高い項目としては、「Yahoo！ニュース」(51.9%)、「Googleニュース」(29.7%)、「LINEニュース」(27.5%)が挙げられる。
検索エンジンやSNSを通じた情報収集が多いことが分かる。また、「あてはまるものはない」(27.1%)の割合も大きい。

問4. ふだん、「インターネット」でニュースなどの情報を得るとき、どのようなニュースサイト・アプリを利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（〇はいくつでも）

18年10月全体(n=1200)



＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞
問4. ふだん、「インターネット」でニュースなどの情報を得るとき、どのようなニュースサイト・アプリを利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（〇はいくつでも）

	全体	性別		年代別					
		男 性	女 性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
N	1200	592	608	74	148	187	221	186	222	162
朝日新聞デジタル	3.7	4.2	3.1	1.4	3.4	2.1	6.3	3.8	4.5	1.9
産経ニュース	3.1	4.7	1.5	1.4	1.4	3.7	2.7	4.8	3.6	2.5
サンケイスポーツ	0.8	1.4	0.2	1.4	0.7	1.1	0.9	0.5	0.9	－
スポニチアネックス	1.0	1.5	0.5	－	1.4	0.5	2.7	1.1	0.5	－
日刊スポーツ	1.3	1.7	1.0	－	0.7	2.7	2.7	1.1	0.9	－
日経新聞社 電子版	2.6	4.1	1.2	1.4	5.4	2.1	3.2	3.2	0.9	1.9
毎日jp	1.1	1.5	0.7	－	0.7	0.5	3.2	－	0.5	1.9
Exciteニュース	0.4	0.7	0.2	－	0.7	－	0.5	0.5	0.9	－
gooニュース	0.7	1.4	－	－	0.7	－	1.4	－	1.8	－
Googleニュース	29.7	33.1	26.3	44.6	41.2	41.2	31.7	32.8	17.6	9.3
Gunosyニュース	1.6	1.7	1.5	1.4	2.7	1.1	2.7	1.6	1.4	－
J－CASTニュース	0.4	0.8	－	－	－	－	1.4	1.1	－	－
LINEニュース	27.5	20.4	34.4	51.4	55.4	39.0	36.2	16.1	10.4	2.5
livedoorニュース	2.4	3.4	1.5	－	5.4	2.7	3.6	2.2	1.8	－
MSNニュース	2.1	3.5	0.7	－	2.0	2.7	2.7	2.2	2.7	0.6
Smart News	5.6	6.6	4.6	9.5	8.8	7.0	6.3	7.5	2.7	－
Yahoo！ニュース	51.9	56.9	47.0	52.7	57.4	69.5	74.7	56.5	33.8	14.8
YOMIURI ONLINE	1.4	1.9	1.0	－	－	1.1	2.3	2.2	2.3	0.6
その他	1.8	1.9	1.6	1.4	2.7	0.5	1.4	1.6	2.7	1.9
あてはまるものはない	27.1	24.8	29.3	12.2	5.4	7.0	7.7	23.7	49.1	77.2
無回答	－	9.1	6.6	12.2	12.2	10.7	6.8	4.8	5.9	6.2

＜2018年10月のクロス集計結果（1/2）＞
問4. ふだん、「インターネット」でニュースなどの情報を得るとき、どのようなニュースサイト・アプリを利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。（〇はいくつでも）

	全体	原子力の情報保有量別				社会性の程度別			
		保有量多	保有量中	保有量少	保有量無	社会性高	社会性中	社会性低	社会性無
N	1200	110	384	422	284	245	504	357	94
朝日新聞デジタル	3.7	9.1	3.9	3.3	1.8	4.1	3.6	3.4	4.3
産経ニュース	3.1	10.9	4.4	1.7	0.4	4.5	3.4	2.0	2.1
サンケイスポーツ	0.8	3.6	0.8	0.2	0.4	1.2	0.4	1.1	－
スポニチアネックス	1.0	1.8	1.8	0.5	0.4	1.2	0.8	0.8	2.1
日刊スポーツ	1.3	0.9	1.8	1.2	1.1	2.9	1.0	0.8	1.1
日経新聞社　電子版	2.6	7.3	3.9	1.4	0.7	3.7	2.6	2.2	1.1
毎日jp	1.1	4.5	1.0	0.2	1.1	2.4	1.4	－	－
Exciteニュース	0.4	0.9	0.8	0.2	－	0.8	0.4	－	1.1
gooニュース	0.7	0.9	1.3	0.2	0.4	0.8	0.4	0.8	1.1
Googleニュース	29.7	32.7	30.7	30.6	25.7	31.0	31.2	28.3	23.4
Gunosyニュース	1.6	1.8	2.9	0.9	0.7	1.2	1.6	1.7	2.1
J－CASTニュース	0.4	3.6	0.3	－	－	0.8	0.6	－	－
LINEニュース	27.5	16.4	20.1	34.6	31.3	23.7	27.6	30.5	25.5
livedoorニュース	2.4	5.5	4.4	0.5	1.4	2.9	3.2	1.1	2.1
MSNニュース	2.1	5.5	3.1	0.9	1.1	2.4	2.8	0.8	2.1
Smart　News	5.6	7.3	4.9	6.6	4.2	7.3	4.8	5.0	7.4
Yahoo！ニュース	51.9	58.2	56.3	51.4	44.4	56.3	52.4	51.8	38.3
YOMIURI　ONLINE	1.4	5.5	2.3	0.2	0.4	2.0	1.4	1.1	1.1
その他	1.8	1.8	3.1	1.2	0.7	1.6	1.8	2.2	－
あてはまるものはない	27.1	27.3	24.0	24.9	34.5	29.0	27.2	22.1	40.4
無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－